

京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和61年度

京 都 市 文 化 観 光 局

財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和61年度

京 都 市 文 化 観 光 局
財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

序

千年の歴史にはぐくまれた学問、芸術、文化、宗教の都であることをふまえながら、21世紀へ向けての理想のまちづくりを目指している京都は、伝統を生かし創造をつづける都市づくりに取り組む、なかでも、2年後(昭和64年)の市政100周年事業並びに7年後(昭和69年)の平安建都1200年事業などを計画しております。

一方、都市の活性化に伴う開発に際して、埋蔵文化財を保存し、良好な環境を維持することが重要な課題となっております。

このような状況の中で、本市といたしましては、埋蔵文化財の保存について、市民の理解と協力を得る努力をいたしておりますが、保存が困難な遺跡につきましては、調査を行いその成果をできる限り後世に伝えるように努めております。

この調査報告書は、昭和61年度国庫補助事業として実施した調査の概要をまとめたものであり、本書が埋蔵文化財の研究に、また有用な資料として御活用いただければ幸いです。

本調査の実施にあたり調査を受託された財団法人京都市埋蔵文化財研究所、また御指導いただいた文化庁をはじめ御協力をいただいた関係各位並びに市民のみなさまに心から感謝の意を表します。

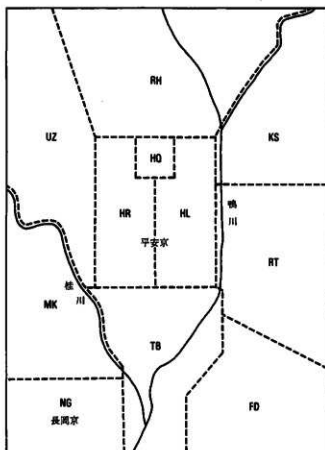
昭和62年3月

京都市文化観光局

例 言

1. 本書は京都市文化観光局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助に伴う昭和61年度の京都市内遺跡試掘立会調査概要報告書である。
2. 本書の執筆分担は次の通りである。
Ⅰ・Ⅳ 家崎孝治 Ⅱ・Ⅴ・Ⅸの3 久世康博 Ⅲ 木下保明 Ⅵ・Ⅸの1・2 家崎孝治 野村篤美 種実分析：岡田文男 Ⅷ 小森俊寛 Ⅷ 辻 裕司
3. 写真は遺構の一部を除き牛嶋 茂が担当した。
4. 本書に使用した遺跡、遺構の記号は奈良国立文化財研究所の使用例に従った。
5. 位置の記載は平面直角座標系Ⅵによる。京都市遺跡測量基準点を使用し、記載した数値はX、Yともm単位で、水準はT・Pである。
6. 本書作成にあたっては、児玉光世、近藤章子、端美和子、尾藤徳行、松尾雅章、吉本健吾、竜子正彦が参加した。
7. 本書に掲載した地図は、京都市都市計画局の地図を調整し、以下のごとく使用した。
平安宮跡 図版2 8000分の1（京都市都市計画局発行 聚楽廻、壬生各2500分の1）
平安京跡 図版3～12 10000分の1（同上、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅各2500分の1）
北白川瓦窯跡 北白川廃寺跡 上終町遺跡 小倉町・別当町遺跡 北白川上池田町古墳群 中臣遺跡 白河街区 岡崎遺跡 図版13 10000分の1（同上、田中、山科、勧修寺、御所、吉田、三条大橋、岡崎各2500分の1）
鳥羽離宮跡、下鳥羽遺跡 図版14 10000分の1（同上、城南宮、下鳥羽各2500分の1）
中久世遺跡、大藪遺跡、長岡京跡、東土川遺跡 図版15 10000分の1（同上、寺戸、久世、向日町、久我各2500分の1）
慍原遺跡 図1 5000分の1（同上、川島2500分の1）
巽古墳 図3 5000分の1（同上、鳴滝2500分の1）
北白川廃寺跡 図7 5000分の1（同上、田中2500分の1）
森ヶ東瓦窯跡 図9 5000分の1（同上、花園2500分の1）
平安京右京八条二坊 図13 5000分の1（同上、中河原2500分の1）
鳥羽離宮跡 図20 5000分の1（同上、城南宮、竹田2500分の1）
室町殿跡 図22 5000分の1（同上、相国寺2500分の1）
平安宮東雅院 図27 5000分の1（同上、聚楽廻2500分の1）

地区設定図



目 次

I 調査概要.....	1	VI 平安京右京八条二坊(60年度HR188) ...14	
II 榎原遺跡 (MK1)	3	1 調査経過.....	14
1 調査経過.....	3	2 遺構.....	14
2 遺構・遺物.....	3	3 遺物.....	15
3 まとめ.....	4	4 まとめ.....	20
III 興古墳 (UZ11)	5	VII 鳥羽離宮跡 (60年度TB53)	22
1 調査経過.....	5	1 調査経過.....	22
2 遺構.....	6	2 遺構・遺物.....	22
3 遺物.....	6	3 まとめ.....	23
4 まとめ.....	7	VIII 室町殿跡.....	24
IV 北白川廃寺跡 (KS13)	8	1 調査経過.....	24
1 調査経過.....	8	2 遺構.....	25
2 遺構.....	8	3 遺物.....	29
3 遺物.....	9	4 まとめ.....	29
4 まとめ.....	9	IX 主要な出土遺物.....	30
V 森ヶ東瓦窯跡 (UZ18)	10	1 土器類.....	30
1 調査経過.....	10	2 軒瓦類.....	33
2 遺構.....	10	3 木器類.....	38
3 遺物.....	13		
4 まとめ.....	13		

図 版 目 次

図版 1 平安京図案分割図

図版 2 平安宮

図版 3 右京 北辺・一・二・三条 三・四坊

図版 4 右京 北辺・一・二・三条 一・二坊

図版 5 左京 北辺・一・二・三条 一・二坊

- 図版6 左京 北辺・一・二・三条 三・四坊
- 図版7 右京 四・五・六・七条 三・四坊
- 図版8 右京 四・五・六・七条 一・二坊
- 図版9 左京 四・五・六・七条 一・二坊
- 図版10 左京 四・五・六・七条 三・四坊
- 図版11 右京 八・九条 三・四坊。左京 八・九条 一・二坊
- 図版12 左京 八・九条 三・四坊。右京 八・九条 一・二坊
- 図版13 北白川瓦窯跡 北白川廃寺跡 上終町遺跡 小倉町・別当町遺跡 北白川上池田町古墳群 中臣遺跡 白河街区 岡崎遺跡
- 図版14 鳥羽離宮跡 下鳥羽遺跡
- 図版15 中久世遺跡 大藪遺跡 長岡京跡 東土川遺跡
- 図版16 遺物 平安京右京八条二坊 (60年度HR188)
- 図版17 遺物 平安京右京八条二坊 (60年度HR188)
- 図版18 遺物 平安京右京八条二坊 (60年度HR188)
- 図版19 遺跡 巽古墳 (UZ11)
- 図版20 遺跡 巽古墳 (UZ11)
- 図版21 遺跡 北白川廃寺跡 (KS13)
- 図版22 遺跡 森ヶ東瓦窯跡 (UZ18)
- 図版23 遺跡 平安京右京八条二坊 (60年度HR188)
- 図版24 遺跡 鳥羽離宮跡 (60年度TB53)
- 図版25 遺跡 室町殿跡
- 図版26 遺跡 平安宮東雅院 (HQ43)・平安京右京八条二坊 (HR80)
- 図版27 遺物 巽古墳 (UZ11)
- 図版28 遺物 巽古墳 (UZ11)・森ヶ東瓦窯跡 (UZ18)
- 図版29 遺物 平安京右京八条二坊 (60年度HR188)
- 図版30 遺物 平安京右京八条二坊 (60年度HR188)
- 図版31 遺物 平安京右京八条二坊 (60年度HR188)
- 図版32 遺物 室町殿跡
- 図版33 遺物 室町殿跡
- 図版34 遺物 平安宮東雅院 (HQ43)

- 図版35 遺物 平安京出土瓦
 図版36 遺物 平安京出土瓦
 図版37 遺物 平安京外出土瓦
 図版38 遺物 平安京出土木製品

挿 図 目 次

図1 調査位置図	3	図19 鳥獸戯画	20
図2 遺構実測図	4	図20 調査位置図	22
図3 調査位置図	5	図21 遺構実測図	23
図4 巽1号墳位置図	6	図22 調査位置図	24
図5 巽1号墳石室実測図	6～7	図23 遺構実測図	25
図6 遺物実測図	7	図24 1区西壁断面図	26
図7 調査位置図	8	図25 遺物実測図	27
図8 遺構実測図	9	図26 遺物実測図	28
図9 調査位置・遺跡範囲推定図	10	図27 調査位置図	30
図10 調査地平板図	10	図28 遺物実測図	31
図11 遺構実測図	11	図29 軒瓦拓影・実測図	34
図12 軒瓦拓影・実測図	12	図30 軒瓦拓影・実測図	36
図13 調査位置図	14	図31 軒瓦拓影・実測図	37
図14 SE1復元模式図	15	図32 遺物実測図	38
図15 遺物実測図	16	図33 遺物実測図及び遺物写真	39
図16 軒瓦拓影図	17	図34 遺物実測図	41
図17 軒瓦実測図	18	図35 遺構配置図	42
図18 軒瓦拓影・実測図	19	図36 遺物実測図	42

表 目 次

表1 SE1出土植物種実分析	21
表2 SK2出土遺物破片数量表	33
表3 調査一覧表	43

I 調査概要

本報告は、京都市文化観光局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助に伴う昭和61年度の京都市内遺跡の試掘・立会調査概要報告書である。本書では、昭和61年1月4日より昭和61年12月27日までの間に実施した試掘・立会調査の概要を報告する。

調査件数は、試掘調査91件、立会調査842件の計933件である。その内訳は、平安宮地区(HQ) 83(内試掘8)件、平安京右京地区(HR) 205(同17)件、平安京左京地区(HL) 326(同20)件、太秦地区(UZ) 23(同5)件、洛北地区(RH) 48(同5)件、北白川地区(KS) 36(同8)件、洛東地区(RT) 69(同2)件、伏見・醍醐地区(FD) 49(同4)件、鳥羽地区(TB) 43(同14)件、南・桂地区(MK) 22(同3)件、長岡京地区(NG) 29(同5)件である。以上のうち、特に遺跡の保存状態が良好な13件については発掘調査に切り換えた。ここでは、本年度の試掘・立会調査で知り得た新たな成果について、平安宮・京城と京域外とに分けて概述する。

平安宮・京城地区 平安宮内においては、本年度は特筆すべき事例はなかったが、中務省(HQ8)の試掘調査で平安前期の土器溜りおよび瓦堆積層を検出し、発掘調査に切り換えた。東雅院西辺部の試掘(HQ43)においては、平安前期の土器の一括資料を得た。

平安京城において得られた成果のうち、条坊遺構の主なものあげると、まず右京城においては一条四坊(HR85)で勘解由小路北側溝および路面を検出し、溝内より平安後期の土器類が大量に出土した。四条二坊(HR21)の両洋学園内の試掘では、三条大路南側溝および建物跡などを検出し発掘調査の必要性が考慮されたが、調査前に遺跡が破壊されといった事態が生じた。五条一坊(60年度HR200)では五条大路路面、六条三坊(HR134)では五条坊門小路南側溝、六条三坊(HR14)では六条坊門小路北側溝、八条一坊(HR2)では西大宮大路路面、同じく八条二坊(HR80)では梅小路南側溝、九条一坊(HR50)では九条大路路面などを検出した。

左京城においては、二条二坊(HL78)では大宮大路路面、二条四坊(HL66)では二条大路路面、三条一坊(HL12)および六条一坊(HL114)では朱雀大路東側溝、同じく三条一坊(HL162)では三条大路北側溝、三条二坊(HL172)では三条大路路面、同じく三条一坊(60年度HL341)では猪熊小路路面、五条四坊(HL79)では東京極大路、七条二坊(60年度HL354)では左女牛小路路面、八条二坊(HL65)では猪熊小路路面、同

じく八条二坊（60年度HL319）では七条大路路面、八条四坊（HL96）では東洞院大路路面などを検出した。

条坊遺構以外のものとしては、右京二条三坊（HR184）の試掘では平安中期の建物跡、土壁を検出し発掘調査に切り換えた。右京八条二坊（HR64）では平安後期の池状遺構を検出し、斎串・独楽形木製品などが出土した。また同じく右京八条二坊（60年度HR188）では平安後期の井戸を検出し、井戸木枠に転用されていた長櫃、折櫃などの木製品が出土した。左京二条二坊（HL73）では平安後期の池跡および州浜状遺構を検出し、発掘調査が考慮されたが、工事が変更され現状のまま保存されることになった。

平安京城外の地区 巽古墳（UZ11）の調査では石室の一部を検出し装飾付器台、鉄鍔、金銅鞍馬具などが出土した。法金剛院境内遺跡（UZ15）では平安後期の池跡を検出し、水際の杭列に竹で上下4段交互に巡らした柵を認めた。森ヶ東瓦窯跡（UZ18）では初めて瓦窯本体を発見し、ロストル式の平窯であることが判明した。音戸山古墓（UZ10）では石蓋をした火葬骨壺を発見した。室町殿跡（RH25）では庭石を検出し発掘調査に切り換えた。北野庵寺跡（RH5、RH10）では2カ所の試掘で平安前期の遺構群を検出し、共に発掘調査に切り換えた。同じく北野庵寺跡（RH37）の試掘では平安前期の包含層、古墳時代の堅穴住居址を検出したが、建物基礎の変更により現状のまま保存されることになった。北白川庵寺（KS13）では寺域を区画するとみられる東西溝を数条検出した。法勝寺跡（60年度KS38）では根石をもつ柱穴および東西溝を検出し発掘調査に切り換え、金堂に取りつく翼廊の一部が明らかとなった。鳥羽離宮跡（60年度TB53）では、鳥羽離宮の東への拡がりを知る資料を得た。同じく鳥羽離宮跡（60年度TB54）では東西方向の溝を検出し発掘調査に切り換えた。下鳥羽遺跡（TB25、TB27）では古墳後期の堅穴住居址を検出し前者は発掘調査に切り換えた。中久世遺跡（MK13）では弥生後期の溝を検出し発掘調査に切り換えた。西京区桜谷において丘陵部で円筒埴輪片を採集したことをきっかけに前方後円墳を2基発見し、山田桜谷古墳群と命名した。

以上が本年度における試掘・立会調査の概要である。それらのなかで、下鳥羽遺跡における堅穴住居址の発見は、いままで湿地帯とみられていた当地の古環境を根本的に考え直す必要性が生じ、今後この周辺での調査に新たな展望を切り開くものとなった。そうした一方で、両洋学園校内で遺跡が破壊された事件は、教育現場における遺跡保護意識の質しさを、はからずも露呈することになった。

Ⅱ 榎原遺跡 (MK1)

1. 調査経過

西京区榎原里ノ垣外町20番地でのビル建築に伴う立会調査である。当該地は白鳳時代の榎原庵寺の近辺に位置しており、弥生から平安時代の榎原遺跡の中心部分でもある。実際の工事では一次掘削が遺構面に接した深さであったため、遺構の検出を見ることができ、急きょ工事予定地の一部を試掘調査に切り換えて、昭和61年7月1日～3日まで調査を行った。

2. 遺構・遺物

調査地の基本土層は、現代盛土・旧耕作土・床土・黄灰色砂泥（地山）となっており、遺構は全て黄灰色砂泥を切って成立している。検出した遺構は、溝2・土壇1・竪穴住居址1であった。

竪穴住居址 隅丸方形の平面形で、半円形の周溝を持つ掘形である。遺構の状態は非常に悪く、埋土の暗茶褐色泥砂（炭を含む）は床面をわずかに覆っているだけであった。周溝は幅30cm・深さ3～5cmであり、南西隅の部分が検出できたのみで全体を確認するまでには至らなかった。

土壇 直径2.3m・深さ0.16mの円形状の遺構である。埋土は暗茶灰色砂泥で炭を含んでいるが、遺物の出土はなかった。



図1 調査位置図 (1/5000)

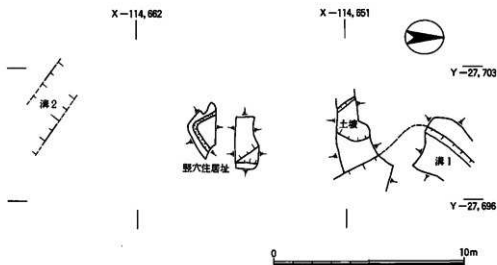


図2 遺構実測図(1/200)

溝1 北東から南西にかけての方向を示しており、土壌の東部で再び南東に向かって流れる。規模は幅2.3m以上・深さ0.2mを測る。埋土は淡灰色砂層・淡灰色粗砂層・淡灰色砂礫層である。溝からは遺物の出土はなかった。

溝2 調査地南壁で確認しただけであるが、周囲の堆積土層から考えると、北西から南東の方向をもつものと思われる。埋土は上層から淡灰色粗砂・暗茶褐色泥土・淡灰色砂礫・暗茶褐色砂泥となっているが、溝の底部迄は確認していない。

遺物は住居址から古墳時代前期の土器が少量出土している。溝2からは弥生土器片が少量出土している。何れも小片で図化するには至らない。

3. まとめ

榎原遺跡での調査は今回で3件目である。うち1件は平安時代から室町時代の遺構が検出されたのみである。もう1件は昭和49年に同じ敷地内の東半部で試掘調査が行われており、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての南北溝が1条検出された。今調査分の溝との関係については明確ではないものの、当時の報告とを照らし合わせてみるならば、調査地南方で溝2と合流する可能性も考えられる。

今回の調査結果についての意義は、遺構がかなり削平を受けているものの、当遺跡で初めて住居址が検出されたことである。今後の調査如何では桂川右岸に点在する集落の一つとして位置付けられる可能性もある。

Ⅲ 異 古 墳 (UZ11)

1. 調査経過

本古墳は、昭和61年7月10日、右京区山越巽町11-1外において宅地造成工事中に発見されたもので、市民の通報によって明らかとなったものである。通報を受けた京都市埋蔵文化財調査センターでは、技師を現場に派遣し、古墳の存在確認調査を行ったが確認を得られなかった。そこで、あらためて財団法人京都市埋蔵文化財研究所に試掘調査を委託した。調査期間は昭和61年7月17日から7月19日までの3日間の予定であった。

調査を開始してもまもなく、石室の1部を検出し、明らかに古墳であることが判明した。古墳は大部分が破壊されているものの、数個の側石が原位置を保った状況であるため、発掘調査の必要性和十分なる調査期間が考慮されるに至った。しかしながら、諸般の事情により3日間の調査で終了せざるを得なかった。

なお、京都府遺跡地図(1972年、京都府教育委員会)によれば、門徳池西側に巽古墳の位置が記載しており、全壊となっているが、その原位置および現状などの経緯が明確でなく、今回発見した古墳が巽古墳それ自体なのか、あるいは新発見の古墳なのか、現段階では判断できない。ここでは、本古墳を巽1号墳と命名し、周知の古墳を巽2号墳とする。



図3 調査位置図(1/5000)

2. 遺 構

墳丘 完全に破壊されており墳丘の形状は全く不明である。旧状では円墳の可能性がある。

内部主体 ほとんどの石材がすでに抜き取られていたが、わずかに残存した基底石と抜き取り穴から両袖の横穴式石室であったと思われる。復元数値は玄室部の幅2.45m、長さ4.6m、羨道部幅1.65m、長さ5.5mを測る。両袖部の幅は西が0.3m、東は0.5mである。使用された石材は幅1.0～1.5m、高さ0.8m、厚さ0.4～0.6mで比較的大型である。

石室の床面はほとんど削平され、玄室部の西壁沿いと羨道部の一部が残るのみであるが、板状の割石が敷かれている。石室の掘形は一部を検出したのみであるが、石室全体を囲むものであったと思われる。

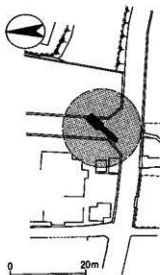


図4 巽1号墳位置図(1/1000)

3. 遺 物

出土した遺物は、須恵器の杯蓋・杯身・高杯・裝飾付器台、刀子・鐵・馬具などの鉄製品がある。西側壁の奥壁沿いから杯身・蓋のセットが、西側壁に沿う数石部と両袖部から鉄鍔などの鉄製品が出土している。他の遺物は羨道部からの出土である。

杯蓋(3) 口径13.8cm、器高3.4cmを測り、口径の割には器高が低く、また天井部が平坦なため扁平な感じの蓋である。口縁部はやや内傾し、端部は丸味をおびる。

杯身(1・2) 口径14.1cm、1の器高は3.6cmを測る。たちあがりは内傾し、受け部はやや上向きに外方へ伸びる。底部は浅く粗いヘラケズリを施す。内底面は一方向ナデ、他は回転ナデによる調整。

高杯(4) 裾部のひろがる長脚の高杯で、透しをもつ。回転ナデによる調整を施す。

裝飾付器台(5) 杯部の縁辺に翅4個と壺3個のミニチュアを配した器台である。また、杯中央部に剝離面がありここにも壺が取り付けられた可能性がある。杯は浅く口縁端部は外方へひろがる。沈線により杯部を3分し、板状の施文具で上段より右上り、左上り、右上りの剝突文を施す。脚部は杯部との接続を欠くが3条一単位の沈線で分割し、各段に3

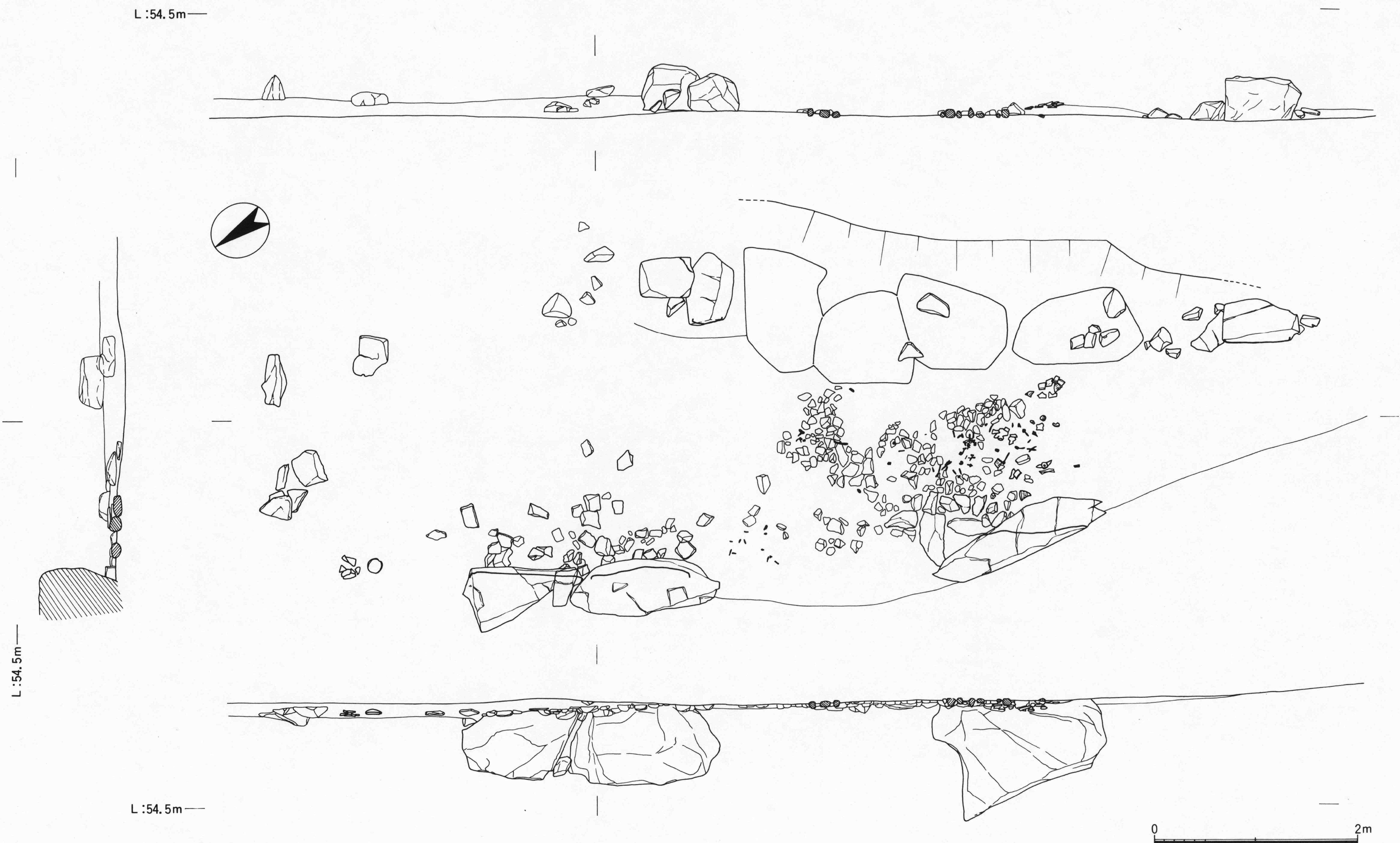
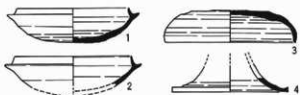


图5 巽1号墳石室実測図(1/50)

方向の三角形の透しをもつ。脚の器表最下段を除きカキ目調整したのち右上りの刺突文を施す。

鉄鐙(図版27-7、28-8) 長頸式と広根式の鐙がある。長頸式の鐙は刃部の下に細長い棒状体がついたもので柄との境に施被を有する。刃部が長三角形で脇袂を有するものと刃部と棒状部の境が不明瞭な無間のものがある。平根式の鐙も短い棒状部を有し、刃部は



三角形と長三角形を呈し、脇袂を有するものもある。

馬具(図版27-6、28-9) 金銅装の雲珠・飾金具・裝飾鈿、鉸具・鞍の一部とみられるものなどがある。

4. まとめ

巽1号墳の調査は、大半が破壊されたのちの3日間という不十分な調査であったが、全長10.1mの両袖の横穴式石室をその内部主体とすることを明らかにすることができた。また、床面からは石棺の一部とみられる凝灰岩片が、面取りをしたものを含めて数個体確認されている。このように、巽1号墳は大型の内部主体をもち、金銅装の馬具・裝飾付器台などのすぐれた副葬品を有することから、嵯峨野地区でも有力な古墳だと思われる。

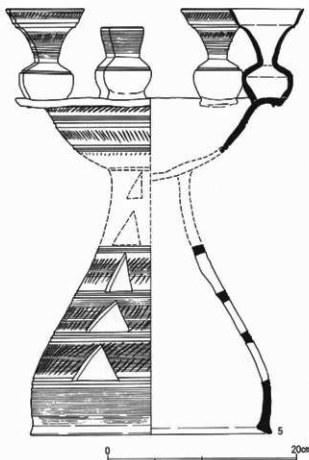


図6 遺物実測図(1/4)

Ⅳ 北白川廃寺跡 (KS13)

1. 調査経過

左京区北白川上別当町18及び大堂町47-3に鉄骨建物の新築工事が計画された。当該地は以前の周辺における調査などにより、北白川廃寺の寺域南辺部に推定されるところで、建物工事に先立ち昭和61年6月4日に試掘調査を行った。その結果、地表下0.4mにおいて数条の東西溝を検出したので試掘坑を拡張し、6月4・5の2日間調査を実施した。調査面積は、約50㎡であった。

2. 遺 構

敷地全体の層序は単一で、盛土の下に旧耕土層があり、以下は黒褐色泥砂の無遺物層となる。遺構はすべて黒褐色泥砂層上面で検出した。

SD1 幅0.8m、深さは検出面より0.4mを測る。堆積土は、黒褐色泥砂層である。

SD2 古・新2時期ある。新のものは幅0.95m、深さ0.32m、古のものは幅約1.35m、

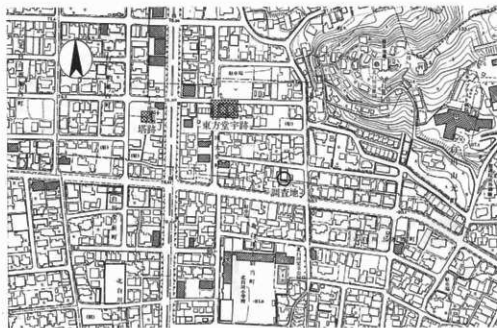


図7 調査位置図(1/5000)

深さ0.32mの規模をもつ。堆積土はいずれも黒褐色泥砂層である。

両溝とも、東西方向でわずかに南へ傾れる。溝の他には土壌を2基検出した。

SK3 SD1・2を掘り込んで成立する。長径1.3m以上、短径0.9m、深さ0.4mを測る。土師器、須恵器、瓦が出土。

SK4 SD1の北肩を掘り込む。長径1.5m、短径1.0m、深さ0.2mを測る。

3. 遺物

出土遺物は少なく整理箱で1箱あるが、微片のものが多く、およその時代を知れるもので図示するまでには至らなかった。

SD1より出土した遺物には須恵器杯蓋・杯身などがある。杯蓋は口端部の内面にかえりをもつもので7世紀後半代のものである。

SD2より土師器杯、須恵器壺・甕、平瓦など9世紀前半の遺物が出土している。また縄文後期の浅鉢および弥生土器の高杯などの破片が数点混入している。

SK3より土師器皿・杯・甕、須恵器甕、丸瓦などが出土。いずれも平安前期のもので

ある。

4. まとめ

今までの周辺の発掘調査で明らかとなっている塔跡、東方堂宇跡などの位置からみて、今回検出した東西溝は北白川廃寺の南辺付近に位置するが、調査地が狭く出土遺物も少なく、溝の成立期が不確定でもあり、溝の性格を決定することは困難である。今後の周辺における調査に期待したい。

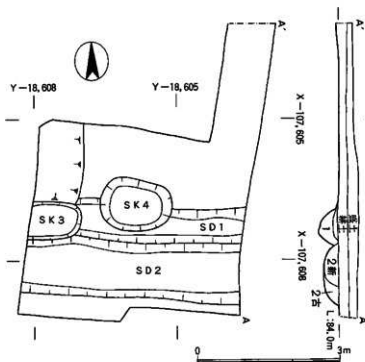


図8 遺構実測図(1/80)

V 森ヶ東瓦窯跡 (UZ18)

1. 調査経過

右京区太秦和泉式部町の道路及び農地で、公共下水道工事のための塹坑を建設することが計画された。当該地は古墳時代前期の集落遺跡としての和泉式部町遺跡・平安時代中期の森ヶ東瓦窯跡の範囲と推定されているために、立会調査を実施することとなった。調査は昭和61年11月17・18日に行った。

2. 遺 構

調査の結果、瓦窯1基及び灰原を検出した。次にその概要を報告する。

瓦窯の遺存状況 調査地の南西隅で、現地表下0.5mで黄褐色砂礫層を切って検出した。東西方向の主軸で西側に焚口を持つ平窯である。燃烧室の一部と焚口は調査地外であるため、又燃烧室の大半が既設管によって破壊を受けており、確認できたのは燃烧室と烧成室の境部のみであった。

燃烧室 検出した範囲内では30cmの段差を認め、暗茶灰色泥砂（炭混）層が堆積している。その中から4点の軒平瓦が出土している。床面は掘込んだ面を粘土で仕上げる。側壁は平瓦と粘土を交互に重ね合わせて構築し、側面を粘土を塗って仕上げている。床面は修復を受けた形跡はあるようだが、明確には確認できなかった。



図9 調査位置・遺跡範囲推定図(1/5000)

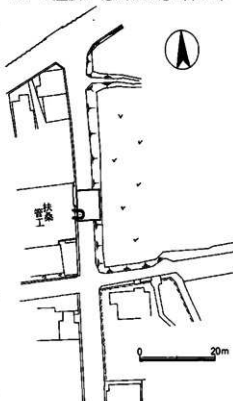


図10 調査地平板図(1/1000)

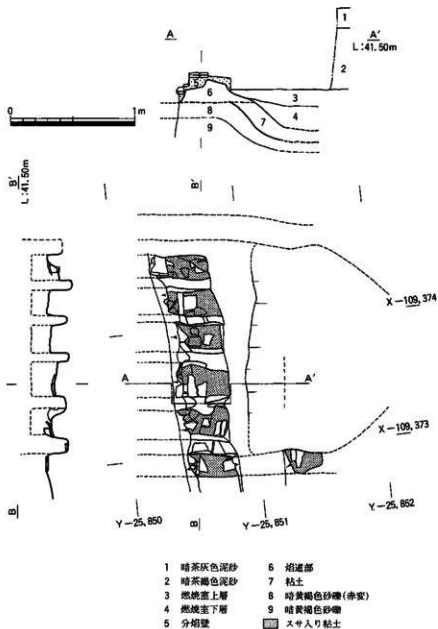


図11 遺構実測図(1/30)

焼成室 検出幅は1.75m。焼成室の掘形は逆台形を呈しており、底部はほぼ水平である。焼成室の分焰壁（ロストル）は5条あることを認めた。分焰壁（ロストル）の残存高は床面から最大18cm・幅20～28cmであり、焰道部の幅は7～10cmであった。燃焼室側壁と同様平瓦と粘土を交互に重ね合わせて作り、側面を粘土で仕上げる。側壁は幅18cmで、分焰壁（ロストル）と同様の方法で作っている。

灰原 検出した瓦窯の北で、現地表下1.4～1.6mで黒色砂泥層が認められた。この土層は北に向かって下っていく。黒色砂泥層からは瓦が多量に出土しており、炭も多量に混入しているため、灰原と考えている。軒丸瓦が1点出土。ベースは黄褐色砂礫である。

これも種々の攪乱のため明確な範囲は確認できなかったが、少なくとも1.5m以上の範囲にわたっており、更に北へ広がるのは確実である。検出した瓦窯の焚口方向や位置関係を

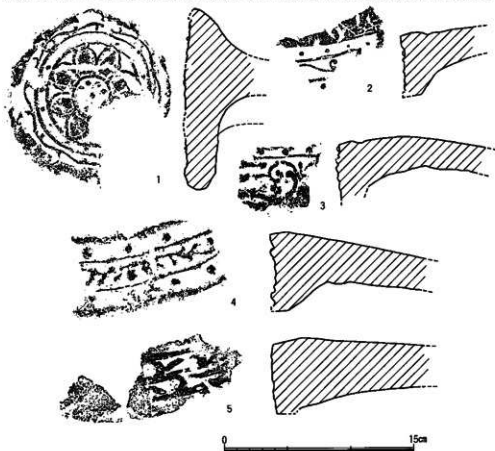


図12 軒瓦拓影・実測図(1/3)

検討しても、別の窯から排出したものとする。

3. 遺 物

瓦窯址及び灰原から多数の瓦が出土している。土師器皿も若干の出土を見るが、ここでは瓦についての報告をする。

1 単弁八葉蓮華文軒丸瓦 灰原より出土。外区が二重になり、外側には唐草文を、内側に珠文を配す。周縁は成形時の指押えにより凹凸が著しい。瓦当部は楕円形である。胎土は砂粒を含み精良、焼成は良く、青灰色を呈する。

2 唐草文軒平瓦 燃焼室下層より出土。瓦当外周側面及び下部はヘラ削りを行う。瓦当上端まで布目痕が残る。平瓦部凸面は指圧痕が明瞭に残る。胎土・焼成ともに1と同じ。

3 唐草文軒平瓦 焼成室下層より出土。頸部を欠く。瓦当外周上部はヘラ削りを行う。平瓦部凹面はヘラ削りののちナデ調整を施し、布目痕は消滅する。凸面は指押えののちナデ調整する。胎土は微砂粒を含み堅緻である。焼成は良好で暗青灰色を呈する。

4 唐草文軒平瓦 燃焼室下層より出土。瓦当外周をヘラ削りする。平瓦部凸面はヘラ削りののちナデ調整を施す。凹面は布目痕が明瞭で、瓦当及び平瓦部凹面に溶滓が付着する。胎土は微砂粒を含み堅緻である。焼成は良好で暗青灰色を呈する。

5 唐草文軒平瓦 焙焼部より出土。瓦当文様が浅いため詳細は不明である。瓦当外周を丁寧にヘラ削りをする。平瓦部凸面は指圧痕が明瞭に残る。胎土は砂粒を含み精良である。焼成はやや甘く灰白色を呈する。

4. ま と め

「森ヶ東瓦窯跡」での調査は、発掘調査は未だ実施されていないが、立会調査を中心として幾度かの調査が行われてきた。その結果、瓦の散布は見られるものの明確な瓦窯及びそれに伴う遺物包含層の検出はなかった。そのような意味からも、今回の調査による瓦窯の発見は、初の検出というだけでなく、平安時代中期には実際に瓦生産が行われていたことを示すものである。又、既に行なった調査結果をもとに瓦の出土地点を検討してみると、北西から南東にかけて並ぶのではないかとみられ、それらが実際の窯の在り方に伴ったものであるか否かについては発掘調査等による確認を待たなければならないが、図9のように想定してみた。

Ⅵ 平安京右京八条二坊（60年度HR188）

1. 調査経過

下京区七条御所ノ内本町74に鉄骨建物の建設が計画された。当該地は、平安京右京八条二坊十二町に相当し、また平清盛・西八条第の鎮守社としての伝承をもつ若一神社に隣接するところである。昭和61年2月5日に建物基礎工事の立会調査を実施したところ、敷地東部において木枠組の井戸1基を検出した。遺存状態がきわめて良好なため、京都市埋蔵文化調査センターに連絡を行い、十分なる調査期間の必要性を要請した。センターは土地所有者と協議したが、諸般の事情により、2月21日の1日のみ調査日が設定された。以上のような制約のもとに実際の調査においては、井戸の完掘を主とし、見越し図等は略測にとどめ、後日板枠を復元し補填することにした。

2. 遺 構

井戸は方形の木枠組で、地表下約1.2m（標高18.20m）において検出した。掘形は、東

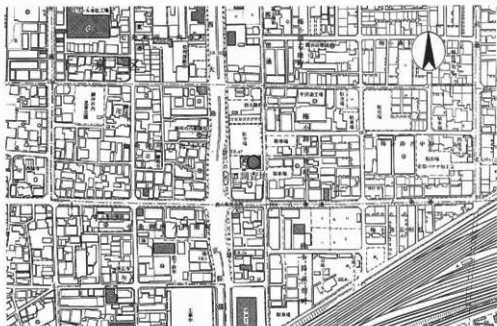


図13 調査位置図(1/5000)

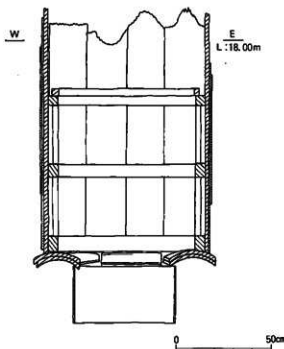


図14 SE 1 復元模式図(1/20)

西約5m、南北3m以上の隅丸方形に近い形状を示し、深さは1.8mを測る。木枠は、幅0.2m前後の縦板4枚を一辺とし、横棧をかまして四方を支持し、横棧の上下を隅柱をもって固定する。横棧は3段残存するが、上段の横棧は上下2段にして支持強化されている。側板の背部には裏込め板をさらに2重に巡らす。井戸の最下部には、径0.54m、深さ0.3mの曲物を掘え、曲物上部周縁に平瓦を2段にして四方に置き井戸底を形成する。

井戸内埋土は、曲物内の腐植土層（第8層）と、その上部の埋土（第1～第7層）とに大きく分かれる。第1～第7層より出土した土器群は、相互に接合する状況を呈し、これらを包含する土層は一時に埋められたものと考えられる。

3. 遺物

出土遺物は、整理箱にして土器類が1箱、瓦類が10箱あり、その他に木製品、銭貨などがある。

土器類(図15-1～23) 井戸掘形内より出土した土器類には、土師器皿(1～6)、瓦器皿・碗(7・8)などがある。土師器皿には大小2種類があり、いずれも口縁部をヨコナデし、端部をナデつける。瓦器皿(7)は口縁部内面を横方向にヘラ磨きを行い、内面底部に格子状のヘラ磨きを施す。口縁部外面はヨコナデ、底部外面は指圧痕が残り不調整。8は口縁部・体部内面にヨコ方向のヘラ磨きを密に施し、底部内面に格子状のヘラ磨きを施す。口縁部外面には数条のヘラ磨き痕がみられるが、体部外面は指圧痕が残り不調整のま

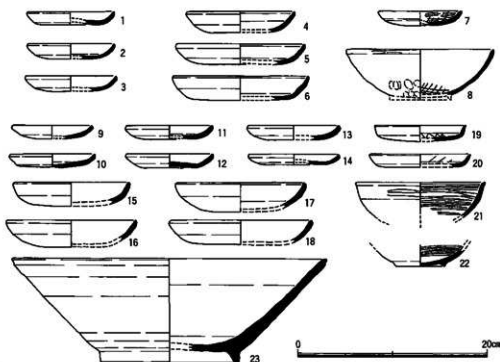


図15 遺物実測図(1/4)

までである。井戸枠内より出土した土器類には、土師器皿、瓦器皿・碗、須恵器甕・鉢、白磁碗、青磁水注などがある。土師器皿(9～18)には大小2種類あり、掘形出土のものと調整手法ともに同じである。瓦器皿(19、20)は、口縁部をヨコナデし、底部外面は不調整のままである。内面は口縁部と底部の境に数条のヘラ磨きを施し、底部にはジグザグのヘラ磨きを施す。瓦器碗(21、22)は、口縁部外面に数条のヘラ磨きを施す。体部内面にもやや粗いヘラ磨きを施す。須恵器鉢(23)は、口径33.5cm、器高11.1cmの大型品である。内面上半に自然釉が付着し、内底部はきわめて滑らかで相当使用された痕跡をとどめる。胎土は灰色で黒色微粒子を多量に含む。東海系のものである。

瓦類(図16・17・18) 軒丸・軒平瓦、丸・平瓦がある。ここでは井戸枠内より出土した軒瓦(24～30)と掘形より出土した軒瓦(31・32)について述べる。

三巴文軒丸瓦(24、25)は、突出した内区をもち、右回りの巴文は末端まで約半周する。外区には珠文を31個配し、珠文帯の外に1条、内に2条の圈線をめぐらす。瓦当外周はヘラ削りののちナデ調整を施し、丸瓦部凸面は縦方向のヘラ削りを行う。瓦当裏面下半は平滑に仕上げ、上半には指圧痕が残る。胎土は白色砂粒を多く含む精良、焼成は良好で灰色を

呈する。四天王寺中門西南出土瓦に同范例がある。

均整唐草文軒平瓦(26~29) 26~28は共に半截花文の中心飾りをもつ。瓦当外周は丁寧なヘラ削りを施す。平瓦部凸面は平滑に仕上げ、凹面には布目痕が残る。また瓦当外周上端にも1部布目痕が残る。胎土、焼成とも三巴文軒丸瓦と同じである。

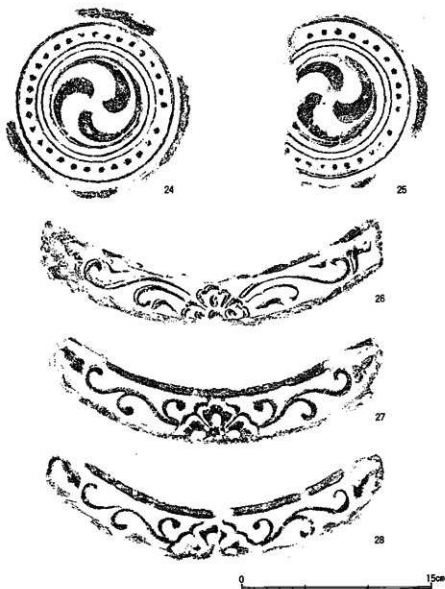


図16 軒瓦拓影図(1/3)

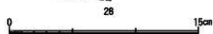
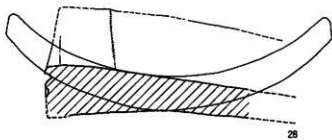
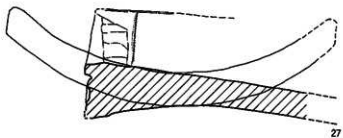
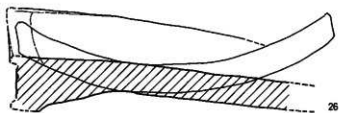
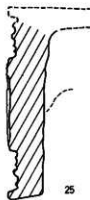
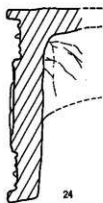


图17 軒瓦実測図(1/3)

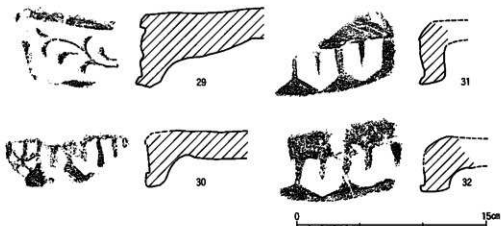


図18 軒瓦拓影・実測図(1/3)

29の瓦当外周は丁寧なヘラ削りを施す。平瓦部凸面は指圧痕が顕著に残り、凹面は瓦当周縁まで布目痕あり。瓦当面には厚く釉薬（自然釉あるいは灰釉）がかかり、平瓦部凹面・側端部にもおよぶ。胎土は緻密で灰白色を呈し、焼成は良好で堅致である。瓦当成形は半折り曲げ式で、岩倉南ノ庄田瓦窯の成形技法の流れを汲む。大府吉田窯産である。

剣頭文軒平瓦(30～32) 30は中央の剣頭文に「×」状の文様を加える。30～32ともに瓦当外周はヘラ削り調整を行う。30の平瓦部凸面は平滑に仕上げる。31・32の頸部下端および平瓦部凸面には縄目叩き痕が残る。30～32ともに瓦当面に布目痕残り、折り曲げ式技法によって成形されている。いずれも胎土は砂粒を多く含み、焼成はやや甘い。30は褐灰色、31・32は灰白色を呈する。

木製品(図版16・17・18) 長方形曲物、円形曲物、箱、柄杓などがある。それらの内、長方形曲物は井戸側板の裏込め板として転用使用されていたもので、箱型木製品、柄杓は井戸底を形成する円形曲物内より出土したものである。

長方形曲物(図版16・17)で全形がわかるものには、34と40・41がある。33は残存長123.8cm、残存幅47.4cm、厚さ0.5cmである。短辺には3個所の結合孔がある。長辺には3個所の結合孔が残存。中央長辺に5個所の結合孔が認められるが、欠損部にあと2個所あろう。1部に樺皮が残存。34は長径132.0cm、短径53.5cm、厚さ0.9cmを測る。長辺2個所、短辺1個所ずつ、計6個所の切り込みがある。結合孔は短辺2個所ずつで対称的に穿たれているが、長辺はおのおの2個所および3個所認められるが非対称である。35は残存長107.4cm、短径25.4cm、厚さ0.8cmで下辺の1個所に切り込みがあり、その上部に結合孔がある。内側的一端に縦方向のケビキを入れ、ケビキ破損部の木口に2本の竹釘が残存する。

36は残存長114.6cm、短径27.0cm、厚さ0.6cmである。横板に厚さ0.2cm程の薄い縦板を重ね、横棧を3本わたして、それぞれ結合孔を穿ち、樺皮で綴じる。横棧は2枚継ぎ重なる。内側に縦方向のケビキを入れる。40・41の結合孔は長辺で2箇所、短辺で2箇所である。40の長径75.4cm、短径48.0cm、厚さ0.8cm、41の長径75.5cm、短径45.3cm、厚さ0.8cmである。

以上の長方形曲物の材質はすべてヒノキの柁目板である。

箱（図版18-42）は底板1枚と側板4枚の組合せ箱である。側板の組合せは、両端が出枘になるものと切欠きになるものが交互に組合う。枘部には各2孔の釘孔をあける。底板は1端を欠くものの、出枘のある側板部には各3孔の釘孔をあけ、切欠きのある側板部には6孔ないし7孔の釘孔をあける。切欠きのある側板の上部両端に、2次的に穿いたとみられる各2孔の釘孔が認められる。いずれも釘は残存しない。箱の内径16.1cm四方、残存内高11.0cmである。材質はヒノキで厚さ0.9cm程である。

その他の木製品としては、竹の柄枘の身がある。

金属製品としては、銅銭が1枚井戸内第2層より出土している。至道元寶と読める。

石製品としては滑石製の羽釜片が出土している。

4. ま と め

出土遺物からみた井戸の成立期は、12世紀後半に造られ、13世紀前後には廃絶したものと考えられる。井戸枠の形成部材として、裏込め板に転用されていた長方形曲物は「延喜式」にみえる長櫃、折櫃に比定できる。33-36が長櫃の蓋板、底板、横板になる。「鳥獣戯画」に描かれているものに酷似する。40・41は折櫃の



図19 鳥獣戯画（日本常民生活総引 平凡社）

底板である。また、箱は上部を欠き全形を知り得ないが、構造的には枘の形跡的特徴を有する。平安末期の枘としては大阪府松原市出土のものに例があるが、それとは内径が等しいものの、高深(8.3cm)が相違する。なお、長櫃については、宮内廳（九州芸術工科大学）氏の、箱については、篠原俊次（京都府計量検定所）、川嶋将生（京都市歴史資料館）各氏より多大な御教示を得た、末尾ながら、記して感謝の意を表したい。

表1 SE1出土植物種実分析

木本

番号	和名	科名	出土部位	4層	5層	7層	曲物内
1	マツ	マツ	葉・種子				1・1
2	クルミ	クルミ	核	1	—	—	1
3	ムクノキ	ニレ	核				1
4	クワ	クワ	核	—	—	1	2
5	カジノキ	クワ	核				1
6	ウメ	バラ	核	—	破片	—	1
7	モモ	バラ	核	1	破片	1	—
8	サクラ	バラ	核	1	—	—	—
9	サンショウ	ミカン	種子	1	—	—	3
10	センダン	センダン	核	2	破片	2	4
11	カエデ	カエデ	果実				1

草本

番号	和名	科名	出土部位	4層	5層	7層	曲物内
1	アサ	クワ	種子	1	—	1	10
2	タデ	タデ	果実	3	—	4	28
3	ソバ	タデ	果実				1
4	イヌビユ	ヒユ	種子	2	—	—	13
5	ハコベ	ナデシコ	種子	1	—	1	10
6	アブラナ?	アブラナ	種子	9	—	36	97
7	マメ	マメ	種子	1	—	—	—
8	カタバミ	カタバミ	種子	—	—	1	1
9	シソ	シソ	果実				3
10	エゴマ	シソ	果実	1	—	—	—
11	ナス	ナス	種子	11	—	30	88
12	ウリ	ウリ	種子	—	1	2	22
13	カラスウリ	ウリ	種子	1	—	—	—
14	タカサブロウ	キク	果実	2	—	4	2
15	イネ	イネ	果実	5	—	2	3
16	ムギ	イネ	果実	—	—	2	9
17	ホタルイ	カヤツリグサ	果実	1	—	6	20
18	イボクサ	ツユクサ	種子		—	1	1

井戸内出土植物種実の分析

資料 井戸内の4層、5層、7層、曲物内の土壌をそれぞれ4リットルずつ採取し、1mmメッシュのフルイで水洗し、残渣から植物種実を拾いだし同定を行った。

木本 8科11種を検出した。クルミ、ウメ、モモは搬入品、マツ、ムクノキ、クワ、カジノキ、サクラ、サンショウ、センダン、カエデは周辺に生育していたものであるかもしれない。以上は平安京から良く出土する内容である。

草本 14科18種を検出した。うちアサ、アブラナ、マメ、エゴマ、ナス、ウリ、ムギ、イネは栽培植物である。その他は人里植物と呼ばれるものである。

参考文献 平安京東市外町の調査 平安学園考古学クラブ 1986

Ⅶ 鳥羽離宮跡 (60年度T B 53)

I. 調査経過

京都市高速鉄道烏丸線の南進工事における竹田駅工区で実施していた立会調査において、昭和61年3月1日に鳥羽離宮期の遺構・遺物を発見した。この地点は、京都市遺跡台帳の地図では鳥羽離宮遺跡の周知の遺跡範囲東限から約10m程度ではあるが東外側に位置している。このため京都市埋蔵文化財センター・財団法人京都市埋蔵文化財研究所・京都市交通局など関連機関が協議の結果、

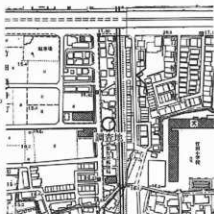


図20 調査位置図(1/5000)

工事が未だ行われていない残された範囲に調査区を設定し、遺構の状況を確認すべく試掘調査を実施することとなった。調査は、南北2.2m×東西10mのトレンチを設定し、昭和61年3月11日から開始して同年3月20日には完了した。

2. 遺構・遺物

調査によって、鳥羽離宮期の遺構面において、溝、ピット、土壌、落ち込みなど各種の遺構を検出した。各遺構からは、土師器、須恵器、瓦器、輸入陶磁器など多数の土器類を中心に他に少量の木製品などの遺物が出土している。以下では同遺構面で検出した主要遺構について記す。

溝1 調査区を北東から南西方へ走り、断面形状は浅い皿状を呈する。堆積土は、シルト混りの砂質土である。溝内からは、土師器皿、瓦器椀、須恵器甕などが出土している。出土遺物から判断して鎌倉時代前半代までには埋没しその機能が失われている。

落ち込み2 深さが成立面から15cm程度の浅い不定形の遺構である。堆積土は、シルトを主とする。溝内からは完形を含む一定量の土師器皿と瓦器椀および下駄など少量の木製品が出土している。遺物は、平安時代後期に比定できるものが主であり、遺構の埋没は同後期中である。

ピット 一定数を検出している。ピット5では、底部に根石が設置されていた、礎石等は残存していなかったが明らかに柱穴である。他にも柱穴と見られるピットもあったが対

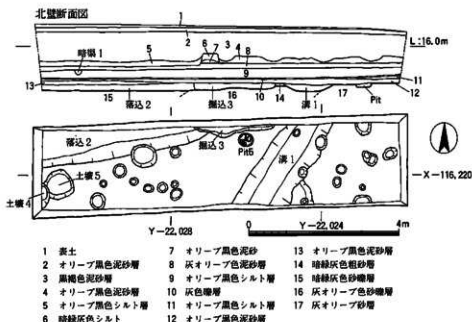


図21 遺構実測図 (1/100)

応するものは確認できなかった。各ピットからは、土師器皿、瓦器柄、須恵器鉢・甕などが少量ずつではあるが出土している。出土遺物の時期は、平安時代後期のものが中心であるが鎌倉時代に入るものが出土しているピットもある。

上述した遺構面のベースを成す第14～17層は、砂・砂礫を主とする自然堆積層である。また同面上に堆積している第12・13層は、第10・11層を含めて鎌倉時代の一連の整地土層の可能性が高い。これらの土層からは、鎌倉時代の遺物の他に平安時代後期の土器類、瓦類も多数出土している。なお第4～9層は、中世以降の耕作土およびその関連土層であり、第1～3層は現代の積土層である。

3. まとめ

今回実施した調査によって、鳥羽離宮期の各種遺構および遺構面の広がりを確認できた意義は大きい。調査面積が狭小なこともあり各遺構の性格を把握するまでには至らなかったが、これによって鳥羽離宮遺跡が現在の周知の東限よりさらに東方へ広がっていることが明確となった。

Ⅷ 室町殿跡

1. 調査経過

調査地点は上京区烏丸今出川上ル御所八幡町110-5に所在する。民家建替に伴い試掘調査が行われ、庭園遺構の一部と推定される石組遺構が検出されたことにより、発掘調査に切換え実施する運びとなった。調査は1986年9月25日に開始し、10月11日に終了した。

調査地点は、推定室町殿の北東寄りに位置する。室町殿は足利義満が造営に着手、室町幕府の置かれた將軍家の邸宅で、花の御所とも称された。花樹・苑池を誇る室町殿も、焼失・再建が繰返され衰亡して行く。桃山時代には豊臣秀吉によって聖護院が当該地に移転されるが江戸時代には焼失し、調査地点に北接する大聖寺が建立され現在に至っている。

調査区は、敷地面積が狭小かつ遺構面が深いこと、排土場所の確保などを考慮し、北・南の2箇所に $3 \times 6.5\text{m}$ ・ $3 \times 3\text{m}$ の1・2区を設定した。調査の結果、石組遺構、礎敷遺構などを検出した。なお発掘調査終了後の10月13日から17日まで、擁壁工事に伴い立会調査を行った結果、敷地東・西端から隣接地にかけてそれぞれ庭石を検出した。

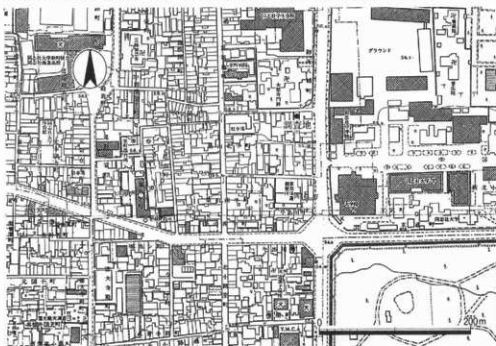


図22 調査位置図(1/5000)

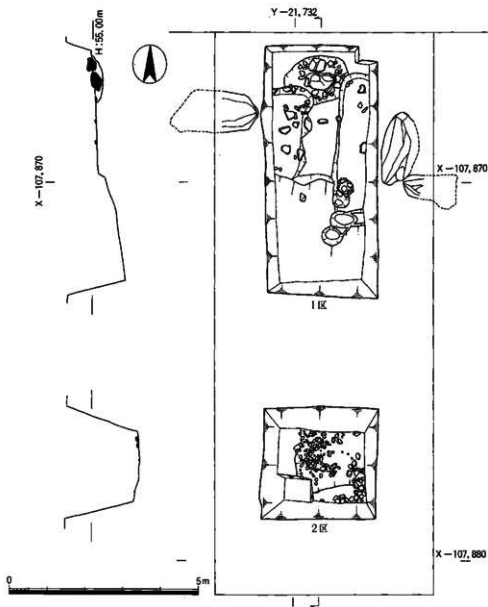


図23 遺構実測図(1/100)

2. 遺 構

調査区の層序は、現表土下の焼土層を除けばほぼ全体に南に向かって緩傾斜を呈する。褐色砂礫(3)層は1区中央から南に厚く堆積し、2区では厚さ約1mに達する。暗褐色泥

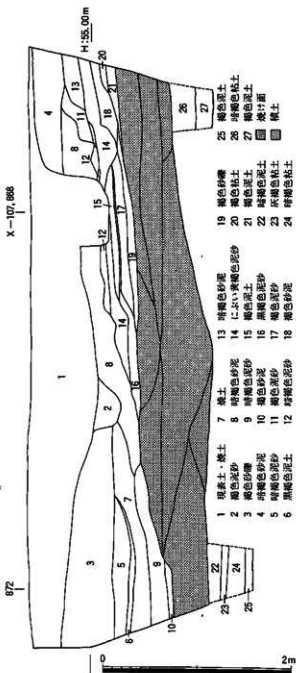


図24 1区西壁断面図(1/40)

砂(5)層や暗褐色砂泥(7・8)層は大量の焼土や瓦を包含する。に
 ぶい黄褐色泥砂(14)層や褐色泥土
 (15)層は1区中央北半の高まり部
 にある整地層で、石組遺構はこの
 層の上面で検出した。褐色泥砂(17
 ・18)層も整地層と考えられ、特に
 (17)層は精良・緻密な土層である。
 (17)層上面の一部と(18)層上面は
 焼けており、(17)層上面は厚さ数
 mmまで赤変している。黒褐色泥砂
 (16)層はこの肩口に堆積する。積
 土層は暗褐色泥砂、黒褐色泥土、
 黄褐色粘土などから成り、1区中
 央で厚さ約80cmある。積土層の上
 面と下面は比較的固く締っている。
 積土層下の各種は南・北隅の断割
 りによって確認したが、粘土・泥
 土がほぼ水平に堆積する。褐色泥
 土(25)層下には暗褐色砂礫層が堆
 積する。遺物は出土していない。

2区の層序は概観すれば1区の
 層序にほぼ対応する。先述した1
 区の暗褐色砂泥(8)層に対応する
 暗褐色泥土層は焼土を大量に含み
 厚さ約20cmある。この暗褐色砂泥
 層下には、暗褐色泥土・褐色砂礫、
 黒褐色泥土、にぶい黄褐色砂礫層
 が堆積し、厚さ約60cmある。石敷
 遺構は、褐色砂礫層上面、黒褐色

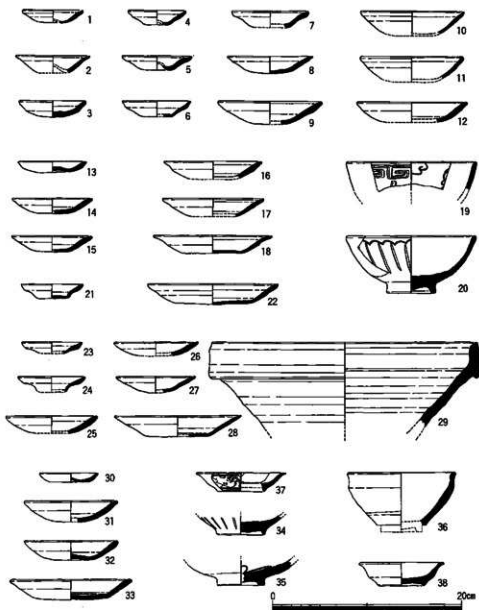


図25 遺物実測図(1/4)

泥土層上面でそれぞれ検出した。にょい黄褐色砂礫層下は灰褐色粘土層が厚さ約10cm堆積する。焼土が多量に含まれ、1区の褐色泥砂上面の焼け面に対応する。灰褐色粘土下は褐色粘土や褐色泥土などが厚さ約30cmあり、10～30cm大の割石などが大量に含まれる。1

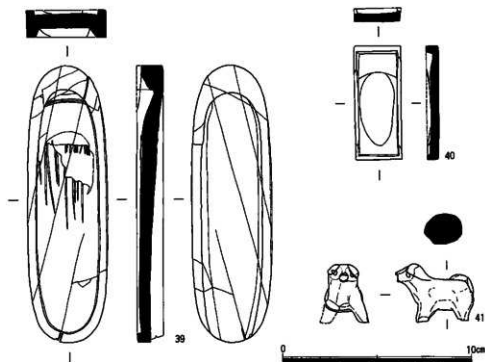


図26 遺物実測図(1/2)

区積土層に対応する。褐色泥土下は褐色砂礫が堆積する。遺物は出土していない。なお褐色砂礫層上面の海拔高は53.25m ある。

調査区内では、庭園造成時の積土層により陸部と池部を形成し、この地形はその後も踏襲される。陸部で各期の整地層や焼け面、石組遺構などを検出した。池に相当する2区では礫敷遺構を検出した。石組遺構は長径1.7m、短径1.3mの掘形底に5～25cm大の礫を置き、上に40・75cm大の自然石を2個据える。南東隅は土壌により削平される。石組遺構の南には10～38cm大の扁平な礫をまばらに敷く。礫には焼けたものもある。礫敷遺構は下面のものを図示した。西端にやや固い平坦面があり、その屑口から底部にかけて5～24cm大の礫を密に敷く。他に小土壌を4基検出した。1基の周縁には10～20cm大の礫を巡らす。

なお立会調査では庭石を3個検出した。東端のものは緑泥片岩とチャートで、長軸2.04m、1.40m、海拔高は上端で54.96m、54.74m ある。緑泥片岩は平坦面が南西に傾斜する。西端のものは緑泥片岩で、長軸2.35m、海拔高は上端で54.73m ある。土層観察から庭石は、積土層に下半か下面を据え、上半は焼土層に覆われ、一部焼けた箇所もある。

3. 遺 物

遺物は遺物整理箱で13箱出土した。遺物内容は、土師器、須恵器、緑釉陶器、瓦器、陶磁器、輸入陶磁器、土製品、瓦、埴、銭貨、石製品などがある。土器類は細片が多い。

積土層から出土した遺物には、土師器(4~12)の他、緑釉陶器、瓦器、陶器、瓦などがある。瓦では巴文軒丸瓦がある。褐色泥土(21)層からは土師器(1~3)が出土した。黒褐色泥砂(16)層では、土師器(13~18)、輸入陶磁器(19・20)、瓦、銭貨などがある。銭貨には紹聖元寶、永樂通寶がある。(21・22)の土師器は2区の褐色砂礫層から出土した。褐色泥土(15)層では、土師器(27・28)、瓦器、陶器、輸入陶磁器などがある。暗褐色砂泥(14)層などから出土した遺物には、土師器(23~26)、瓦器、陶器(29)、輸入陶磁器、瓦、犬形土製品(41)、石硯(39・40)、銭貨などがある。銭貨には元豐通寶がある。暗褐色砂泥(8)層では、土師器(30~33)、陶器(34~36)、輸入陶磁器(37)、瓦、埴、石製品、銭貨などがある。銭貨には開元通寶、洪武通寶、永樂通寶がある。暗褐色泥砂(5)層からは、土師器、陶器(38)、磁器、瓦、埴などが出土した。瓦は遺物整理箱で6箱あり、丸・平瓦、軒丸・軒平瓦、鬼瓦などがある。この他2区の褐色粘土層からは剣頭文軒平瓦が、灰褐色粘土層からは巴文軒丸瓦が出土している。

4. まとめ

室町殿は、永徳元年(1381)の落慶供養の後も歴代将軍により修理、増築、移築が度々施行され、あわせて「花之亭」と称される程の花樹、苑池を伴った庭園にも造作の手が加わり、荘麗な景観を呈していたとされる。約百年後の文明8年(1476)には焼失、再建された室町殿も文明12年(1480)には再度焼失する。整地層上面で検出した焼け面は、上記火災に伴うものと考えられる。16世紀以後、大永・天文年間の洛中洛外図には室町殿の様子が窺えるものの、文献からは姿を消す。石組遺構は当該期以後のものと考えられる。室町殿衰亡後豊臣秀吉によって移転された聖護院も、元和6年(1620)、延寶3年(1675)の2度に渡り焼失する。暗褐色砂泥(7・8)層や暗褐色泥砂(5)層はこの火災に伴うものと考えられる。

室町殿については、文献、指図、屏風図等々によって、建物配置や庭園の規模などおおよその姿を窺い知ることが出来るが、四至をはじめとして具体的に把握できる資料は極めて少なく、調査区は小面積ながらも庭園の一部と考えられる遺構及びその変遷の一端を明らかにすることができたことは、今回の調査における成果の一つと言えよう。

IX 主要な出土遺物

1. 土器類

ここでは、平安宮東雅院（H Q 43）より出土した土器類について報告する。調査は、上京区日暮通橋木町上る御箭町712において、鉄筋建物の新築工事に先立ち、昭和61年10月15日および10月21日より10月25日までの計6日間実施したものである。

調査の結果、地表下0.4mにて平安時代前～中期の土壌9基を検出した。とくに土器捨て穴（SK 2）より出土した土器類は一括性の高いもので、9世紀中頃の特徴をもち、図を示して概略を述べる。



図27 調査位置図(1/5000)

SK 2より出土した土器類には、土師器、黒色土器、須恵器、無釉陶器、緑釉陶器、灰釉陶器などがある。そのなかで、土師器杯・皿、須恵器鉢などに墨書の描かれているものが含まれるが、判読は困難である。

土師器 杯A・杯B・皿A・蓋・高杯・甕がある。

杯A（図28-1～12） 底部は平らで口縁部は斜め上方へひらく。口縁端部は、上部がわずかに外反し端部がやや肥厚して上方へ突出するものと、丸くおさまるものがある。口縁部を横ナデ下半外面に指圧痕を残すe手法が大半を占る。12はc手法を用いるが削りが粗く口縁上部をナデ、体部などを削り残す。胎土はいずれも微砂粒・雲母を含み、淡黄褐色又は黄褐色を呈するもの（1～4、9～12）と桃灰色を呈するもの（5～8）がある。

杯B（図28-22～25） 底部は低い高台をもち、口縁部は外上方へ開く。口縁端部はやや上方に突出する。23はc手法で外面に粗いヘラ削りを施し、外面高台脇・口縁部に横ナデが残る。胎土は雲母を少量含み緻密。淡黄橙色を呈する。22～25はe手法で、体部外面には指圧痕が残る。胎土は微砂粒、雲母を含み緻密である。22は赤褐色、24・25は淡茶灰色を呈する。

皿A（図28-13～21） ほぼ平らな底部より口縁部が外上方へひらく。口縁端部が肥厚するもの、上方へ突出するもの（17）、外反して丸くおさまるもの（19）がある。19の外面は

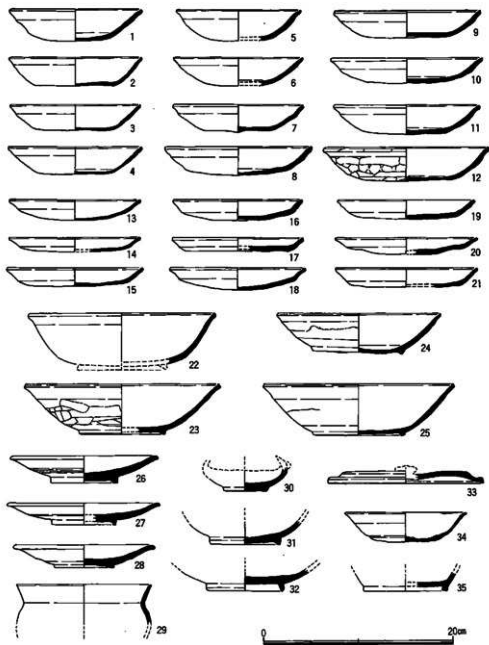


图28 遗物实测图(1/4)

丁寧な仕上げ平滑であるが、他はe手法で調整されている。13～15・20・21は淡黄橙色、16～19は黄褐色を呈する。

黒色土器 碗・甕・壺がある。壺がB類の他はA類に属する。

甕 (図28-29) 体部は丸く、口縁部は外反し、端部は丸くおさまる。口縁部外面は横ナデ、内面は丁寧なヘラ磨きを施す。体部外面は粗いヘラ磨きを、内面は数条のヘラ磨きを施す。内面および外面口縁部上半は黒色、外面は褐色を呈する。黒色土器A類。

須恵器 皿・杯A・杯B・蓋・壺・鉢・甕がある。

杯A (図28-34) 平らな底部をもち口縁部はやや外反する。底部はヘラ切り離しである。口縁端部に灯芯痕がみられる。胎土は軟質で灰白色を呈する。

杯B (図28-35) 底部のみ残存する。高台は低く断面方形をなす。底部はヘラ切り離しである。胎土は硬質で青灰色を呈する。

蓋 (図28-33) つまみを欠く。口縁部は屈曲し端部はやや外にひらき丸くおさまる。内面に墨痕を残す。胎土は硬質、青灰色を呈する。

無釉陶器 皿・碗がある。

皿 (図28-26・27) 口縁部は大きく外へひらき端部は丸くおさまる。内外面全体に丁寧なヘラ磨きを施す。胎土は緻密で黄白色を呈する。

緑釉陶器 皿・耳皿・碗・三足盤などがある。

皿 (図28-28) 平らな底部から口縁部が外へ大きくひらき端部は丸くおさまる。内外面にヘラ磨きを施す。高台は円板状に削り出す。胎土は軟質で黄白色、釉は全面に施し、淡緑色を呈する。

耳皿 (図28-30) 皿の口縁部両端を折り曲げて成形したものである。高台は円板状に削り出し、内外面にヘラ磨きを施す。胎土は硬質で青灰色、釉は全面に施し濃緑色を帯び光沢がある。

碗 (図28-31) 平らな底部より体部は内弯ぎみに立ち上る。内外面全体にヘラ磨きを施す。底部内外面にトチン痕が見られる。胎土は軟質で黄灰色、釉は全面に施し、淡黄緑色を帯び光沢がある。

灰釉陶器 皿・碗・壺がある。

碗 (図28-32) 体部外面はクロロヘラ削り。底部外面には横一文字のヘラ記号が認められる。内面底部には重ね焼の痕跡が残る。胎土は黒色微粒子を含み灰色、釉は内面見込み部を除き施釉、外面は上部を欠き不明。釉は淡緑灰色でガラス質で光沢がある。

表2 SK2出土遺物破片数量表

種類	器種	破片数	数量比(%)	重量(g)	重量比(%)
土師器	皿	2193	90.7	9921	82.1
	杯	7		98	
	蓋	131		3070	
	高杯	65		537	
	甕	14		115	
須恵器	皿	2	2.8	42	7.5
	杯	35		302	
	蓋	22		787	
	鉢	81		687	
	三足盤	3		121	
緑釉陶器	皿	69	2.6	700	4.2
灰釉陶器	碗	20	0.8	190	1.3
黒色土器A	甕	1		30	
黒色土器B	蓋	2643	100.1	16600	99.9
計		45		5694	

2. 軒瓦類

平安宮・京城出土のものと京域外出土のものに分けて概略を述べる。

平安宮・京城

重圓文軒丸瓦 (図29-36) 右京四条一坊十町・西宮領(HR8)出土。三重の圓線が巡る。胎土は砂粒をほとんど含まず緻密である。焼成は普通だが、二次焼成を受けている。

單弁十六葉蓮華文軒丸瓦 (図29-37) 右京二条二坊十二町(HR51)出土。蓮子は1+6で径1cm程の大粒である。弁先が外区の圓線に接する。胎土は砂粒を多く含み粗い、焼成はやや甘く、灰白色を呈する。

複弁八葉蓮華文軒丸瓦 (図29-38) 右京九条二坊三町(60年度HR210)出土。Y字形弁間文が弁に接する。胎土は砂粒を含み精良、焼成は良好で灰色を呈する。坂瓦窯産。

複弁八葉蓮華文軒丸瓦 (図29-39) 左京一条二坊一町(HL31)出土。丸瓦部凸面は縦方向のヘラ削りする。瓦当裏面に布目痕を残す一本造りである。胎土は砂粒を含み、やや粗い、焼成は良好で灰白色を呈する。栗栖野瓦窯産。

複弁五葉蓮華文軒丸瓦 (図29-40) 左京二条四坊十一町(HL94)出土。瓦当外周下半を丁寧に横方向のヘラ削りをする。瓦当裏面下半をヘラ削り調整。瓦当部は楕円形を呈

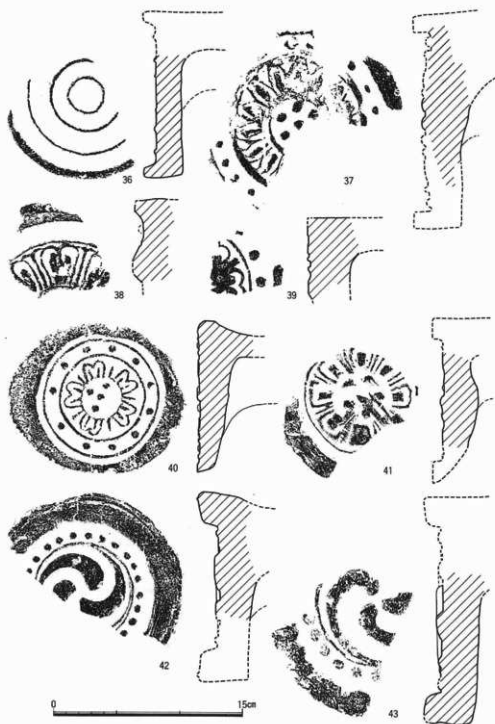


图29 軒瓦拓影·实测图(1/3)

する。胎土は微砂粒を含み精良、焼成は良好で淡黄灰色。栗栖野瓦窯産。

単弁八葉蓮華文軒丸瓦 (図29-41) 右京一条四坊四町 (HR85) 出土。中房に1+5の蓮子を配す。外区に珠文はない。胎土は砂粒を含み精良、焼成は良く褐灰色を呈する。

三巴文軒丸瓦 (図29-42) 左京八条二坊十一町 (HL130) 出土。内区は右巻きの三巴文を配す。外区には比較的密に珠文を置く。丸瓦部凸面は縦方向のヘラ削り。胎土は砂粒を含み堅緻、焼成は良好で褐灰色を呈する。

三巴文軒丸瓦 (図29-43) 左京四条三坊十六町 (HL54) 出土。内区は右巻の三巴文を配す。巴の末尾は圏線と化す。瓦当裏面下半の縁辺部は一条の横ナデを施す。胎土は砂粒を含みやや粗い。焼成は良好で青灰色を呈する。六角堂出土。

均整唐草文軒平瓦 (図30-44) 平安宮東雅院 (HQ15) 出土。瓦当外周上部および下部は横方向のヘラ削り、側面は縦方向のヘラ削り。平瓦部凸面は縦方向にヘラ削り調整を行うが、縄目叩き痕残る。胎土は微砂粒を含み精良、焼成は良好である。平城宮式6760A。

均整唐草文軒平瓦 (図30-45) 平安宮太政宮 (HQ29) 出土。瓦当外周上部および下部は横方向のヘラ削り。胎土は砂粒を含み粗い、焼成は良好で淡灰色を呈する。平城宮式6681A系。

唐草文軒平瓦 (図30-46) 平安宮内裏 (60年度HQ87) 出土。瓦当外周下部は横方向にヘラ削りし、平瓦部凸面は横方向にナデる。平瓦部凹面は粗い布目、瓦当縁まで残る。胎土は微砂粒を含み、焼成はやや甘く黄灰色を呈する。播磨産。

均整唐草文軒平瓦 (図30-47) 平安宮内裏 (60年度HQ87) 出土。瓦当外周上部は横方向のヘラ削り、側面は縦方向のヘラ削りを施す。文様中央に『栗』の裏字をもつ複線唐草文。胎土は砂粒を含み、焼成はやや甘く、暗灰色を呈する。栗栖野瓦窯産。

均整唐草文軒平瓦 (図30-48) 右京四条一坊十二町・西宮領 (HR8) 出土。瓦当外周を丁寧にヘラ削りする。胎土は微砂粒を含み精良、焼成は良く灰色を呈する。西賀茂角社西群瓦窯産。

均整唐草文軒平瓦 (図30-49) 右京三条一坊十一町 (HR116) 出土。瓦当外周上・下部を横方向にヘラ削り、側面を縦方向にヘラ削りを施す。胎土は砂粒を含み軟質、焼成は良好で黒灰色を呈する。岸部瓦窯産。

均整唐草文軒平瓦 (図30-50) 右京八条二坊十二町 (HR80) 出土。瓦当外周上縁および側面・下部をヘラ削りする。平瓦部凸面は指圧痕が顕著に残る。胎土は砂粒を含み粗く、焼成は良好で黒灰色を呈する。

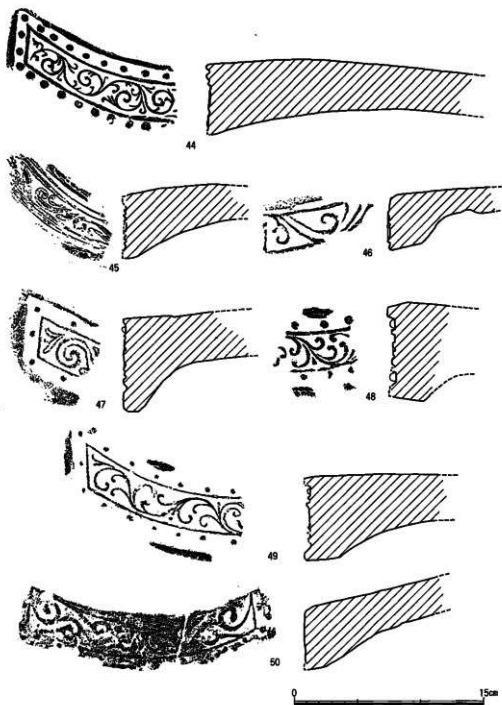


图30 軒瓦拓影·实测图(1/3)

平安京域外

複弁八葉蓮華文軒丸瓦 (図31-51) 法勝寺跡 (60年度K S38) 文様は線刻風を呈する。瓦当面に范の木目が残る。胎土は砂粒を含み堅緻、焼成は良好で淡青灰色を呈する。

単弁八葉蓮華文軒丸瓦 (図31-54) 尊勝寺跡 (K S29) 出土。瓦当面に范押し前の粘土成形時の糸切り痕が顕著に残る。花卉、珠文、蓮子とも厚く隆起する。瓦当裏面中央部

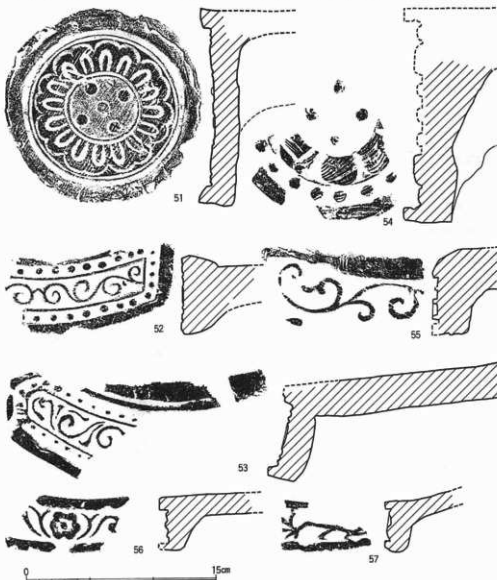


図31 軒瓦拓影・実測図 (1/3)

は、指圧痕が顕著に残り凹む。胎土は微砂粒を含み精良、焼成は良好で灰色を呈する。

均整唐草文軒平瓦(図31-52) 法勝寺跡(60年度K S38)出土。瓦当外周をヘラ削りする。平瓦部凸面は指圧痕が残る。凹面は粗い布目痕。胎土は微砂粒を含み精良、焼成は良好で暗青灰色を呈する。西賀茂河上瓦窯産。

唐草文軒平瓦(図31-53) 法勝寺跡(60年度K S38)出土。瓦当外周下部は横方向にヘラ削りするが、縄目叩き痕残る。瓦当裏面および平瓦部凸面は縄叩き痕が連続する。平瓦部凹面には承切り痕残り、布目痕が瓦当上縁まで続く。胎土は精良で堅緻、焼成は良好で、須恵質を呈する。丹波系である。

唐草文軒平瓦(図31-55) 尊勝寺跡(K S29)出土。瓦当外周をヘラ削りする。瓦当下面・裏面および平瓦部凸面は、平行叩き目残る。胎土は砂粒を含み粗い、焼成は良好で灰色を呈する。

均整唐草文軒平瓦(図31-56) 法金剛院(U Z15)出土。瓦当外周はヘラ削りののち丁寧にナデで仕上げる。平瓦部凹面は、きわめて平滑、凸面は縦方向のヘラ削りを施す。胎土は砂粒を含み粗い、焼成は良好で黒灰色を呈する。

唐草文軒平瓦(図31-57) 法金剛院(U Z15)出土。瓦当外周をヘラ削りする。胎土は微砂粒を含み、焼成は良好で暗青灰色を呈する。包み込み式。播磨産。

3. 木器類

本年度に於て出土した木製品は種類・時期ともに多様に渉る。そのうち主なものについての報告をする。斎串の型式については『木器集成図録-近畿古代編-』に従った。尚、木簡の釈読にあたっては、京都市歴史資料館の川嶋将生氏の協力を得た。

平安京右京五条一坊(HR97)

中京区壬生松原町1番地でのビル建築に伴う立会調査である。当該地は平安京右京五条一坊三町に推定されている。昭和61年9月1日に調査を実施した。

その結果、調査地は全面的に池沼状の土層堆積を示していることが判明した。土器の出土がなかったため土層の時期の決定は困難であるが、木簡の書体から

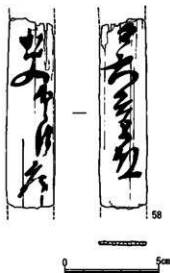


図32 遺物実測図(1/2)

見て江戸期の頃ではないかと思われる。遺物は、多くの木片の他に箸・曲物底・その他の木製品が出土している。また木筒も1点出土する。木筒（図32-58）の残存長は10.0cm、幅2.5cm、厚さ0.15cmである。両端が折損しているため全長は不明である。墨書は両面にある。次に釈文を挙げておく。

・×□受今津房□×

・×□六□□□殿」

平安京右京五条一坊（60年度HR204）

中京区壬生松原町54番地での住宅兼工場の建築工事に伴う立会調査である。当該地は平安京右京五条一坊六町に推定されている。昭和61年3月6・7日に調査を実施した。

調査の結果、南東方向にゆるやかな傾斜をもつ池沼状の土層堆積を確認した。断片的な土層観察による調査のため、遺構の最上層については確定し難いが、現地表下0.9mから下層は褐灰色泥土を主体としており、砂粒・木片が混入しているのが観察できた。確認できた最深部は現地表下1.6mで、底部には直径5cm程度の礫が敷きつめられていたようになっていた。

調査地はHR97と隣接する条坊町割であるが、周辺の既調査分を検討すると別の遺構であるかと思われる。

出土遺物は、土師器・須恵器・緑釉陶器等の土器類が出土しており、平安時代前期の特徴を示している。他にも木製品が出土しており、その主なものを紹介する。

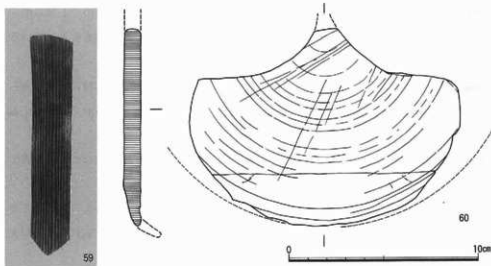


図33 遺物実測図(1/2)及び遺物写真

木簡(図33-59) 残存長9.2cm、幅1.2cm、厚さ0.2cm。下端部が出土。端部は三角形に切り欠いている。片面に6字書かれているのが認められるが、その内容は不明である。

不明木製品(図33-60) 長さ14.1cm、幅10.3cm、厚さ0.7cm。分銅型を呈しており、ほぼ完形である。本来は円形の皿状製品であるが、再加工を施したものであろう。復元径は20.4cm・周縁部には溝状の削りを施してあり、全体に軸轆挽の痕跡がある。

他には素串(残存長4.3cm、残存幅2.1cm、厚さ0.2cm、CⅣ型式)、長方形曲物(残存長21.0cm、残存幅2.1cm、厚さ0.2cm)が出土している。後者には墨書で文字が書かれているが、折損が激しいため不明である。

平安京右京八条二坊(HR64)

下京区七条石井町50番地でのビル建築工事に伴う立会調査である。調査地は平安京右京八条二坊二町と推定されており、北接する七条小学校校地内で二度に渉る発掘調査によって検出された池沼状遺構の延長が推定されている。調査は昭和61年7月9日に実施した。

調査の結果、推定通りに池沼状遺構が調査地に迄拡がっていることが確認された。立会調査という制約上、他の遺構については不明である。土層観察をした限りに於いては(暗褐色)泥土・腐食土が堆積しており、流れたような形跡は認められなかった。

出土遺物には、平安時代前期の土器(土師器皿・須恵器甕)があり、他に木片・木製品が多く出土している。土器は図化できる程のものはなかったので、木製品について報告する。

独楽(図34-61) 直径2.0cm・高さ2.5cmの木製独楽。全面が刀子状のもので丁寧な削られている。上端部は切り欠いただけで平担であるが、下端部は軸状に先端を尖らせている。側面には一部切込みが入っている。

題籤(図34-62) 全長16.9cm、幅0.7cm、厚さ0.5cm。完形品。偏平な木材の上端部から約1cmのところで切り込みを施して段を付け、下部は丸く削り端部は尖らせている。上端部には墨書が施してある。「六」と読める。

素串(図34-63-65) 何れも上端部を圭頭状に切り欠き下端部を剣先状につくる形式のものである。側面には左右に切り込みを施す。

63は残存長9.8cm、幅1.2cm、厚さ0.9cm。CⅡ型式。一般的に出土するものと比してかなり厚いため、更に幾つかに分割する前の段階の未製品かと思われる。左右に3箇所以上の切込みがある。

64は残存長13.8cm、幅2.1cm、厚さ0.15cm。CⅡ型式。左右に2箇所以上の切込みがある。

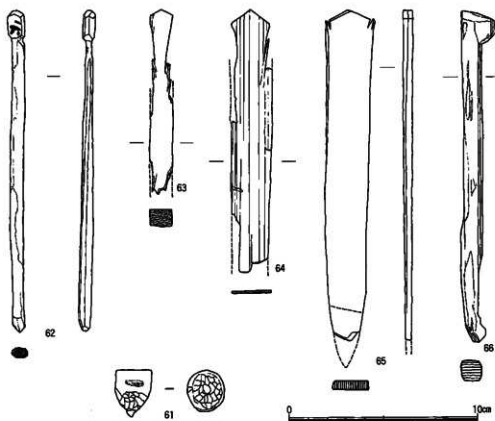


図34 遺物実測図(1/2)

65は残存長17.4cm、幅2.3cm、厚さ0.5cm。CⅡ型式。上端から下端の手前約1.5cm迄半截した痕跡がある。半完成品であろう。左右に2箇所の切込みがある。

不明木製品(図34-66) 長さ17.5cm、幅1.0~1.8cm、厚さ1.1cm。完形品。両端を把手状に切欠いて、全体に面取を施している。

平安京右京八条二坊(HR80)

下京区御所ノ内本町89番地でのマンション建築工事に伴う立会調査である。当該地は平安京右京八条二坊十二町に推定されており、調査地は同町の北東隅に位置する。昭和61年8月4・5日に調査を実施した。

調査の結果、現地表下0.8~0.9mで、幅2.0m以上の東西溝(SD1)、幅1.6mの南北溝(SD2)、北東から南西に斜行する幅1.2mの溝(SD3)各1条ずつを確認した。

当研究所による条坊復元に基くと、位置関係から見ると東西溝は梅小路南側溝・南北溝は西堀川小路西側溝に比定することが可能である。SD1とSD2との切合関係について

は平面的な調査でないためよく分らないが、層序関係を検討してみると、SD 3 は最も新しい時期のものである。

出土遺物は非常に少なく、SD 1 から平安時代の瓦片が、SD 2 最上層から平安時代後期の土師器片が少量出土した程度である。SD 3 からは土器類の出土はなかったものの、木製品の出土をみるのでここに報告しておく。

木簡(図36-67) 残存長12.2cm、幅2.2cm、厚さ0.6cm。下端部は残存するが上端部は欠損している。墨書は片面のみである。次に釈文を挙げておく。

・×□吉」

付札(状)(図36-68) 残存長10.0cm、幅2.2cm、厚さ0.8cm。上端部に切込みがある。文字は認められないが、付札の形状をしている。

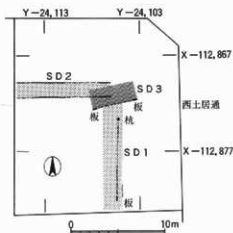


図35 遺構配置図(1/400)

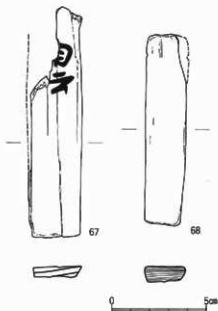


図36 遺物実測図(1/2)

調査一覧表

I 60年度1～3月期

平安宮 (H Q)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
平安宮跡	上、下立先通七本松東入長門町419-2	立	1/11	GL-0.24m以下江戸の包含層。	2-81
＊	中、二条城町地先	立	1/11	攪乱のみ。	2-82
＊	中、西ノ京内堀町32	試	1/13	GL-0.6mにて江戸の土取り穴2。	2-83
＊	中、聚楽園西町41	立	1/16	盛土のみ。	2-84
＊	上、仁和寺街道七本松西入二番町197-5・11	立	1/17・20	GL-0.7mにて平安中期の包含層。	2-85
＊	上、七本松通仁和寺街道上一番町地先	立	1/23・27	GL-0.2mにて時期不明の包含層。	2-86
＊	上、浄福寺通下立先下る西入中務町489地先	立	1/24・ 25・30	GL-0.3m以下江戸・時期不明の包 含層各1。	2-87
＊	中、西ノ京左馬寮町11-31	立	1/27	盛土のみ。	2-88
＊	中、聚楽園松町2	立	1/28	盛土のみ。	2-89
＊	上、千本通出水下る十四軒町413地先	立	1/31～ 2/4	攪乱のみ。	2-90
＊	上、中立先通松屋町西入新白水丸町449-1	立	2/3	GL-0.2mにて江戸末期の瓦溜め及 び包含層。	2-91
＊	上、智恵光院通出水上る天拝丸町180地先	立	2/3	攪乱のみ。	2-92
＊	上、下立先通御前東入西京町365	立	2/4	GL-0.1mにて時期不明の包含層。	2-93
＊	上、御前通下立先上る三丁目東入三助町281	立	2/4	盛土のみ。	2-94
＊	上、仁和寺街道土屋町西入西富仲町585地先	立	2/7	攪乱のみ。	2-95
＊	上、千本通一条下る四中筋町8	試	2/10	GL-0.65mにて江戸の土取り穴。	2-96
＊	上、下立先通七本松東入長門町地先	立	2/13	攪乱のみ。	2-97
＊	上、浄福寺通中立先下る養丸町182	立	2/18	盛土のみ。	2-98
＊	上、下立先通七本松東入長門町435-52	立	2/19	工事に伴う掘削なし。	2-99
＊	中、聚楽園南町8-17	立	3/6	検出できず。	2-100
＊	上、仁和寺街道下の森西入鳳鳴町地先	立	3/6・13	GL-0.2mにて時期不明の包含層。	2-101
＊	上、松屋町通丸太町下る藁屋町536-66	立	3/17	盛土のみ。	2-102
＊	中、聚楽園南町8-19	立	3/17	盛土のみ。	2-103
＊	上、千本通中立先上る東入東西使屋町地先	立	3/20	攪乱のみ。	2-104
＊	中、聚楽園東町31-18	試	3/27	GL-1.1mにて江戸の土取り穴。	2-105
＊	上、日暮通堀木町下る北伊勢屋町740、 740-5、742	立	3/27	GL-0.3mにて時期不明の包含層。	2-106

平安京右京 (H R)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
北辺一坊 八町	上、一条通御前東入西町地先	立	2/13	巡回時工事終了。	4-4
北辺二坊 一町	上、御前通一条上る東整町121-2	立	1/14	検出できず。	4-174
北辺二坊 三町	上、仁和寺街道御前西入下横町214	立	1/30	GL-1.05m以下時期不明の土壌1、 平安前～中期の包含層。	4-187
北辺二坊 四町	上、天神道一条下る西町地先	立	3/31	検出できず。	4-218
北辺二坊 五町	北、大將軍川増町22-1	立	1/21	GL-0.85m以下室町・時期不明の 包含層各1、時期不明の土壌。	4-180
一条二坊 七町	上、上、下立先通御前西入二丁目上る 堀川町地先	立	1/23・25	GL-0.65mにて鎌倉の包含層。	4-182
二条二坊 六町	中、西ノ京笠殿町地先	立	3/13・ 15・22	GL-0.28m以下時期不明の包含層 3、-1.14m以下平安中期の池状地塊。	4-208
＊	中、西ノ京笠殿町地先	立	3/31	GL-1.33mにて平安中期の包含層。	4-216
二条二坊 九町	中、西ノ京四町5、4の一郎	立	2/28	検出できず。	4-199
二条二坊十四町	中、西ノ京北壹井町83	立	1/16	巡回時工事終了。	4-177
二条三坊 四町	中、西ノ京南壹井町8	立	1/27	GL-0.43m以下時期不明の包含層3。	3-185

二条三坊十五町	右、花園春日町4	試	1 / 27	GL-0.34mにて平安中期の包含層、 -0.44mにて平安中期の土壁1、柱穴1。 発掘調査に切り換える。	3 - 184
二条四坊十一町	右、太秦安井辻ノ内町12	立	3 / 31	GL-0.49mにて時期不明の包含層。	3 - 217
三条一坊十四町	中、西ノ京船堀町~東月光町地内	立	2 / 3・7 17・19, 3 /1・4・6	GL-0.35mにて時期不明の包含層。 -1.05mにて平安後期の包含層。	4 - 189
三条二坊六町	中、西ノ京南原町29	立	3 / 25	GL-0.8m以下湿地位状地。	4 - 213
三条二坊十一町	中、西ノ京下合町37	立	2 / 3・7	GL-0.2m以下時期不明の土壁3、 包含層2。	4 - 190
三条二坊十二町	中、西ノ京三条坊町地先	立	1 / 14・16	検出できず。	4 - 175
三条二坊十三町	中、西ノ京三条坊町8	立	2 / 12	GL-0.65mにて時期不明の流れ地。	4 - 195
三条二坊十五町	中、西ノ京南上合町地先	立	1 / 17・20 22, 2 / 10	GL-0.5m以下時期不明の土壁3、 平安前期・平安・時期不明の包含層各1。	4 - 178
三条四坊十一町	右、山ノ内五反田町17	立	3 / 22	盛土のみ。	3 - 212
四条一坊三町	中、壬生御所ノ内町42-3	立	1 / 17	盛土のみ。	8 - 179
四条二坊八町	中、壬生上大竹町13	立	2 / 18	盛土のみ。	8 - 197
四条三坊六町	右、西院春日町2	試	3 / 15	GL-0.85mにて溝3、平安1、時期 不明2。	7 - 209
四条三坊七町	右、西院春榮町18-1	立	3 / 8	GL-0.71mにて室町の包含層、 -0.85mにて時期不明の溝。	7 - 205
四条四坊二町	右、山ノ内山ノ下町14-3・8	試	3 / 12	GL-0.8m以下弥生土器を含む流路。	7 - 206
五条一坊一町	中、壬生高橋町4-11	立	3 / 31	検出できず。	8 - 219
五条一坊六町	中、壬生松原町54-52・53	立	3 / 6・7	GL-1.2mにて平安前期の池状地。	8 - 204
五条一坊十三町	中、壬生下溝町35-15・35	立	3 / 3	GL-1.12mにて五条大路路面。	8 - 200
五条二坊三町	中、壬生東橋町20-1	立	3 / 4	GL-0.4mにて時期不明の包含層。	8 - 202
五条二坊八町	中、壬生土器ノ内町19-21	立	2 / 8	検出できず。	8 - 191
五条二坊十二町	右、西院西平町25-2	立	1 / 28	盛土のみ。	8 - 186
五条四坊四町	右、西院清水町4	立	2 / 10・14	GL-0.92m以下鎌倉・時期不明の 包含層各1。	7 - 193
五条四坊十一町	右、西院安塚町60, 61, 62の一部	立	3 / 4	GL-1.06mにて鎌倉~室町の包含 層。	7 - 201
六条二坊一町	中、壬生東高田町1-2	試	2 / 24	GL-1.28m以下土壁5、平安1、鎌 倉~室町2、時期不明2、平安の柱穴 2、古墳期の溝。	8 - 198
六条二坊十六町	中、壬生東高田町27 右、西院西高田町13-1	立 試	3 / 12 3 / 31	GL-0.6mにて室町の包含層。 GL-0.22mにて土壁3、室町1、時 期不明2、鎌倉~室町の南北溝。	8 - 207 8 - 215
六条四坊十六町	右、西京極高野町地先	立	1 / 22	GL-0.58mにて時期不明の包含層。	7 - 181
七条三坊七町	右、西京極南庄境町16地	試	2 / 12	検出できず。	7 - 194
七条三坊八町	右、西京極北庄境町66	立	1 / 25	GL-0.7m以下湿地位状地。	7 - 183
八条一坊十五町	下、西七条西久保町1	立	3 / 17	GL-0.38m以下時期不明の土壁2、 路面、平安末期の溝。	12 - 211
八条二坊十二町	下、七条御所ノ内本町74	立	1 / 31, 2 / 1・3 4・5・21	GL-0.27m以下包含層5、平安後期 1、室町1、時期不明3、時期不明の登 地層、-1.07mにて平安末期の井戸。 本文14ページ。	12 - 188
八条四坊十三町	右、西京極東向河原町4-5	立	1 / 14	GL-1.05mにて時期不明の溝。	11 - 176
九条一坊四町	南、唐橋羅城門町50-2	立	3 / 4	検出できず。	12 - 203
九条二坊三町	南、唐橋平堤町55	立	3 / 15	GL-0.4m以下土壁3、室町1、時期 不明2、江戸・時期不明の包含層各1。 GL-0.75m以下湿地位状地。	12 - 210
九条二坊十六町	下、七条御所ノ内南町地先	立	3 / 27	GL-0.75m以下湿地位状地。	12 - 214
九条三坊十三町	南、吉祥院中河原里南町19-2	立	1 / 6	検出できず。	11 - 173
九条四坊一町	南、吉祥院宮ノ東町15-2	立	2 / 10	GL-0.75mにて時期不明の包含層。	11 - 192

平安京左京 (HL)

道 路 名	所 在 地	試・立	調査日	概 要	図版番号
北辺一坊 一町	上、千本通一条下る北伊勢路横町地先	立	2 / 13	擾乱のみ。	5 - 313
北辺一坊 八町	上、一条通千本東入伊勢路横町地先	立	3 / 8	擾乱のみ。	5 - 361
一条三坊 六町	上、一条通智恵先院東入鏡石町23	立	3 / 10	検出できず。	5 - 344
二条二坊 八町	上、宝町通出水下る勘解由小路町162-1・2	立	3 / 13	GL-0.65mにて時期不明の包含層。	6 - 345
二条二坊 十三町	上、西堀川通榎木下上堀川町125-1	立	1 / 7	工事に伴う掘削なし。	5 - 276
	中、夷川通小川東入東夷川町636	立	2 / 20・22	GL-0.9mにて江戸の包含層、-1.2mにて時期不明の土壌、-1.25mにて江戸の包含層。	5 - 317
二条三坊 四町	中、西洞院通二条上る薬師町	立	3 / 12	GL-1.11mにて時期不明の土壌2。	6 - 340
二条三坊 十町	中、岡替町通竹屋町上る西方寺町160-2	立	3 / 6・7	GL-0.96mにて鎌倉後期の土壌。	6 - 333
二条三坊 十一町	中、宝町通夷川上る鏡石町36	立	3 / 12	盛土のみ。	6 - 338
二条四坊 十五町	中、御幸町通丸太町下る毘沙門町558-4	立	3 / 29	GL-0.2m以下江戸の包含層2。	6 - 364
三条一坊 四町	中、西ノ京南聖町地先	立	1 / 21・30	検出できず。	5 - 289
三条二坊 五町	中、錦小路通堀川西入樽屋町463	立	3 / 18	盛土のみ。	5 - 352
三条二坊 七町	中、御池通堀川西入池元町408-10	立	3 / 12・17	GL-0.6mにて時期不明の路面3、推定踏切小路、平安中期・時期不明の包含層各2。	5 - 341
三条二坊 十一町	中、東堀川通錦小路上る三坊堀川町58-1	立	2 / 22・24	GL-1.14mにて時期不明の包含層、-1.18mにて室町の土壌。	5 - 321
三条三坊 一町	中、釜座通二条下る正行寺町676-1	立	3 / 3	GL-0.9m以下江戸の包含層。	6 - 328
三条三坊 四町	中、釜座通錦小路下る突抜町793-2・3	立	1 / 25・27・29	GL-1.2m以下土壌5、鎌倉2、時期不明3、平安後期・時期不明の包含層各1、平安中期の整地層。	6 - 294
三条三坊 五町	中、衣櫛通錦小路下る突抜町129-1, 132	立	3 / 27	検出できず。	6 - 362
三条三坊 七町	中、衣櫛通御池上る下妙覚寺町192	立	3 / 12・13	GL-1.45mにて時期不明の整地層。	6 - 339
三条三坊 八町	中、衣櫛通二条上る上妙覚寺町地先	立	2 / 22	巡回時工事終了。	6 - 320
三条三坊 十五町	中、烏丸通御池上る二条路町546	立	1 / 28・30 2 / 3	GL-1.1m以下包含層7、室町1、時期不明6、土壌6、室町1、江戸1、時期不明4。	6 - 297
三条四坊 八町	中、高倉通二条下る瓦町539	立	1 / 27, 2 / 7	GL-0.85m以下室町・江戸・時期不明の包含層各1。	6 - 295
三条四坊 九町	中、富小路通二条下る徳屋町182-1	立	2 / 15	検出できず。	6 - 314
三条四坊 十六町	中、御幸町通二条下る山本町414-1, 416-2	立	3 / 22	盛土のみ。	6 - 356
四条一坊 七町	中、壬生馬場町23	立	1 / 21	GL-0.3mにて鎌倉の包含層。	9 - 292
四条二坊 三町	中、大宮通嵯峨町下る四坊大宮町163-2	立	1 / 8	GL-1.25mにて時期不明の包含層。	9 - 280
四条二坊 六町	中、西堀川通錦小路上る宮本町836	立	3 / 18	GL-1.7m以下土壌6、鎌倉1、江戸1、時期不明4、時期不明の包含層。	9 - 351
四条三坊 十五町	中、六角通烏丸東入堂之前町245	試	3 / 3	GL-0.4m以下室町・江戸末期の包含層各1、室町後期・江戸の整地層各1。	10 - 327
四条四坊 四町	中、錦小路通高倉西入西魚屋町598	立	1 / 7・8	検出できず。	10 - 277
四条四坊 五町	中、堺町通四条上る八百屋町553-1	立	3 / 12	GL-0.8m以下包含層4、室町1、江戸1、時期不明2。	10 - 337
四条四坊 六町	中、高倉通錦小路上る中魚屋町510-4	立	3 / 3	検出できず。	10 - 329
四条四坊 七町	中、嵯峨通通堺町東入雁金町147	立	1 / 29	GL-0.8m以下桃山の包含層、鎌倉・時期不明の土壌各1。	10 - 298
四条四坊 十町	中、櫻馬場通六角下る井筒屋町411, 412, 414, 415	試	3 / 26	GL-0.95m以下室町前期の土壌各1、桃山の井戸1、時期不明の土壌1、整地層1、-1.5mにて平安後期の根石をもつ柱穴3。	10 - 358
四条四坊 十三町	中、御幸町通錦小路下る大日町	立	1 / 9・25	GL-1.8m以下室町の包含層2。	10 - 281
四条四坊 十六町	中、三条通嵯峨町東入弁慶石町45	立	3 / 13	GL-1.8mにて鎌倉の土壌。	10 - 346
五条一坊 九町	中、壬生賀陽御所町18-3	立	1 / 16・17	GL-0.35mにて平安後期・時期不明の包含層各1、平安後期・室町・江戸・	9 - 287

五条一坊十四町	下、坊門町地先	立	1 / 22	時期不明の土壌各4。	9 - 293
五条二坊 一町	下、大宮通四条下四条大宮町18-10・12	立	2 / 22	巡回時工事終了。	9 - 322
五条二坊 六町	下、西堀川通仏光寺下る吉水町	立	1 / 21	検出できず。	9 - 291
五条二坊 十町	下、綾小路通腰ヶ井西入西綾小路西半町	立	1 / 8	検出できず。	9 - 279
五条二坊十一町	下、高辻通腰ヶ井東入西高辻町602	立	1 / 7	検出できず。	9 - 278
五条三坊 五町	下、室町通高辻下る高辻町	立	2 / 12	G L-1.1m にて鎌倉の包含層。	10 - 310
五条三坊十四町	下、東洞院通仏光寺下る高橋町613-2	立	3 / 4	G L-0.7m 以下包含層3、桃山1、時期不明2。	10 - 330
五条四坊 一町	下、四条通高倉西入立売西町68-2	立	3 / 15・18	G L-1.2m 以下包含層3、室町1、時期不明2。	10 - 347
五条四坊 二町	下、綾小路通高倉西入神明町247-1	立	2 / 19	G L-1.35m 以下桃山の井戸1、土壌10、鎌倉2、鎌倉後期5、時期不明3、包含層3、平安後期1、時期不明2。	10 - 316
五条四坊 六町	下、仏光寺通堺町東入東前町405	立	2 / 6	G L-0.9m 以下包含層11、平安後期1、鎌倉1、室町1、時期不明8。	10 - 304
五条四坊 九町	下、宮小路通四条下る徳正寺町32	立	2 / 1	盛土のみ。	10 - 300
五条四坊 十町	下、樺馬場通綾小路下る永原町154	立	2 / 12	検出できず。	10 - 311
五条四坊十三町	下、寺町通高辻下る京極町486-2	立	2 / 10	巡回時工事終了。	10 - 307
。	下、御寺町通高辻下る料理町	立	2 / 26	G L-0.7m 以下室町・江戸・時期不明の包含層各1、江戸の土壌。	10 - 325
五条四坊十六町	下、船屋町通四条下る八文字町338-2	立	1 / 10	G L-1.6m 以下室町の包含層2。	10 - 285
六条一坊 十町	下、中堂寺御坊町18-13	立	3 / 26	G L-0.85m 以下時期不明の包含層2。	9 - 359
六条一坊十五町	下、下松屋町通五条上る下長福寺町地先	立	1 / 10	擾乱のみ。	9 - 283
。	下、中堂寺御坊町26	立	1 / 27・29	北東部 G L-0.4m 以下包含層5、平安後期1、鎌倉1、時期不明3、-0.9m 以下縄文土器を含む流路堆積、北西部-0.9m 以下路面3、平安後期1、時期不明2、平安中期・平安末期～鎌倉の溝各1。	9 - 296
六条二坊 四町	下、堀熊通五条下る柿本町670-12	立	2 / 10・13	G L-0.37m 以下平安後期・時期不明の包含層各1、時期不明の土壌。	9 - 308
六条二坊 九町	下、腰ヶ井通万寿寺上る腰屋町54	立	2 / 7	G L-1.2m にて江戸の落ち込み。	9 - 305
六条二坊 十町	下、万寿寺通油小路西入上金仏町273	立	1 / 10	盛土のみ。	9 - 284
。	下、腰ヶ井通五条上る小泉町111-1	立	3 / 12	盛土のみ。	9 - 342
六条二坊十二町	下、油小路通六条上るト味金仏町177-13	立	1 / 20	G L-0.68m にて時期不明の路面、推定油小路、包含層4、鎌倉1、室町後期3。	9 - 288
六条三坊十二町	下、室町通五条下る大黒町216	立	3 / 6	G L-0.4m 以下包含層3、江戸2、時期不明1。	10 - 334
六条四坊 二町	下、間之町通五条上る朝妻町96	立	3 / 12	G L-1.4m にて時期不明の包含層。	10 - 343
六条四坊 三町	下、五条通間ノ町西入万寿寺町135、135-1	立	3 / 31	G L-0.6m 以下平安中期の包含層、土壌。	10 - 365
七条一坊 九町	下、花屋町通律儀西入薬園町1174-5	立	3 / 29	G L-0.35m にて時期不明の包含層。	9 - 363
七条二坊 四町	下、大宮通七条上る舞鶴屋町	立	3 / 4	G L-0.5m 以下包含層3、江戸1、時期不明2、室町の湿地状堆積。	9 - 331
七条二坊 九町	下、油小路通新花屋町上る西若松町地先	立	2 / 13・17	検出できず。	9 - 312
七条二坊 十町	下、西中筋通新花屋町下る住吉町57	立	20, 3 / 12 3 / 20・25	No.1 G L-0.3m 以下鎌倉・室町・江戸・時期不明の包含層各1、No.4-0.53m 以下推定左女牛小路路面3、平安後期1、時期不明2。	9 - 354
七条二坊十三町	下、油小路通七条上る米屋町181	立	3 / 4・5 ・15	G L-0.83m 以下包含層3、室町2、時期不明1、-1.18m 以下土壌4、平安中期1、室町2、時期不明1。	9 - 332
。	下、油小路通七条上る米屋町180-4、181-8	立	3 / 8	G L-1.24m 以下平安前期・室町・時	9 - 336

七条三坊 一町	下、花屋町通若宮西入西松屋町571	立	2 / 20	期不明の包含層名1、時期不明の整地層1、平安前期の土壌2。	10- 318
。	下、新花屋町通若宮西入若宮町地先	立	3 / 22	GL-0.35m 以下江戸の土壌3。	10- 357
七条三坊 四町	下、新町通七条上る辰巳町756	立	2 / 1	検出できず。	10- 299
七条三坊十六町	下、不明門通六条下る仏具屋町151-5	立	3 / 19	GL-0.8m 以下時期不明の包含層2。	10- 353
七条四坊十三町	下、二ノ宮町通正面下る上二之宮町416-2	立	2 / 5	検出できず。	10- 303
七条四坊十五町	下、木屋町通上ノ口下る富洲町182、182-9-10	立	1 / 11	GL-0.65m 以下鴨川の沼澄層2。	10- 286
八条一坊十六町	下、和気町8	立	1 / 9	GL-1.12m 以下鎌倉・時期不明の包含層名1。	11- 282
八条二坊 七町	下、堀小路通堀川西入志水町138-2	立	2 / 3	GL-1.05m にて時期不明の東西溝。	11- 301
八条二坊 八町	下、猪熊通下魚ノ堀下る樽屋町383	立	2 / 7・8	GL-0.8m 以下包含層4、平安後期1、鎌倉2、時期不明1。	11- 306
八条二坊十五町	下、堀小路通西洲院西入北不動堂町570-6・7	立	3 / 18	GL-0.7m にて江戸の包含層。	11- 350
。	下、木津屋敷通西洲院西入南町568	立	3 / 26	GL-1.3m にて時期不明の包含層。	11- 360
八条二坊十六町	下、七条通池小路東入大黒町221	立	2 / 20-25	GL-0.64m にて室町の包含層、-1.0m 以下時期不明の路面4、推定七条大路。	11- 319
八条三坊十五町	下、東洲院通堀小路下る東堀小路町地先	立	2 / 26	擾乱のみ。	12- 324
九条一坊 一町	南、八条源町地先	立	3 / 17-27	GL-0.4m にて時期不明の土壌。	11- 348
九条一坊 二町	南、八条源町87-2	立	3 / 20	GL-0.6m 以下時期不明の流れ地境。	11- 355
九条一坊 三町	南、八条内田町52	立	2 / 4	GL-0.29m にて時期不明の包含層。	11- 302
九条一坊 四町	南、八条内田町39-1	立	1 / 21	GL-0.8m にて時期不明の流れ地境。	11- 290
。	南、八条内田町24-7	立	2 / 25	GL-0.4m にて時期不明の流れ地境。	11- 323
九条一坊 五町	南、四ツ塚町11	立	3 / 7	GL-0.41m 以下江戸の包含層2、整地層2。	11- 335
九条二坊 一町	南、西九条横町9、10	立	2 / 26	GL-1.55m にて江戸の池状地境。	11- 326
。	南、西九条横町34、33-2	立	3 / 19	GL-0.42m にて土壌3、平安後期1、時期不明2。	11- 349

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
広隆寺旧境内 (鎌岡寺跡)	右、太秦西崎町地先	立	1 / 27	巡回時工事終了。	
史跡・名勝嵐山	右、嵯峨天竜寺道跡町31-1	立	1 / 17	GL-0.7m にて室町の包含層。	

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
相国寺旧境内	上、相国寺門前町地先	立	1 / 13	検出できず。	
。	上、今出川通鳥丸東入上る相国寺門前町636-5	立	2 / 22	盛土のみ。	
紫野・南院跡	上、嵐山寺通大宮西入東社町地先	立	1 / 14-20	GL-0.48m にて室町の包含層。	
			23、2 / 1-13		
岩倉中在地遺跡	左、岩倉村松町地先	立	1 / 23	擾乱のみ。	
妙満寺遺跡	左、岩倉幡枝町地先	立	3 / 15	検出できず。	
栗栖野瓦窯跡	左、岩倉幡枝町641-9	立	2 / 20	検出できず。	
。	左、岩倉幡枝町651~685	立	3 / 18	検出できず。	
植物園北遺跡	左、下鴨北茶の水町24-2地先	立	2 / 12	巡回時工事終了。	
。	北、上賀茂土門町55	立	2 / 22-26	GL-0.75m にて平安後期の土壌。	
			28		
。	北、上賀茂池端町地先	立	3 / 5・6	検出できず。	

北白川地区 (K S)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
法成寺跡 宮部大寺北跡内遺跡	上、河原町通広小路下る東入東條町35地先 左、北白川通分町5-6地	立 試	1 / 9・10 3 / 7	攪乱のみ。 GL-0.9mにて縄文と平安の遺物を 含む東西流路。	
小倉町・別当町跡	左、北白川宮ノ前町1	試	2 / 14	GL-0.2m以下平安の包含層2、 -0.6mにて飛鳥の土被。	13 - 35
＊	左、北白川土別当町3-1	試	2 / 26	GL-0.17m以下飛鳥～室町の遺物 を含む耕作土。-0.7mにて縄文後期 の包含層。	13 - 36
白河南殿跡	左、養護院蓮華町8-21	立	1 / 7	GL-1.25mにて江戸の包含層。	13 - 32
法勝寺跡	左、岡崎法勝寺町30	試	3 / 19	GL-0.3m以下横石を持つ平安後期 の柱穴2、溝状遺構1、各々法勝寺金 堂東軒窓の柱穴及び雨落ち溝。発掘 調査に切り換える。	13 - 38

洛東地区 (R T)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
中 巨 遺 跡	山、栗栖野狐塚町5-1地	立	1 / 21	検出できず。	13 - 67
＊	山、跡修寺東栗栖野町44-1	立	2 / 3	検出できず。	13 - 70
＊	山、柳辻番所ケ口町10-1, 2-5	立	3 / 20	巡回時工事終了。	13 - 74
山科本願寺跡	山、西野広見町5-7	立	3 / 27	検出できず。	
珍皇寺境内遺跡	東、鶴崎町105	立	1 / 18・28	GL-0.5mにて江戸の包含層、-0.95 mにて時期不明の土被2。	
六波羅歌行跡	東、山崎町342	立	2 / 4	GL-0.7m以下江戸・時期不明の包 含層各1。	
法住寺殿跡	東、本瓦町665-6	立	1 / 10	GL-0.82m以下室町・時期不明の 包含層各1。	
法性寺跡	東、今熊野御ノ森町地先	立	1 / 22・24 25・30	GL-0.4mにて時期不明の包含層。	
＊	東、福臨上高松町7地先	立	2 / 12	攪乱のみ。	
＊	東、今熊野南日吉町1	立	2 / 19	盛土のみ。	
鳥 辺 野	東、泉通寺東林町41-16	立	1 / 24	検出できず。	

伏見・醍醐地区 (F D)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
眞 観 寺 跡	伏、深草瓦町61	立	1 / 31	検出できず。	
＊	伏、深草瓦町地先	立	2 / 24	GL-0.3mにて時期不明の土被。	
伏見城跡	伏、新町二丁目508	立	1 / 8	GL-0.7mにて時期不明の包含層、 -0.85m以下時期不明の流れ堆積。	
＊	伏、桃山町金壽出雲8-30	立	1 / 9	検出できず。	
＊	伏、深草大亀谷万站敷町89-14	立	1 / 10	盛土のみ。	
＊	伏、桃山町日向地先	立	1 / 28, 2 / 24・25 3 / 17	GL-1.2m以下時期不明の包含層2。	
＊	伏、桃山町丹後30-6	立	1 / 31	検出できず。	
＊	伏、柿ノ木沢町456	立	1 / 31	検出できず。	
＊	伏、桃山町松平筑前10-15	試	2 / 17	GL-0.64mにて桃山～江戸初期の 整地層、土被、柱穴合わせて27。	
＊	伏、桃山町松平筑前10-16	立	2 / 27	GL-0.45m以下時期不明の包含層2、 土被2。	
＊	伏、桃山筒井伊賀東町85	立	3 / 3	GL-1.7mにて桃山の落ち込み。	

伏見城跡	伏、岡替町四丁目307	立	3 / 10	盛土のみ。	
+	伏、深草大亀谷教賀町21	立	3 / 18	検出できず。	
+	伏、桃山井伊掃部東町49	立	3 / 20	検出できず。	
深草寺跡	伏、深草枯木町43-1	立	2 / 22・25	GL-0.13mにて時期不明の包含層、 -0.3mにて時期不明の土壌。	

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
深草遺跡	伏、深草西浦町四丁目375	立	3 / 13	検出できず。	
+	伏、深草塚本町地先	立	3 / 15	GL-1.6mにて室町の包含層。	
+	伏、深草西浦町二丁目26	立	3 / 19	GL-0.89m以下時期不明の落ち込み1、包含層2。	
鳥羽離宮跡	伏、中島宮ノ前町17-1	試	1 / 22	捜査のみ。	14 - 45
+	伏、竹田小屋ノ内町	試	1 / 24	GL-1.15mにて60年度TB-13で検出した地の残部と同一層。	14 - 46
+	伏、竹田橋ノ井町45	立	1 / 29	検出できず。	14 - 47
+	伏、中島郷町地先	立	1 / 31	GL-0.98m以下時期不明の流れ堆積。	14 - 48
+	伏、中島宮ノ後町23-1・4・7 秋ノ山33-1	立	2 / 5	GL-1.45mにて平安後期の整地層2。	14 - 49
+	伏、竹田浄菩提院町48-10	立	2 / 8	盛土のみ。	14 - 50
+	伏、竹田真榎木町地先	立	2 / 17・24	GL-0.98mにて時期不明の包含層。	14 - 51
+	伏、竹田橋ノ井町地先	立	2 / 28、 3 / 15~20	GL-1.3m以下平安後期～鎌倉の溝1、土壌5、平安後期2、江戸3、柱穴10、平安後期9、江戸1、平安後期の落ち込み2、鎌倉～室町の整地層1。本文22ページ。	14 - 53
+	伏、竹田田中殿町56-3	試	3 / 5	1 T GL-1.24mにて平安末期の東西方向の溝1。59年度TB104(発掘調査)の溝の延長。 2 T GL-0.97m以下平安末期の整地層2、-1.37m以下時期不明の湿地状堆積。発掘調査に切り換える。	14 - 54

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
中久世遺跡	南、久世中久世町三丁目76	立	2 / 6	盛土のみ。	15 - 6
+	南、久世大蔵町181	立	3 / 13・20	検出できず。	15 - 8
+	南、久世中久世町五丁目77	立	3 / 29	GL-0.75mにて時期不明の包含層。	15 - 9
+	南、久世中久世町三丁目110	立	2 / 18	巡回時工事終了。	15 - 10
山田桜谷古墳群	西、下山田下園尾町、山田桜谷町	立	2 / 6・10 13	新発見の古墳。1号墳、全長50m余り、前方部幅27m、後円部径21m余り、東南面する前方後円墳。2号墳、前方部を北北西に向ける。	

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
長岡京跡	南、久世築山町212-1	立	1 / 6	盛土のみ。	15 - 25
+	伏、羽東師古川町297~301	立	1 / 9	盛土のみ。	
+	伏、羽東師古川町173	立	1 / 13	盛土のみ。	
+	伏、納所町274、275	立	1 / 21	盛土のみ。	
+	南、久世大蔵町466-1、468-1、476-1	立	2 / 3・13	GL-1.1m以下時期不明の包含層、溝各1。	15 - 29

長岡京路	伏、淀本町173-34	立	2 / 17	GL-1.0mにて江戸の包含層。	15 - 31
	南、久世土土川町265	立	2 / 27, 3 / 5	GL-0.7mにて弥生・室町の溝各1、 -0.72m以下包含層3、弥生2、室町1。	
	西、大原野上里島見町16-11	立	2 / 28	盛土のみ。	
	伏、羽東師古川町地先	立	3 / 10	巡回時工事終了。	
	伏、久我西出町10-12	試	3 / 24	検出できず。	

Ⅱ 61年度4～12月期

平安宮 (H Q)

追跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
平安宮跡	上、出水通千本西入尼ヶ崎横町371-1	立	4 / 8	GL-0.35mにて時期不明の包含層。	2 - 1
＊	中、西ノ京内畑町1	立	4 / 8	巡回時工事終了。	2 - 2
＊	上、御前通下立売上る仲之町289-22	立	4 / 9	GL-0.18mにて時期不明の包含層。	2 - 3
＊	上、淨福寺通上長者町下る長谷町197-7	立	4 / 14	盛土のみ。	2 - 4
＊	中、聚楽園西町102-33	立	4 / 16	GL-0.5m以下江戸の包含層2。	2 - 5
＊	上、仁和寺街道七本松西入二番町～三番町地先	立	4 / 23, 5 / 7～23	検出できず。	2 - 6
＊	中、西ノ京内畑町29, 60	立	4 / 30	盛土のみ。	2 - 7
＊	上、丸太町通浄福寺西入中御町	試	5 / 7	GL-0.5m以下平安・室町の包含層 各1、-0.8mにて平安前期の土壌。 発掘調査に切り換える。	2 - 8
＊	上、御前通下立売上る三丁目東入三助町281-21	立	5 / 8	盛土のみ。	2 - 9
＊	上、御前通下立売上る三丁目東入三助町281-21	立	5 / 8	盛土のみ。H Q-9と隣接。	2 - 10
＊	中、聚楽園西町102-3	立	5 / 9	検出できず。	2 - 11
＊	中、西ノ京左馬寮町10-3	試	5 / 14	GL-0.54mにて時期不明の落ち込み。	2 - 12
＊	上、松屋通榎木町下る三丁目663	立	5 / 26	GL-0.7mにて江戸の包含層。-0.9mにて室町の土壌。	2 - 13
＊	上、六軒町通一条下る西中筋町19	立	5 / 28	盛土のみ。	2 - 14
＊	上、日暮通下立売下る櫛笥町695	立	5 / 31, 6 / 2	GL-0.55mにて平安前期の土壌。	2 - 15
＊	上、浄福寺通出水下る田村横前町240-15	立	6 / 10	盛土のみ。	2 - 16
＊	中、聚楽園西町163	立	6 / 17	盛土のみ。	2 - 17
＊	上、下立売通智恵光院西入中村町521	立	6 / 18	盛土のみ。	2 - 18
＊	上、浄福寺通丸太町下る東入主税町980	立	6 / 19-20	GL-0.65m以下時期不明の包含層2、 土壌4、平安中期1、時期不明3。	2 - 19
＊	上、下立売通七本松西入西京町361-10	立	6 / 27	巡回時工事終了。	2 - 20
＊	上、日暮通榎木町下る北伊勢屋町744	立	6 / 28, 7 / 9	GL-1.02mにて平安後期の土壌。	2 - 21
＊	上、下立売通千本西入榎町455-2	立	7 / 2	検出できず。	2 - 22
＊	上、千本通竹屋町下る聚楽園町地先	立	7 / 14	GL-0.58mにて時期不明の包含層。	2 - 23
＊	上、御前通一条下る東野町132-1 仁和小学校	立	7 / 16	GL-0.67mにて室町の包含層、 0.81mにて平安の土壌。	2 - 24
＊	中、聚楽園東町14-2	立	7 / 31	GL-0.1mにて江戸の包含層。	2 - 25
＊	上、仁和寺街道千本西入五番町471	立	8 / 4・6	GL-0.47mにて時期不明の土壌1。	2 - 26
＊	上、下長者町通六軒町西入利生町294	立	8 / 4	GL-0.2mにて江戸の包含層。	2 - 27
＊	中、西ノ京京坂町1-10	立	8 / 11	GL-0.93mにて時期不明の版築状 の壁地層。	2 - 28
＊	上、千本通二条下る東入主税町1076-2	立	8 / 19～ 22	GL-0.66m以下土壌3、江戸1、時期不明2、 -0.97mにて時期不明の東西溝3。	2 - 29

平安宮跡	上、真門通中立亮上る西入今新在家町205-18	立	8 / 20	盛土のみ。	2 - 30
＊	上、御前通下立亮上る三丁目西上之町278-19	立	8 / 30	盛土のみ。	2 - 31
＊	上、千本通二条下る東入主税町12-19	立	9 / 2	盛土のみ。	2 - 32
＊	上、中立亮通智慧光院東入多門町地先	立	9 / 4	巡回時工終了。	2 - 33
＊	上、千本通下立亮下る小山町908-55	立	9 / 5	盛土のみ。	2 - 34
＊	中、西ノ京車坂町15-5 朱雀第六小学校	立	9 / 6	巡回時工終了。	2 - 35
＊	中、聚楽廻南町3-3他	立	9 / 9	G L-0.46m 以下江戸の包含層。	2 - 36
＊	中、西ノ京内畑町26-22	立	9 / 9	G L-1.25m にて時期不明の土壌。	2 - 37
＊	上、七本松通下長者町下る三番町268-1	立	9 / 11	G L-0.7m 以下江戸・時期不明の包含層各1。	2 - 38
＊	上、下長者町通真門西入坤高町59-1	立	9 / 13	巡回時工終了。	2 - 39
＊	上、七本松通仁和寺街通上る一番町108-23	立	9 / 16	盛土のみ。	2 - 40
＊	上、七本松通中立亮下る西入三軒町65-51	立	9 / 24	G L-0.53m にて江戸の包含層。	2 - 41
＊	上、極木町通日暮東入番町770	立	9 / 29	盛土のみ。	2 - 42
＊	上、日暮通下立亮下る番町712	試	10 / 15-25	G L-0.2m にて時期不明の盛地層。 -0.4m にて土壌19、平安前-中期16、 室町1、江戸2、桃山の溝1、江戸の井戸1。本文30ページ。	2 - 43
＊	上、出水通智慧光院東入金馬場町164	試・立	10 / 17	G L-0.7m 以下江戸の包含層3。	2 - 44
＊	上、日暮通上長者町下る須浜町568-6-2	立	10 / 17	検出できず。	2 - 45
＊	上、浄福寺通出水上る白銀町261-5	立	10 / 21	盛土のみ。	2 - 46
＊	中、聚楽廻南町19	立	10 / 22	盛土のみ。	2 - 47
＊	中、聚楽廻南町19	立	10 / 22	盛土のみ。	2 - 48
＊	上、浄福寺通中立亮下る菱丸町180	立	10 / 27	盛土のみ。	2 - 49
＊	上、智慧光院通丸太町上る西院町747	立	10 / 30	G L-0.77m にて江戸の土壌。	2 - 50
＊	上、千本通竹屋町下る聚楽町850	立	11 / 4・6	G L-0.61m にて平安の土壌4。	2 - 51
＊	上、真門通一条下る今新在家町205-7	立	11 / 14	盛土のみ。	2 - 52
＊	上、下の森通下立亮上る鳳鳴町255	立	11 / 27	盛土のみ。	2 - 53
＊	上、千本通下立亮下る小山町889-3、893他	試	11 / 28	G L-1.4m 以下江戸の包含層6、土壌4。	2 - 54
＊	上、御前通下立亮上る三丁目東入三助町281	立	12 / 3	巡回時工終了。	2 - 55
＊	上、浄福寺通一条下る東西御園町152	立	12 / 3・4	G L-0.65m にて江戸の包含層。	2 - 56
＊	上、千本通二条下る東入主税町996-2	立	12 / 24	盛土のみ。	2 - 57

平安京右京 (H R)

道 路 名	所 在 地	試・立	調査日	概 要	図版番号
北辺一坊 八町	上、一条通御前東入西町17-2	立	9 / 19	G L-0.1m 以下包含層5、江戸2、時期不明3、-0.95m にて時期不明の落ち込み1。	4 - 107
北辺二坊 一町	上、一条通御前西入大東町95	立	12 / 1		4 - 149
北辺二坊 二町	上、仁和寺街道御前西入下横町230-4	立	6 / 6	盛土のみ。	4 - 43
北辺二坊 三町	上、仁和寺街道御前西入下横町199-12	立	6 / 4	G L-0.41m 以下時期不明の包含層3、土壌2。	4 - 41
＊	上、仁和寺街道御前西入下横町210-16-17	立	11 / 6	G L-1.1m 以下江戸の包含層。	4 - 130
北辺二坊 六町	北、大將軍川端町89-1	立	4 / 1	G L-0.35m 以下時期不明の包含層3。	4 - 1
北辺三坊 二町	北、大將軍南一条町70	立	7 / 8	G L-0.8m にて鎌倉後期の落ち込み。	3 - 63
北辺三坊 八町	北、大將軍坂田町7-25	立	7 / 24	G L-0.65m にて時期不明の土壌2。	3 - 72
一条二坊 二町	上、御前通下立亮上る仲之町293	立	8 / 21	G L-0.87m にて室町の溝。	4 - 93
一条二坊 七町	上、上の下立亮通御前西入二丁目上る堀川町519-7	立	5 / 27	G L-0.15m にて時期不明の包含層。	4 - 33
一条二坊 九町	北、大將軍東藤町157	立	12 / 16	G L-0.72m 以下室町の土壌。	4 - 155
一条三坊 二町	中、西ノ京御典町15	立	9 / 7		3 - 113
一条三坊 三町	中、西ノ京大炊御門町6-8	立	12 / 22	G L-0.25m にて平安中期の包含層。	3 - 158
一条三坊 五町	中、西ノ京伯耆町22-7	立	4 / 8	G L-0.62m にて平安の溝。	3 - 3

一条三坊 七町	中、西ノ京御興町22	立	4 / 19	GL-1.36mにて時期不明の土壌3.	3- 10
一条三坊十三町	右、花園蔵ノ下町2-3	試	8 / 6	GL-0.56mにて平安中期の土壌10、溝2、江戸の溝。	3- 83
。	右、花園蔵ノ下町8-19	立	11 / 5	GL-0.85m以下時期不明の包含層2。	3- 129
一条四坊 四町	右、花園木辻南町2-1	試	5 / 1	GL-1.32m以下火山灰層。	3- 17
。	右、花園木辻南町地先	立	8 / 11	擾乱のみ。	3- 87
一条四坊十一町	右、花園寺ノ前町50-3	立	12 / 6	GL-0.7mにて時期不明の包含層。	3- 151
一条四坊十四町	右、花園伊町25	立	7 / 31	GL-0.06mにて時期不明の包含層。	3- 76
。	右、花園伊町31	立	8 / 7-9	GL-0.82mにて平安後期の溝、推定動解由小路の北側溝及び路面、時期不明の土壌1、柱穴4。	3- 85
二条二坊 一町	中、西ノ京岡町6	立	6 / 12	検出できず。	4- 47
二条二坊 三町	中、西ノ京冷泉町31	立	8 / 9	GL-0.84mにて平安中期の包含層。	4- 88
二条二坊 九町	中、西ノ京内町47-1	立	6 / 2	GL-0.74mにて平安中期の包含層。	4- 39
。	中、西ノ京南円町地先	立	9 / 9-10	GL-0.7m以下時期不明の流地堆積。	4- 102
。	中、西ノ京中御門東町地先	立	11 / 1	検出できず。	4- 127
二条二坊十二町	中、西ノ京南上合町地先	立	6 / 12	GL-0.25mにて時期不明の包含層、-0.45mにて平安中期の土壌。	4- 51
。	中、西ノ京南上合町19-2、20-1	立	6 / 16	検出できず。	4- 55
二条二坊十四町	中、西ノ京北登井町102	立	10 / 24	GL-0.55mにて時期不明の包含層2。	4- 122
二条三坊 三町	中、西ノ京北登井町19	立	5 / 31	検出できず。	3- 38
。	中、西ノ京北登井町68	立	11 / 18	GL-1.0mにて平安中期の柱穴4。	3- 143
二条四坊 六町	右、太家安井馬塚町8	立	10 / 31	検出できず。	3- 125
二条四坊十一町	右、太家安井馬塚町18-9	立	10 / 29	GL-0.83mにて時期不明の包含層。	3- 124
二条四坊十四町	右、太家安井馬塚町地先	立	7 / 14	GL-0.4mにて室町の土壌3。	3- 65
三条一坊 四町	中、西ノ京桶尾町	立	10 / 31	盛土のみ。	4- 126
三条一坊 九町	中、西ノ京永本町7	立	8 / 25	検出できず。	4- 94
。	中、西ノ京永本町2	立	10 / 11	GL-0.57mにて時期不明の土壌。	4- 115
三条一坊十一町	中、西ノ京東月光町27	立	6 / 16-18	GL-0.96mにて時期不明の包含層、-1.11mにて平安後期の池状堆積。	4- 56
。	中、西ノ京東月光町27-12、13	試	10 / 13	GL-0.8m以下平安前期・平安中期・江戸の包含層各1。	4- 116
三条一坊十三町	中、西ノ京西月光町27	立	8 / 11	検出できず。	4- 86
三条一坊十四町	中、西ノ京西月光町1-20	立	5 / 8	検出できず。	4- 19
。	中、西ノ京西月光町地先	立	5 / 28	擾乱のみ。	4- 36
。	中、西ノ京西月光町15	立	11 / 15	検出できず。	4- 139
三条一坊十五町	中、西ノ京船塚町17-10	立	5 / 22	GL-0.67mにて時期不明の包含層。	4- 28
三条一坊十六町	中、西ノ京船塚町地先	立	6 / 11-20	検出できず。	4- 48
。	中、西ノ京船塚町9-8	立	11 / 12	検出できず。	4- 136
三条二坊 三町	中、西ノ京樋口町地先	立	9 / 18	擾乱のみ。	4- 105
三条二坊 五町	中、西ノ京北小路町9	立	10 / 20-21	GL-0.85m以下平安中期の包含層3。	4- 119
三条二坊 六町	中、西ノ京南原町	立	7 / 31	GL-0.8mにて平安中期の池状堆積。	4- 77
三条二坊 八町	中、西ノ京原町76	立	7 / 14	GL-0.6m以下時期不明の流地堆積。	4- 66
。	中、西ノ京原町97	試	11 / 10	1 T GL-0.73mにて土壌14、平安中期2、室町5、時期不明7、平安中期の柱穴2。2 T GL-0.7mにて土壌11、平安以前2、平安中期1、時期不明8。3 T GL-0.7mにて土壌8、平安中期2、時期不明6。発掘調査に切り換える。	4- 133
三条二坊 九町	中、西ノ京東中合町12-1	立	4 / 14-16	GL-1.17m以下平安後期・時期不明の包含層各1、-2.0mにて火山灰層。	4- 5
三条二坊 十町	中、西ノ京東中合町81	立	4 / 23	GL-1.2m以下時期不明の包含層2。	4- 12
三条二坊十二町	中、西ノ京新地町7	立	9 / 1	検出できず。	4- 98
三条三坊 一町	中、西ノ京西中合町61	立	5 / 24	GL-0.98mにて江戸の包含層。	3- 32

三糸四坊 二町	右、山ノ内御堂殿町3	立	12 / 4	G L-0.23m にて平安前期の包含層、 -0.42m にて平安前期の土壌。	3 - 150
三糸四坊十一町	右、山ノ内五反田町地先	立	6 / 20	掘削のみ。	3 - 59
四糸一坊 八町	中、壬生天池町35-1	立	9 / 18-20	No.1 G L-0.8m 以下時期不明の流 れ堆積。 No.2 G L-0.67m にて時期不明の 土壌1。	8 - 106
+	中、壬生天池町38	立	11 / 19	検出できず。	8 - 144
四糸一坊 九町	中、壬生神明町1-1	試	7 / 16	G L-1.37m にて平安の池状堆積。	8 - 67
四糸一坊十二町	中、壬生森町16-2	立	4 / 17-18	G L-0.5m にて平安前期の土壌4、 溝4、平安後期の土壌。	8 - 8
四糸一坊十三町	中、壬生森町56-16	立	7 / 17	検出できず。	8 - 69
四糸一坊十四町	中、壬生森町66	立	7 / 25	G L-0.76m にて時期不明の包含層。	8 - 73
四糸一坊十六町	中、壬生中川町14-12	立	6 / 12	検出できず。	8 - 52
四糸二坊 一町	中、壬生上大竹町18	立	7 / 3	G L-0.48m にて平安中期の包含層。	8 - 61
四糸二坊 三町	中、壬生東瀬田町6-2	立	7 / 28	G L-0.35m にて時期不明の包含層。	8 - 74
+	中、壬生東瀬田町17-3-4	立	12 / 16	盛土のみ。	8 - 156
四糸二坊 八町	中、壬生上大竹町13	試	5 / 9-20	1 T G L-0.78m にて平安中期の 土壌1。2 T G L-0.6m にて平安 中期の土壌、-1.1m にて平安中期の 柱穴1。5 T G L-0.7m にて弥生 -古墳前期の流路、-1.0m にて平安 前期-中期の三糸大瀬川側溝。9 T G L-0.74m にて平安中期の柱穴7、 土壌1。遺跡の遺存状態極めて良好で あったが、試掘調査後意に破壊さ れる。一部発掘調査に切り換える。	8 - 21
四糸二坊 九町	中、壬生上大竹町2-1	立	5 / 31	G L-1.2m にて時期不明の包含層。	8 - 37
四糸二坊 十町	右、西院東今田町10-3-4	立	8 / 6	G L-0.45m 以下平安の包含層2。	8 - 84
+	右、西院東今田町地先	立	10 / 16- 21	G L-0.87m にて平安前期の包含層、 -1.13m にて平安前期の土壌。	8 - 118
四糸二坊十一町	右、西院東洋和院町24	立	11 / 29	検出できず。	8 - 148
+	右、西院東洋和院町19	立	12 / 13	盛土のみ。	8 - 154
四糸二坊十三町	右、西院西洋和院町38-1、39-2・3	立	8 / 27	検出できず。	8 - 95
四糸二坊十五町	右、西院西今田町17-2	立	4 / 9	G L-0.85m にて平安の落ち込み。	8 - 4
+	右、西院東今田町5-1, 6	立	10 / 25	G L-0.98m 以下時期不明の包含層2。	8 - 123
四糸三坊 一町	右、西院上花田町21	立	5 / 27	盛土のみ。	7 - 34
四糸四坊 四町	右、西院四糸地町10	立	9 / 5	G L-1.0m にて時期不明の包含層。	7 - 100
四糸四坊十三町	右、西院笠目町7-4	立	9 / 1	検出できず。	7 - 96
五糸一坊 三町	中、壬生松原町1-26	立	9 / 1	G L-0.37m 以下時期不明の池状堆 積、黒書木片出土。本文38ページ。	8 - 97
+	中、壬生松原町67-11・20	立	10 / 15- 25	G L-0.78m にて室町の包含層、 -1.0m にて平安後期の包含層。	8 - 117
五糸一坊 七町	中、壬生高橋町	立	5 / 23	G L-0.9m にて室町の包含層。	8 - 30
五糸一坊十三町	中、壬生下溝町35	立	5 / 14-15	G L-0.55m にて土壌3、江戸1、時 期不明2。	8 - 26
五糸二坊 二町	中、壬生土居ノ内町13	立	5 / 22	検出できず。	8 - 29
五糸二坊 三町	中、壬生東橋町14	立	8 / 18-21	G L-0.45m にて時期不明の土壌2、 溝1。	8 - 89
五糸二坊 四町	中、壬生東橋町1、1-1	立	5 / 10- 13	G L-0.93m 以下時期不明の流れ堆 積。	8 - 23
五糸二坊 七町	中、壬生土居ノ内町8	立	5 / 13	G L-0.7m にて時期不明の池状堆積。	8 - 25
五糸二坊 八町	中、壬生土居ノ内町19	立	6 / 17	G L-0.85m にて時期不明の包含層。	8 - 57
五糸二坊十一町	右、西院平町16	立	8 / 16-19	G L-0.28m にて時期不明の柱穴、 柱根有り。	8 - 91

五条二坊十一町	右、西院平町20-1	立	11/27	G L-0.38mにて平安の落ち込み2。	8-147
五条二坊十六町	右、西院北矢掛町36-12	立	12/12	G L-0.5mにて土壌5、平安後期1、 時期不明4。	8-153
五条三坊 一町	右、西院美町7-6	立	4/28	盛土のみ。	7-16
五条三坊 九町	右、西院坤町56	立	10/9	G L-0.64mにて室町の土壌。	7-114
五条三坊十二町	右、西院太田町地先	立	5/23-26	G L-1.0mにて時期不明の包含層。	7-31
五条三坊十四町	右、西院日照町95	立	11/10-12	No.1 G L-0.48m以下包含層5、平安前期2、時期不明3。 No.2-0.6m以下時期不明の包含層2、 -1.0mにて時期不明の東西溝。推定 五条坊門小路南側溝。 G L-1.41mにて江戸の土壌13、溝 1、柱穴2。	7-134
五条三坊十六町	右、西院日照町1 四条中学校	立	6/20, 7/3-16	G L-1.44mにて時期不明の包含層。	7-58
五条四坊 四町	右、西院清水町	立	9/29	検出できず。	7-112
五条四坊 六町	右、西院安塚町101	立	7/31, 8/1	G L-1.44mにて時期不明の包含層。	7-78
五条四坊 八町	右、西院安塚町22	試	11/14	G L-2.22mにて時期不明の柱穴。	7-137
五条四坊十一町	右、西院安塚町71	立	8/5	盛土のみ。	7-82
五条四坊十二町	右、西院月双町4	試	6/11	G L-1.86mにて室町の土壌1、溝1、 -0.94mにて古墳後期の土壌1。	7-46
五条四坊十五町	右、西院東員川町56-57	立	8/19-20	検出できず。	7-92
五条四坊十六町	右、西院東員川町29	立	8/18	G L-1.57mにて時期不明の包含層。	7-90
六条一坊 六町	下、中堂寺南町地先	立	5/7-11	G L-0.6mにて時期不明の落ち込み。	8-18
六条一坊 八町	下、中堂寺北町地先	立	6/4-10	検出できず。	8-40
六条一坊 九町	下、中堂寺庄ノ内町8-1	立	8/2	G L-0.88m以下時期不明の流路。	8-79
六条一坊十四町	下、中堂寺栗田町1	立	6/11-12	G L-1.2m以下時期不明の包含層2。	8-49
六条一坊十五町	下、中堂寺栗田町1	立	11/27	盛土のみ。	8-146
六条二坊 一町	下、中堂寺庄ノ内町54-8	立	4/23	G L-1.05mにて時期不明の路面。	8-13
六条二坊 一町	中、壬生東高町41-1	立	4/17	G L-0.73m以下時期不明の流れ堆積。	8-7
六条二坊 一町	中、壬生東高町41	立	7/29	G L-0.92m以下時期不明の流れ堆積。	8-75
六条二坊 五町	下、西七条御前田町地先	立	6/10-24	G L-0.4m以下江戸・時期不明の包含層各1。	8-44
六条二坊十三町	右、西院中水町地先	立	11/6-12	G L-0.92m以下平安・時期不明の包含層各1、時期不明の土壌。	8-131
六条二坊十五町	右、西院寺町49	立	9/22	検出できず。	8-108
六条二坊十六町	右、西院西高町19	立	11/14	G L-0.28m以下時期不明の包含層2。	8-138
六条三坊 一町	右、西院西海町18	立	7/16	G L-0.6mにて時期不明の包含層。	7-68
六条三坊 二町	右、西院南寿町17-4、18-2	試	11/17	1 T G L-0.56mにて平安前期の東西溝、推定六条坊門小路北側溝。 2 T G L-0.52mにて鎌倉～室町の土壌4。	7-140
六条三坊 四町	右、西院溝崎町21他	立	10/20	G L-0.6mにて室町の包含層。	7-120
六条四坊 一町	右、西院清水町56	立	12/9	盛土のみ。	7-152
六条四坊 三町	右、西院六反田町21	試	7/21	G L-1.48m以下池状堆積。	7-71
六条四坊 三町	右、西院六反田町4-1、3-6	立	10/24-25	G L-1.03m以下室町・時期不明の包含層各1。	7-121
六条四坊 五町	右、西京極町地先	立	9/16	巡回時工事終了。	7-104
六条四坊十六町	右、西京極高野町38	試	9/13	G L-0.53mにて江戸の包含層。	7-103
七条一坊 五町	下、朱雀北ノ口町29	立	6/13	G L-0.7mにて時期不明の土壌6。	8-53
七条一坊 十町	下、西七条東八反田町27	立	11/18	検出できず。	8-142
七条一坊十二町	下、西七条北東野町地先	立	5/8	検出できず。	8-20
七条二坊 二町	下、西七条東石ヶ坪町52-1	立	11/1	盛土のみ。	8-128
七条二坊 十町	下、西七条比輪田町34	立	7/7	G L-0.67mにて古墳期の土壌。	8-62

七条二坊十一町	下、西七条市部町地先	立	8 / 12 4 / 26	G L-0.66m 以下時期不明の流れ堆積。	8- 15
七条三坊 一町	下、西七条八幡町22	立	4 / 24	検出できず。	7- 14
七条三坊 十町	右、西京極北庄横町地先	立	6 / 5	G L-1.45m にて時期不明の包含層。	7- 42
七条四坊 四町	右、西京極東町3	立	9 / 5	検出できず。	7- 99
七条四坊 五町	右、西京極中町22-11・1	立	6 / 14	G L-0.28m 以下室町の土壌2、包含層4、室町1。時期不明3。	7- 54
七条四坊十四町	右、西京極西池田町62-3	立	7 / 18	検出できず。	7- 70
八条一坊 九町	下、西七条南東野町地先	立	9 / 27~ 10 / 2	G L-0.3m にて平安前期の土壌。	12- 111
八条一坊十六町	下、西七条南東野町46	立	4 / 7・16, 5 / 2	G L-0.24m 以下土壌4、平安後期1、時期不明3、時期不明の路面1、推定西大宮大路路面。	12- 2
八条二坊 二町 +	下、西七条石井町61 七条小学校 下、西七条石井町50-9	立 立	4 / 14 7 / 9・12	盛土のみ。 G L-1.35m 以下時期不明の池状堆積、-1.8m にて平安前期の包含層。	12- 6 12- 64
八条二坊 六町 八条二坊十二町	下、梅小路石橋町19 下、七条御所ノ内本町89-2	立 立	9 / 26 8 / 4・5	木製品出土。本文40ページ。 G L-0.25m 以下時期不明の包含層2。 No.1 G L-0.69m にて平安以前の土壌1。No.2 G L-0.5m にて時期不明の包含層。-0.67m にて時期不明の溝、推定梅小路南側溝。No.3 G L-0.7m にて時期不明の溝1、鍵倉の包含層。本文41ページ。	12- 110 12- 80
+	下、七条御所ノ内本町100-2	立	8 / 4	G L-0.55m 以下時期不明の池状堆積。	12- 81
八条三坊 一町	下、西七条南月談町71-6	立	5 / 21	盛土のみ。	11- 27
八条三坊 十町	右、西京極下沢町9	立	5 / 10	G L-0.8m にて室町の包含層。	11- 24
八条四坊十二町	南、吉祥院向田西町5	立	4 / 21	G L-0.85m 以下時期不明の流れ堆積。	11- 11
九条一坊 五町	南、唐橋羅城門町地先	立	6 / 11・14	G L-0.2m 以下時期不明の包含層2、-0.33m 以下時期不明の路面4、推定九条大路。	12- 50
九条一坊 七町	南、唐橋井園町50	立	9 / 25	検出できず。	12- 109
九条一坊 十町 +	南、唐橋井園町3-2 南、唐橋門脇町35 八条中学校	立 立	6 / 10 11 / 8	G L-0.28m 以下時期不明の包含層3。 盛土のみ。	12- 45 12- 132
九条二坊 三町	南、唐橋平堀町68-6	立	7 / 2	G L-1.04m にて発生の包含層。	12- 60
九条二坊 六町	南、唐橋平堀町1-1	立	9 / 5	盛土のみ。	12- 101
九条二坊 九町	下、七条御所ノ内南町102	立	12 / 17	巡回時工事終了。	12- 157
九条二坊十一町	南、唐橋平堀町35、35-1	立	5 / 27	G L-0.47m にて時期不明の包含層。	12- 35
九条二坊十六町	下、七条御所ノ内南町地先	立	4 / 18, 5 / 7	G L-0.75m にて時期不明の包含層。	12- 9
九条三坊 四町	南、吉祥院西ノ庄路ノ馬場町1	立	5 / 9	検出できず。	11- 22
九条三坊 七町	南、吉祥院西ノ庄西中町	立	11 / 18	G L-0.9m 以下時期不明の流れ堆積。	11- 141
九条三坊 十町	南、吉祥院西ノ庄西中町35	立	11 / 10	G L-0.71m 以下時期不明の流れ堆積。	11- 135
九条四坊 三町	南、吉祥院中河原西屋敷町21-3	立	11 / 26	G L-0.84m にて時期不明の包含層。	11- 145

平安京左京 (H L)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
北辺一坊 一町	上、千本通中立立上る東入東西儀屋町647-1	立	6 / 13	盛土のみ。	5- 70
北辺二坊 四町	上、中立立通堀川西入役人町255-1	立	6 / 10-11	G L-0.15m にて土壌3、江戸1、時期不明2。	5- 67

北辺二坊	四町	上、御前通下長者町下る西入川瀬町116	立	10 / 2・3	G L-0.7mにて桃山の包含層。	5- 165
北辺二坊	五町	上、東堀川通一条下る主計町2-4	試	5 / 13	G L-1.1m以下室町の包含層2。	5- 42
*		上、一条通油小路西入上る西川権町558-18	立	8 / 26	G L-0.45mにて江戸の包含層。	5- 132
北辺三坊	二町	上、西洲院通中立亮下る菊屋町254-3	立	4 / 21	G L-0.7mにて江戸の土壌。	6- 28
北辺三坊	四町	上、一条通室町西入東日野町	立	9 / 19	G L-1.15mにて江戸の包含層、 -2.05mにて室町の包含層。	6- 151
北辺三坊	六町	上、室町通中立亮下る花立町501	立	8 / 18	盛土のみ。	6- 124
一条二坊	一町	上、旧大宮通下長者町上る藤五郎町596	立	4 / 7	G L-0.92mにて江戸の包含層。	5- 9
*		上、上長者町通黒門西入北小大門町561	立	4 / 24	G L-0.76m以下時期不明の包含層2。 平安中期・後期・時期不明の土壌各1。	5- 31
一条二坊	二町	上、稲越通下長者町下る蛭子町412	立	4 / 21・22	G L-0.43mにて土壌5、桃山1、時 期不明4。	5- 22
*		上、黒門通下長者町下る吉野町708	立	8 / 13	盛土のみ。	5- 121
*		上、黒門通下長者町下る吉野町681-1	立	10 / 24	G L-0.4m以下時期不明の整地層2。	5- 189
一条二坊	四町	上、大宮通下立亮下る慶屋町809	立	9 / 12	G L-1.35m以下時期不明の包含層2、 -1.5mにて平安の土壌。	5- 148
一条二坊	八町	上、稲屋町通上長者町上る南波町	立	9 / 16	G L-0.4mにて江戸の包含層。	5- 149
一条二坊	九町	上、上長者町通堀川東入下る橋本町40	立	5 / 1	検出できず。	5- 38
一条二坊十二町		上、下立先通堀川東入東横町174	立	12 / 9・10	G L-1.1m以下室町・江戸の包含層 各1。	5- 229
一条三坊	六町	上、下立先通衣通東入東立亮町206	立	9 / 27	G L-1.04mにて江戸の包含層。	6- 160
一条三坊	七町	上、常楽院町地先	立	10 / 17・20 21	G L-0.15m以下時期不明の路面9、 -1.25mにて室町の包含層。	6- 184
*		上、室町通下長者町下る近衛町25	立	10 / 24	G L-1.0m以下時期不明の包含層2、 整地層1。	6- 190
一条三坊	八町	上、中長者町通室町西入東長者町地先	立	10 / 20	G L-1.4mにて時期不明の包含層。	6- 185
一条三坊	九町	上、室町通上長者町下る清和院町566, 568	試	6 / 18	G L-0.3m以下平安後期・鎌倉各1、 江戸2の包含層、-1.5mにて土壌4、 平安後期2、江戸1、時期不明1。発掘 調査に切り換える。	6- 77
*		上、室町通上長者町下る清和院町558, 559	試	11 / 26	G L-0.39m以下江戸の包含層、 -1.2mにて江戸の土壌2。	6- 221
二条二坊	一町	上、大宮通堀木町下る一丁目857	立	6 / 19	G L-1.25mにて時期不明の包含層、 -1.55mにて時期不明の路面1、推定 大宮大路。	5- 78
*		上、黒門通丸太町上る黒屋町524	立	7 / 1・2	G L-0.48mにて室町の包含層。	5- 88
*		上、稲越通丸太町上る木屋之町490	立	10 / 4	G L-0.95mにて平安の包含層。	5- 168
二条二坊	五町	中、二条通堀川東入矢横町	立	11 / 25	G L-2.65m以下江戸の流れ堆積。	5- 218
二条二坊	十町	中、油小路通丸太町下る大文字町43-7	立	7 / 26	G L-1.1mにて室町の包含層。	5- 107
二条二坊十二町		中、東堀川通二条上る矢横町300-4・5	立	10 / 14	検出できず。	5- 178
二条二坊十四町		中、西洲院通竹屋町下る昆沙門町379	立	10 / 27	G L-1.06mにて時期不明の包含層。	5- 195
二条二坊十五町		中、油小路通丸太町下る大文字町50, 50-1	試	6 / 16	G L-1.1mにて石敷道標、土壌3、鎌 倉前期2、室町後期1、江戸の井戸1、時 期不明の柱穴1、-1.25mにて平安後 期～鎌倉の池跡。高層院跡の池跡に 比定される。	5- 73
*		中、小川通丸太町下る中之町55-49	立	8 / 6	G L-1.02mにて室町の包含層。	5- 117
二条三坊	一町	中、丸太町通並座東入梅屋町174 梅屋小学校	立	4 / 4	盛土のみ。	6- 5
二条三坊	二町	中、並座通丸太町下る判明町152	立	11 / 4・5 7	G L-0.3m以下平安後期・鎌倉・時 期不明の土壌各1、-0.6mにて時期不 明の包含層。	6- 202
二条三坊	四町	中、西洲院通奥川下る薬師町648	立	4 / 30	G L-0.2m以下江戸・時期不明の包 含層各1。	6- 36
*		中、二条通西洲院東入正行寺町662	立	6 / 27	G L-1.13mにて江戸の包含層。	6- 83
*		中、奥川通並座西入泉町682-1	立	11 / 8	G L-0.7m以下土壌4、平安後期1、室	6- 209

二条三坊 四町						町1、時期不明2、平安前期・時期不明の柱穴各1。	
二条三坊 五町	中、二条通衣箱東入大恩寺町257	立	9 / 6			検出できず。	6 - 143
・	中、衣箱通夷川下る登大恩寺町743	立	10 / 27			GL-1.74mにて時期不明の包含層。	6 - 194
二条三坊 七町	中、新町通竹屋町下る并財天町290	立	9 / 5			GL-0.9m以下江戸の包含層2。	6 - 142
二条三坊 八町	上、橋木町通衣箱西入今葉屋町324-1	立	10 / 7			GL-0.6m以下鎌倉・時期不明の包含層各1。	6 - 169
二条三坊 十町	中、室町通丸太町下る道場町9	立	8 / 19			GL-0.48m以下鎌倉・室町・江戸・時期不明の包含層各1。	6 - 128
二条三坊十五町	中、車屋町通丸太町下る砂金町413	立	11 / 25-30			GL-0.86mにて鎌倉の包含層。 -1.09mにて鎌倉の土壌1、時期不明の柱穴1。	6 - 219
二条四坊 二町	中、高倉通竹屋町上る坂本町704	試	6 / 2			GL-1.48mにて平安後期の整地層。	6 - 55
二条四坊 三町	中、岡之町通竹屋町下る楠町601-1 竹間小学校	立	4 / 11			盛土のみ。	6 - 14
・	中、夷川通高倉西入山中町	立	6 / 9-24			GL-1.26m以下時期不明の路面3、推定二条大路。	6 - 66
二条四坊 四町	中、高倉通二条上る天守町749-2	立	10 / 3			GL-0.4m以下包含層5、平安中期1、柏山1、江戸1、時期不明2。	6 - 166
二条四坊 五町	中、二条通堺町東入観音町85-1	立	6 / 3-19			GL-1.7m以下室町の土壌2、平安後期・時期不明の包含層各1。	6 - 60
二条四坊 六町	中、高倉通夷川上る福屋町731-2	立	12 / 15			GL-1.2mにて鎌倉～室町の包含層。	6 - 232
二条四坊十一町	中、夷川通高小路西入依願町304	立	7 / 7			GL-1.62mにて鎌倉・江戸の土壌各1。	6 - 94
・	中、大炊町354	立	7 / 31			GL-0.75mにて室町の包含層。	6 - 113
二条四坊十三町	中、寺町通二条上る西側要法寺前町720	立	9 / 8			GL-1.0mにて鎌倉の包含層。	6 - 146
二条四坊十四町	中、舞中町通夷川上る松本町578	立	6 / 4			GL-0.9mにて鎌倉の包含層。	6 - 63
三条一坊 二町	中、西ノ京池町19	立	4 / 9-11			GL-0.6m以下時期不明の土壌1、包含層2、平安後期の溝1、推定三条大路側溝。	5 - 12
三条一坊十一町	中、西ノ京池ノ内町19-10	立	4 / 7-10 23			GL-1.37mにて平安前期の落ち込み。	5 - 10
・	中、御池通神泉苑西入神泉苑町14-4	立	4 / 21			GL-0.9m以下江戸の包含層。	5 - 27
・	中、西ノ京池ノ内町19-9	立	7 / 7			GL-0.88mにて時期不明の包含層。	5 - 93
・	中、西ノ京池ノ内町16-9	立	7 / 30			GL-0.85m以下包含層3、江戸2、時期不明1。	5 - 104
三条一坊十二町	中、三条通神泉苑西入夏跡町70、71-1	試	9 / 29-2			GL-0.85mにて平安の溝2、推定三条大路側溝。	5 - 162
三条一坊十四町	中、大宮通御池下る三坊大宮町地先	立	4 / 24			GL-0.8mにて時期不明の池状堆積。	5 - 32
三条一坊十五町	中、大宮通押小路下る市之町地先	立	8 / 13			GL-0.28m以下包含層5、室町2、江戸3。	5 - 123
三条二坊 四町	中、三条通播磨西入御供町295	立	10 / 8			GL-0.73mにて平安後期の包含層。 -0.85mにて時期不明の路面1、推定三条大路。	5 - 172
三条二坊 六町	中、岩上通御池下る上巴町424	立	7 / 18 8 / 13			GL-1.58m以下包含層5、鎌倉1、室町1、時期不明3。	5 - 101
三条二坊 十町	中、油小路通押小路下る押油小路町238-1 城巽中学校	立	7 / 11			盛土のみ。	5 - 98
・	中、押油小路町264	立	9 / 8			GL-0.2m以下包含層4、平安後期1、江戸1、時期不明2。	5 - 144
三条二坊十三町	中、三条通西洞院西入堀屋町54、56	試	5 / 23			GL-1.5mにて時期不明の土壌4、平安後期の溝1、室町後期の柱穴。	5 - 48
・	中、西洞院通姉小路下る姉西洞院町521、522	立	7 / 26			GL-1.47m以下室町～江戸の池状堆積。	5 - 105
・	中、西洞院通姉小路下る姉西洞院町527	立	11 / 20			検出できず。	5 - 216
三条二坊十四町	中、油小路通姉小路上る式阿弥町122	立	5 / 14			検出できず。	5 - 43

三条二坊十四町	中、西洞院通錦小路下る三坊西洞院町563	立	6 / 17-26	G L-1.65mにて時期不明の包含層。 -2.1mにて室町の西洞院川路。	5- 76
三条二坊十六町	中、二条通西洞院西入西大黒町343	立	8 / 5	検出できず。	5- 115
三条三坊 一町	中、押小路通新町西入御町22-2	立	4 / 5	G L-1.4m以下室町の包含層。	6- 6
三条三坊 四町	中、西洞院通二条下る二条西洞院町632-4他	立	6 / 16	盛土のみ。	6- 74
	中、三条通釜座西入釜座町11	立	6 / 27-28	G L-1.1m以下包含層4、室町1、時期不明3、時期不明の整地層1、桃山の土壌1。多数の落津出土。	6- 84
三条三坊 八町	中、新町通二条下る頭町16-1	立	11 / 4	検出できず。	6- 203
	中、衣通通二条下る上妙覚寺町226	立	12 / 18	江戸以降の埋土のみ。	6- 235
三条三坊十一町	中、室町通御池下る円福寺町338他	試	9 / 10	G L-1.2m以下室町後期・江戸の包含層各1、-2.04mにて室町中期の溝。	6- 147
三条三坊十二町	中、室町通錦小路下る役行者町372	立	8 / 18	G L-1.01m以下時期不明の包含層2。	6- 125
三条三坊十四町	中、御池通烏丸東入仲保町地先	立	9 / 16	G L-0.25m以下江戸の包含層2。	6- 150
三条四坊 一町	中、押小路通高倉西入左京町138	立	5 / 7	G L-0.9m以下江戸の包含層3。	6- 39
	中、二条通間之町東入松屋町地先	立	9 / 2・3	G L-0.2m以下路面9、江戸1、時期不明8。	6- 138
三条四坊 三町	中、間之町通御池下る綿屋町520-1~3, 522	立	10 / 28	G L-2.19mにて鎌倉の井戸1、時期不明の土壌。	6- 197
三条四坊 五町	中、三条通高倉東入判屋町70	立	11 / 26	検出できず。	6- 222
三条四坊十四町	中、寺町通錦小路下る下本能寺前町518	立	6 / 5・6	G L-0.6mにて江戸の包含層。	6- 64
三条四坊十五町	中、御幸町通御池上る亀屋町378	立	7 / 12-14	G L-2.1mにて平安後期の包含層を切つて土壌4、平安後期2、江戸1、時期不明1。	6- 100
	中、寺町通押小路下る上本能寺前町474	立	8 / 5	G L-0.7mにて室町の包含層。	6- 116
	中、御幸町通御池上る亀屋町381	立	11 / 1	G L-0.3m以下江戸末期の包含層。	6- 201
三条四坊十六町	中、寺町通二条下る西側妙満寺前町446	立	10 / 24	G L-1.3mにて平安後期の土壌1、-1.3m以下平安前期・時期不明の包含層各2、路面3、平安前期1、時期不明2。推定二条大路延長線に位置する。	6- 191
四条一坊 四町	中、壬生御所ノ内町29-5	立	9 / 27	G L-0.88mにて室町の包含層、-1.0mにて鎌倉の包含層。	6- 161
四条一坊 七町	中、壬生馬場町28	立	4 / 17	盛土のみ。	9- 18
	中、壬生馬場町28	立	12 / 4	G L-0.79mにて時期不明の土壌。	9- 227
四条一坊 十町	中、蛸薬師通大宮西入国權町112-7	試	4 / 25	G L-0.66mにて室町の包含層、-0.9mにて池の屑部。	9- 33
四条一坊十四町	中、壬生坊城町60-2, 62	立	10 / 29	G L-0.6mにて室町の土壌。	9- 200
四条二坊 一町	中、猪熊通六角上る三条猪熊町641	立	6 / 3・5	G L-0.95mにて平安後期の包含層。	9- 59
四条二坊 三町	中、黒門通蛸薬師下る下黒門町439, 445-1	試	5 / 28	G L-1.0mにて土壌5、室町後期1、江戸前期4。室町末期~江戸の溝。	9- 51
	中、猪熊通錦小路下る下瓦町582	立	8 / 19	G L-0.17m以下平安後期~鎌倉・時期不明の土壌各1。	9- 126
	中、黒門通蛸薬師下る下黒門町438	立	10 / 24	G L-0.1m以下後期不明の包含層2。	9- 192
四条二坊 五町	中、東堀川通四条上る錦堀川町640, 649	立	6 / 5	G L-0.06m以下包含層3、平安後期~鎌倉1、時期不明2。	9- 37
四条二坊十二町	中、醍醐井通四条上る藤西町601	立	8 / 25	G L-0.75m以下江戸の包含層2。	9- 131
四条三坊 三町	中、新町通錦小路下る百足屋町372-1	立	6 / 16	G L-0.35m以下時期不明の包含層2。	10- 75
	中、錦小路通新町西入西錦小路町253	立	10 / 9	G L-1.0mにて平安中期の包含層1、土壌6、室町2、江戸2、時期不明2。	10- 173
四条三坊 五町	中、観音堂町地先	立	9 / 13	掘削のみ。	10- 141
四条三坊 七町	中、六角通室町西入玉蔵町130, 130-2	立	6 / 2	G L-0.4m以下室町・江戸の包含層各1。	10- 58
	中、室町通六角下る雙山町529	立	9 / 1	G L-0.6mにて江戸の包含層。-1.7mにて時期不明の整地層。	10- 137
四条三坊十五町	中、六角通烏丸東入堂之前町245	立	4 / 23	試掘調査済（60年度H L-327）。	10- 29

四条三坊十五町	中、六角通烏丸東入堂之前町255	立	11 / 20・26	GL-1.2mにて土壌3、室町1、江戸2、 -1.95mにて平安末期～鎌倉の土壌。	10- 217
四条三坊十六町	中、東洞院通三条下る三文字町205	試	5 / 30	GL-1.8mにて土壌11、平安後期1、 室町9、江戸1、柱穴4、平安後期3、 室町1。	10- 54
四条四坊 三町	中、錦小路通東洞院東入西魚屋町597	立	8 / 26、 9 / 1	GL-0.15m以下時期不明の整地層 4、-0.6mにて室町の土壌2、-0.6m以 下包含層5、平安後期1、室町1、江戸3。	10- 134
•	中、東洞院通納葉師下る元竹田町630	立	10 / 14	検出できず。	10- 179
•	中、錦小路通高倉西入西魚屋町592	立	11 / 8	GL-0.57m以下江戸の包含層7、 -1.5m以下室町の包含層2。	10- 210
四条四坊 五町	中、高倉通錦小路下る春屋町574	立	4 / 17	GL-1.3m以下室町の包含層。	10- 19
•	中、堀町通四条上る八百屋町541	立	4 / 21・23	盛土のみ。	10- 25
四条四坊 六町	中、堀町通納葉師下る葡萄町530	立	4 / 18	GL-1.4m以下包含層3、室町1、時 期不明2。	10- 21
四条四坊 八町	中、高倉通三条下る丸屋町159-2	立	4 / 9	GL-0.95m以下江戸の包含層2。	10- 13
•	中、堀町通三条下る道祐町140	立	7 / 30	GL-0.06m以下包含層5、鎌倉～室 町3、室町後期1、江戸1。	10- 110
•	中、六角通高倉東入堀之上町116	立	10 / 27	巡回時工事終了。	10- 196
四条四坊 十町	中、樺馬場通六角下る井筒屋町427-1	立	8 / 19	GL-0.62m以下包含層4、鎌倉～室 町1、江戸1、時期不明2。	10- 127
•	中、納葉師通高倉小路東入油屋町145	立	8 / 27	GL-0.95m以下土壌5、鎌倉1、江 戸1、時期不明3。	10- 135
四条四坊十一町	中、富小路通錦小路上る高宮町593	立	10 / 17・18	GL-1.67m以下鎌倉・時期不明の 包含層各1、-1.2mにて平安後期・ 鎌倉・室町・時期不明の土壌各1。	10- 183
四条四坊十三町	中、越屋町通四条上る判屋町516	立	8 / 13	巡回時工事終了。	10- 122
四条四坊十四町	中、御幸町通納葉師下る船屋町385、387-2	立	11 / 19	GL-1.45mにて江戸の土壌1、-2.0 mにて平安末期の包含層。	10- 215
五条一坊 二町	中、壬生邸ノ宮町31	立	7 / 28	GL-0.8m以下江戸・時期不明の包 含層各1。	9- 108
五条一坊 三町	中、壬生辻町12-5他	試	4 / 14	GL-1.02mにて室町中期・江戸・ 時期不明の土壌各1、室町中期の溝1、 時期不明の柱穴3。	9- 17
五条一坊 五町	中、壬生相合町地先	立	11 / 4・5	GL-1.18mにて平安末期の包含層。	9- 204
五条一坊 八町	中、壬生賀陽御所町地先	立	10 / 14、 11 / 1	GL-1.05mにて鎌倉の包含層。	9- 180
五条一坊十一町	中、壬生相合町地先	立	5 / 30	GL-0.9mにて江戸の包含層。	9- 57
五条一坊十二町	中、壬生相合町33-1・3	立	7 / 12	GL-0.8mにて江戸の包含層。	9- 99
五条二坊 三町	下、仏光寺通黒門東入西田町618	立	5 / 22・23	GL-1.03mにて平安末期～室町の 土壌2。	9- 47
五条二坊 四町	下、松原通堀川西北側東迎堂町711	立	7 / 9	GL-0.87m以下江戸の流れ堆積。	9- 97
五条二坊 七町	下、西堀川通錦小路下る綾堀川町314	立	4 / 2	検出できず。	9- 2
五条二坊 八町	下、西堀川通四条下る四条堀川町261	立	6 / 14	GL-0.58mにて室町の包含層。	9- 72
五条二坊十一町	下、油小路通仏光寺下る太子山町600	立	4 / 5	GL-1.18m以下室町・時期不明の 包含層各1、-1.63mにて平安後期・ 時期不明の土壌各1。	9- 7
•	下、東堀川通仏光寺下る吉水町333	立	5 / 28	GL-0.55mにて土壌20、平安12、 鎌倉1、室町3、時期不明4。	9- 52
五条二坊十二町	下、油小路通高辻下る麓町644他	立	12 / 10・11	GL-0.9mにて平安後期の土壌。	9- 230
五条二坊十四町	下、仏光寺通東中蔵西入木賊山町173-5	立	5 / 10・12	盛土のみ。	9- 41
•	下、西洞院通仏光寺下る本柳水町776、779	立	10 / 24、 11 / 12	検出できず。	9- 193
五条二坊十五町	下、西洞院通錦小路下る綾西洞院町757	立	8 / 22	盛土のみ。	9- 129
五条三坊 一町	下、四条通釜座東入郭巨山町18他	立	7 / 24	GL-1.35mにて鎌倉～室町の土壌5。	10- 103

五条三坊 四町	下、新町通高辻下る御影町448	立	9 / 29	GL-1.38m 以下鎌倉・桶山の土壌 各1、平安後期の包含層。	10- 163
五条三坊 六町	下、新町通仏光寺下る岩戸山町434-2	立	9 / 24	GL-0.53m 以下桶山・時期不明の 包含層各1。	10- 157
五条三坊 八町	下、綾小路通室町西入善長寺町140、145	試	8 / 8	GL-0.4m 以下包含層5、平安～鎌 倉2、室町2、江戸後期1。	10- 120
五条三坊十一町	下、築師前町地先	立	12 / 20	巡回時工事終了。	10- 236
五条三坊十五町	下、木堀町通仏光寺上る天王町地先	立	4 / 21	盛土のみ。	10- 26
五条四坊 五町	下、高倉通高辻下る葛籠屋町514	立	8 / 6	GL-0.65m 以下時期不明の整地層 7、-1.6m にて平安後期の包含層。	10- 118
五条四坊 七町	下、柳馬場通綾小路下る西入永原町153-8	立	10 / 9	検出できず。	10- 175
五条四坊十三町	下、鮎屋町通高辻下る鮎屋町地先	立	5 / 7	GL-0.25m 以下時期不明の路面4。	10- 40
五条四坊十四町	下、寺町通仏光寺下る恵美須之町551	立	6 / 20	GL-1.09m 以下時期不明の路面4、 推定東京橋大路。	10- 79
五条四坊十五町	下、師町通綾小路下る丸屋町412	立	4 / 12	検出できず。	10- 16
五条四坊十六町	下、寺町通四条下る貞安前之町591、592	立	6 / 10	GL-0.75m にて江戸・時期不明の 包含層各1。	10- 68
*	下、鮎屋町通四条下る八文字町355	立	9 / 26	GL-1.58m 以下時期不明の整地層 3、平安後期・室町・時期不明の包含 層各1。	10- 158
六条一坊 二町	下、中堂寺坊城町44-1・2・9・10	試	8 / 1	GL-1.14m にて平安中期の溝、推 定朱雀大路東側溝。	9- 114
六条一坊 三町	下、中堂寺坊城町地先	立	10 / 7・8 18・21・29	GL-0.55m にて室町の土壌1。	9- 170
六条一坊 九町	下、中堂寺西寺町地先	立	10 / 16	検出できず。	9- 188
*	下、中堂寺西寺町地先	立	11 / 15、 12 / 2・9	GL-0.6m にて時期不明の土壌2。	9- 213
六条一坊 十町	下、中堂寺御前町14-1	立	9 / 24・27	GL-0.2m 以下室町・江戸の包含層 各1。	9- 156
*	下、中堂寺御前町18・2・10	立	10 / 29、 11 / 1・13	GL-0.5m にて時期不明の土壌2。	9- 198
六条一坊十三町	下、中堂寺蔵ノ内町24	立	5 / 21	GL-0.6m 以下室町・時期不明の包 含層各1。	9- 46
六条二坊 四町	下、黒門通五条下る柿本町595-166	立	4 / 3	GL-0.3m にて平安後期・時期不明 の包含層各1、-0.45m にて弥生の包 含層。	9- 4
六条二坊 六町	下、五条通堀川西入柿本町659地先	立	7 / 30	GL-0.35m にて室町の包含層、- 0.65m にて室町の土壌。	9- 111
六条二坊 九町	下、麗ヶ井通万寿寺上る篠屋町76	立	7 / 1	GL-0.85m にて室町の包含層。	9- 89
*	下、松原通麗ヶ井東入樋口町42、43、44	立	7 / 18・23 25	GL-1.1m にて土壌4、鎌倉1、室町 3。	9- 102
六条二坊十二町	下、堀川通六条上る松女牛井町172	立	7 / 1	GL-0.24m 以下時期不明の包含層 2、整地層。	9- 90
六条二坊十三町	下、東中筋通六条上る天使突抜四丁目473	立	4 / 21	GL-0.8m 以下江戸の包含層2、- 1.2m にて時期不明の土壌。	9- 20
*	下、東中筋通六条上る天使突抜四丁目463	立	6 / 27	GL-0.55m にて平安末期の包含層。	9- 85
六条二坊十四町	下、油小路通五条下る中金仏町216	立	7 / 7	GL-0.65m にて江戸の包含層。	9- 95
六条二坊十六町	下、松原通油小路東入樋口町32	立	4 / 2・8	GL-0.76m 以下室町以降の路面2、 室町・時期不明の包含層各1。	9- 1
六条三坊 二町	下、西洞院通五条上る八幡町531	立	10 / 15	GL-0.9m 以下時期不明の流れ堆積。	- 181
*	下、万寿寺通新町東入材木町128-1	立	11 / 15	GL-0.78m 以下包含層5、平安後期 1、時期不明4、-1.53m にて平安後 期の整地層。	10- 214
六条三坊 七町	下、室町和新町の間の通五条上る小田原町228	立	5 / 28	盛土のみ。	10- 49
六条三坊 十町	下、五条通室町東入観音町290	立	10 / 13	GL-1.15m 以下時期不明の包含層2。	10- 177

六条三坊 十町	下、万寿寺通烏丸西入御供石町356-1, 358-1	立	11/10-28	GL-2.35mにて土壌4、平安後期2、室町1、時期不明1、室町の井戸。	10- 211
六条三坊十五町	下、東洞院通五条上る深草町568, 570	立	11/4・6	GL-0.98m以下包含層4、平安1、江戸2、時期不明1、-1.4mにて時期不明の土壌。	10- 205
六条四坊 一町	下、万寿寺通間ノ町西入万寿寺中之町64, 66	立	10/9	検出できず。	10- 174
六条四坊 二町	下、五条通間ノ町西入万寿寺町126, 122, 122-1	試	12/1	GL-0.3m以下包含層6、室町3、江戸3、-1.42mにて平安中期の整地層。	10- 225
六条四坊 三町	下、園之町通五条下る大津町8	立	9/24	GL-0.82mにて時期不明の包含層。	10- 155
六条四坊 七町	下、堺町通五条上る使屋町214, 215	立	10/29	GL-1.05mにて江戸・時期不明の土壌各1。	10- 199
六条四坊 八町	下、高倉通松原下る樋之下町34	立	8/28	GL-0.6mにて江戸の包含層。	10- 136
六条四坊 九町	下、高小路通万寿寺上る本上神明町454, 455	立	4/25-26	GL-0.3mにて江戸の井戸、-1.08mにて室町の包含層。	10- 34
六条四坊 十町	下、高小路通万寿寺上る本上神明町462, 462-1	立	8/26-28	GL-1.08mにて室町の包含層。	10- 133
六条四坊十一町	下、御馬場通五条上る柏屋町345	立	5/28	GL-0.8m以下時期不明の包含層。	10- 53
六条四坊十二町	下、高小路通五条下る本塩蔵町558	立	4/7	盛土のみ。	10- 11
六条四坊十三町	下、西本屋町通五条下る平番町64	立	10/21	検出できず。	10- 187
六条四坊十四町	下、六条通河原町西入本塩蔵町565	立	11/25	GL-0.6m以下土壌4、平安末期1、鎌倉1、時期不明2。	10- 220
六条四坊十五町	下、木屋町通五条下る都市町141, 141-3	立	9/8	GL-0.8m以下江戸の流れ堆積。	10- 145
七条一坊 三町	下、朱雀正金町43-1	立	11/27	検出できず。	9- 224
七条一坊 五町	下、夷馬場町35-14	立	12/2	GL-0.59mにて室町の包含層、-0.72mにて時期不明の土壌。	9- 226
七条一坊 九町	下、小坂町22	立	12/16	検出できず。	9- 233
七条二坊 一町	下、堀川通五条下る柿本町609-1 浮屋小学校	立	8/6	検出できず。	9- 119
七条二坊二町	下、西洞院通北小路上る鍛冶屋町438-1・2	立	9/22	GL-0.9mにて室町・江戸の土壌各1。	9- 153
七条二坊三町	下、東中筋通正面下る紅茶町362	立	12/8	検出できず。	9- 228
七条三坊 一町	下、新花屋町通若宮西入若宮町560	立	11/13	GL-0.95mにて時期不明の土壌。	10- 212
七条三坊 三町	下、西洞院通北小路上る鍛冶屋町450	立	5/30	盛土のみ。	10- 56
七条三坊 八町	下、高倉通七条上る哲山町239	立	10/15	GL-1.02m以下時期不明の包含層。	10- 182
七条三坊 九町	下、烏丸通六条下る北町	試	9/5	GL-0.5m以下江戸の包含層5、-1.85m以下平安後期～室町中期の池状堆積。	10- 140
七条三坊十三町	下、東洞院通七条上る鮎屋町259-2	立	10/3	GL-0.55m以下包含層3、室町1、時期不明2。	10- 167
七条三坊十五町	下、上珠数屋町通東洞院西入上珠数屋町328	立	5/8	GL-1.2mにて江戸の土壌。	10- 23
七条三坊十六町	下、不明門通花屋町下る高槻町346	立	10/9	GL-0.73m以下包含層4、鎌倉1、江戸1、時期不明2、-1.92m以下時期不明の流れ堆積。	10- 176
七条四坊 一町	下、東洞院通六条下る横路町143	立	6/25	GL-0.44m以下時期不明の整地層3。	10- 71
七条四坊 二町	下、上珠数屋町通東洞院東入花屋町388他4華	立	5/27	GL-1.35mにて江戸の包含層。	10- 50
七条四坊 五町	下、七条通河原町西入材木町478	立	7/31	GL-0.52m以下時期不明の流れ堆積。	10- 112
七条四坊 十町	下、河原町通正面下る万屋町326-3	立	4/21	GL-1.1m以下時期不明の流れ堆積。	10- 24
七条四坊十一町	下、土手町通上ノ口下る大工町地先	立	6/26, 7/2・4	GL-0.2mにて時期不明の花崗岩を用いた南北溝。	10- 81
七条四坊十三町	下、二ノ宮町通七条上る二之宮町445, 447-5	立	7/29	GL-0.35m以下時期不明の氾濫堆積。	10- 109
七条四坊十四町	下、正面通三ノ宮町東入山王町341	立	9/26	GL-0.35m以下室町・江戸の包含層各1。	10- 159
八条一坊 八町	下、観音寺町3 大内小学校	立	7/4・5	GL-0.8mにて鎌倉～室町以降の包含層、-0.95mにて平安前期の整地層。	11- 92
八条二坊 一町	下、七条通大宮東入大工町118, 129-1	立	12/10	No.1 GL-0.65m以下包含層4、平	11- 231

八条二坊 三町	下、嵯峨通堀小路下る上夷町158	立	6 / 6	安前期1、鎌倉2、時期不明1、土壁9、平安後期1、鎌倉1、室町1、江戸1、時期不明5、平安後期の柱穴1。No.2 GL-1.62mにて平安末期～鎌倉の木の井戸1、最下層部に曲物。	11- 65
八条二坊 五町	南、西九条或光寺町6	立	5 / 16	GL-0.5m以下時期不明の路面4、推定堀跡小路。	11- 45
八条二坊 八町	下、七条通猪熊東入西八百屋町163	立	4 / 2・5	GL-0.92mにて時期不明の土壁1。-1.12m以下時期不明の流れ堆積。	11- 3
八条二坊 九町	下、堀川通七条下る土橋町198-4	立	9 / 29	GL-0.25mにて江戸の井戸。	11- 164
八条二坊 十町	下、木津屋橋通堀川東入北不動堂町483, 486	立	7 / 2	検出できず。	11- 91
八条二坊十一町	下、油小路通堀小路下る西側油小路町23	試	8 / 25, 9 / 8	盛土のみ。 GL-0.45m以下平安後期・室町後期の包含層各1、-0.95mにて土壁9、鎌倉8、江戸1、-1.0mにて平安前期の土壁1。	11- 130
八条二坊十二町	南、西九条寺ノ前町7	立	4 / 5	盛土のみ。	11- 8
八条二坊十五町	下、木津屋橋通西洞院西入南町568-7	立	6 / 3	GL-0.25m以下時期不明の路面7、推定堀跡小路。	11- 61
八条二坊十六町	下、木津屋橋通西洞院西入南町507-1・2	立	4 / 12	GL-0.7mにて平安前期～室町の包含層。	11- 15
*	下、下魚ノ橋通西洞院西入東町581	立	10 / 20	GL-1.02m以下江戸・時期不明の包含層各1。	11- 186
八条三坊 一町	下、西洞院通七条下る東堀小路町607-15	立	10 / 7	巡回時工事終了。	12- 171
八条三坊 八町	下、七条通新町東入夷之町727	立	5 / 16	GL-1.37mにて鎌倉後期の落ち込み1、-1.57m以下平安後期・時期不明の包含層各1。	12- 44
八条三坊十五町	下、東洞院通堀小路上る東堀小路町541-1	立	4 / 28	GL-1.1m以下包含層3、平安後期1、時期不明2、-1.75mにて平安末期の井戸。	12- 35
八条四坊 一町	下、東洞院通七条下る堀小路町536-5	立	7 / 8	GL-1.1m以下時期不明の路面2、推定東洞院大路、-1.36mにて平安末期～鎌倉の落ち込み。	12- 96
*	下、東洞院通七条下る堀小路町520	立	9 / 4・5	GL-0.63m以下包含層4、弥生1、時期不明3。	12- 139
八条四坊 十町	下、上之町地内	立	7 / 25	検出できず。	12- 106
八条四坊十一町	下、上之町15地先	立	12 / 16	GL-1.45m以下時期不明の包含層5。	12- 234
九条一坊 五町	南、八条内田町2-7・10	立	4 / 23	検出できず。	11- 30
九条一坊 九町	南、八条町551	立	6 / 10	GL-0.39mにて室町前期の包含層。	11- 69
九条二坊 四町	南、西九条南小路町1 九条中学校	立	11 / 6	検出できず。	11- 208
九条二坊 六町	南、西九条唐橋町70	立	9 / 18	GL-0.85mにて鎌倉の土壁。	11- 152
九条二坊 七町	南、西九条針小路町2	立	9 / 24	GL-0.2mにて平安後期の土壁。	11- 154
九条二坊 八町	南、西九条藤ノ木町地先	立	6 / 25-27 7 / 7	GL-0.6m以下時期不明の包含層2。	11- 80
九条二坊 十町	南、唐橋高田町94-3・4	立	6 / 26-27	GL-0.48m以下弥生～平安末期の土器を含む流れ堆積。	11- 82
九条三坊 四町	南、東九条下殿田町2	立	11 / 5・11	GL-0.65m以下包含層4、室町1、時期不明3。	12- 207
九条三坊 五町	南、東九条下殿田町56 陶化中学校	試	11 / 4	GL-1.18m以下弥生の土器を含む流れ堆積。	12- 206
*	南、東九条下殿田町50	立	11 / 27	GL-0.55m以下室町・時期不明の包含層各1、-1.07m以下時期不明の流れ堆積。	12- 223
九条三坊 七町	南、東九条室町1-10	立	6 / 27	GL-0.65m以下江戸の包含層、-1.45mにて江戸の池。	12- 86

九条四坊 二町	南、東九条東山王町27 山王小学校	立	6 / 28, 7 / 1	GL-0.9m以下室町の包含層2。	12- 87
九条四坊 六町	南、東九条南山王町43	立	6 / 4	GL-0.29mにて室町の包含層、— 0.49mにて土壌3、鎌倉2、時期不明1。	12- 62

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
遺跡外 常盤東ノ町遺跡	右、太秦京ノ道町20-5 常盤野小学校	立	12 / 8	盛土のみ。	
通照寺古墳	右、常盤西町13-14	立	7 / 3	GL-0.24mにて時期不明の包含層。	
葵古墳	右、嵯峨広沢下馬野町5-3	立	7 / 23	盛土のみ。	
	右、山越興町11-1他	試	7 / 17~ 20	石室の一部残存、床面は10~15cmの 石敷、鉄線・金具(馬具の一部)・刀 子、須恵器の杯身・蓋・子持ち甕台、 石棺(凝灰岩)の一部等出土。本文5 ページ。	
常盤東ノ町古墳群	右、常盤村ノ内町8-20	試	11 / 21	GL-1.0mにて弥生の土壌、—1.56 mにて弥生中期の溝。	
常盤仲ノ町遺跡	右、常盤南町2-50	立	6 / 3	GL-0.28mにて室町の包含層、— 0.58mにて土壌5、室町3、時期不明2。	
蛇塚古墳	右、太秦東路町17-1・3	立	11 / 4・25	GL-0.3mにて平安後期の溝。	
広隆寺旧境内 (峰岡寺跡)	右、太秦面影町20-13-19他	立	9 / 24	検出できず。	
一ノ井遺跡	右、太秦東路町10	立	12 / 24	GL-0.48mにて室町の包含層、— 0.68mにて時期不明の土壌2。	
門田町遺跡	右、太秦一ノ井町16-3	立	5 / 13	GL-0.62mにて平安後期の土壌。	
円乗寺跡	右、太秦門田町3-12	立	8 / 13	盛土のみ。	
円教寺跡	右、御室堅町19 御室小学校	立	4 / 12	GL-0.56mにて平安後期の土壌。	
仁和寺院家跡	右、御室堅町地先	立	7 / 8	検出できず。	
	右、常盤古御所町5-1	試	4 / 11	GL-0.4mにて平安の包含層。	
	右、龍安寺西ノ川町地先	試	5 / 19	検出できず。	
法金剛院境内遺跡	右、常盤御池町14-6	立	11 / 13	GL-0.37m以下時期不明の整地層4、 —0.8m以下平安後期の包含層2。	
史跡・名勝嵐山 森ヶ東瓦窯跡	右、花園原野町12	試	9 / 30	GL-0.55mにて平安後期~江戸の 池、護岸用の枕列、竹で上下四段交 互に押さえたしがらみを巡らす。	
	右、嵯峨天龍寺道路町30-20, 22	試	4 / 2	GL-1.05mにて室町後期の包含層3。	
	右、太秦和泉式部町地先	立	11 / 17-18	No.1 GL-0.93mにてロストル式 平窯1基、焼成部ロストル5本確認。 No.4 灰原検出。本文10ページ。	
青戸山古墓	右、鳴滝青戸山町4-38	立	6 / 27	GL-0.2mにて石室を築いている遺 (蔵骨器)を発見。火葬人骨の細骨 含む。	

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
出雲寺跡	上、烏丸通鞍馬口下る東入上御堂堅町447-7	立	6 / 19	GL-0.12m以下時期不明の包含層。	
相国寺旧境内	上、相国寺門前町670	立	5 / 17	検出できず。	
	上、相国寺門前町647-8	立	5 / 21-22	GL-0.3mにて室町の土壌。	
	上、相国寺門前町637	立	6 / 24	GL-0.6m以下時期不明の包含層2。	
	上、今出川通烏丸東入上相国寺門前町636	立	7 / 17	GL-0.33m以下平安末期・鎌倉前 期・後期の包含層各1。	
	上、室町通上御堂前下上藤原町134	立	9 / 30	GL-0.37m以下包含層5、室町1、 嵯峨山1、時期不明3、—0.7mにて室町・ 時期不明の土壌各1。	

相国寺旧境内	上、室町通上御堂前下上柳原町139	立	10/14	GL-0.2m以下時期不明の土壁3、 -0.7mにて時期不明の包含層。
室町殿跡	上、室町通今出川上る無山南半町237	立	8/26	GL-0.15m以下江戸の包含層。
＊	上、丸丸通今出川上る御所八幡町110-5	試	9/16	1 T GL-1.25mにて室町～江戸 の石組遺構。2 T GL-0.55mに て石組遺構。発掘調査に切り換える。 本文24ページ。
＊	上、今出川通新町東入堀出シ町307-1・2・7	立	9/19・20	GL-0.84m以下室町・時期不明の 包含層各1。
聚楽第跡	上、黒門通一桑上る御正町	立	4/3	盛土のみ。
＊	上、笹屋町通大宮西入軒屋町579	立	4/22	GL-1.0mにて江戸の包含層、 -1.35mにて時期不明の土壁2。
＊	上、元誓願寺通堀川西入南門前町438	立	6/19・20	GL-0.1m以下江戸の包含層。
＊	上、元誓願寺通黒門東入寺町499	立	7/7	GL-0.75mにて時期不明の盛土層。
＊	上、黒門通元誓願寺下る尾沙門町	立	8/2	GL-0.4m以下鎌倉～江戸の包含層 3。
＊	上、元誓願寺通堀川西入南門前町434	立	11/27・28	GL-0.1m以下時期不明の包含層2、 土壁4、礎石1、室町1、時期不明2、 時期不明の柱穴1。
一条室町殿	上、武者小路通室町西入武者小路町429	立	6/2	検出できず。
岩倉花園町瓦葺跡	左、岩倉花園町地先	立	12/11	GL-0.47mにて時期不明の土壁。
栗栖野瓦葺跡	左、岩倉幡枝町903地先	立	6/25・26	検出できず。
岩倉忠在地遺跡	左、岩倉忠在地町291-1	立	6/13	盛土のみ。
岩倉具視南横	左、岩倉下在地町地先	立	4/2～12	GL-0.3mにて江戸の包含層、旧河 川の石垣。
旧宅隣地	北、北野西白梅町地先	立	12/19	検出できず。
北野遺跡	北、上賀茂板井町701-1	立	5/12・13	GL-0.75mにて時期不明の包含層。
植物園北遺跡	北、上賀茂園本口町65-2・3	立	7/28	盛土のみ。
＊	北、上賀茂板井町8	立	8/25・26	GL-0.42mにて古墳前期の壁穴住 居址。
＊	北、上賀茂板井町101, 104	試	10/8	GL-0.93mにて時期不明の包含層。
＊	左、下鴨半木町地先	立	10/8	盛土のみ。
＊	北、上賀茂板井町地先	立	11/20～22	検出できず。
＊	左、下鴨前萩町地先	立	12/13・15	GL-0.63m以下時期不明の包含層。
衣笠永室町遺跡	北、衣笠永室町地先	立	4/17、 8/19	検出できず。
＊	北、衣笠永室町地先	立	12/1	掘削のみ。
北野庭寺	北、北野紅梅町49	試	4/21	1 T GL-0.28mにて室町の包含 層。-0.46mにて室町の柱跡1、平安 の土壁2、落ち込み1。2 T GL- 0.3m以下平安・室町の包含層各1、室 町の壁地層1、平安前期の土壁1、柱 跡1、室町の土壁4、東西溝1。発掘調 査に切り換える。
＊	北、北野下白梅町39	試	5/26	1 T GL-0.6mにて奈良期の溝1、 室町の柱穴5。2 T 全面焼土及び焼 瓦、窯体の一部検出。3 T GL- 0.9mにて平安の石敷遺構。発掘調査 に切り換える。
＊	北、北野紅梅町62	立	6/10	盛土のみ。
＊	北、北野紅梅町88	試	12/15	1 T GL-0.76m以下平安前期・室 町の包含層各1、-1.2mにて古墳期 の壁穴住居址。溝1。2 T GL- 0.98mにて平安前期の土壁1。
角社瓦葺跡	北、西賀茂神光院町40	立	4/2	盛土のみ。

神宮寺跡	北、上賀茂山本町29-1,30	立	5/31	GL-0.28mにて室町の包含層。	
西北町遺跡	北、黄竹西北町地先	立	12/4	GL-0.25mにて江戸の包含層。	

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
京都大学北側溝内遺跡	左、北白川西町80-6	立	9/25	検出できず。	
+	左、北白川通分町38-6	立	9/29	検出できず。	
小倉町・別当町遺跡	左、北白川上別当町3-1	立	4/3	検出できず。2/26に試掘済、60年度KS36。	13- 3
+	左、北白川下別当町地先	立	4/5・7	GL-0.21m以下包含層4、奈良1、時期不明3。	13- 4
+	左、北白川別当町70 北白川小学校	立	8/11	GL-0.65mにて縄文の包含層。	13- 23
京都大学教養部 構内遺跡	左、吉田上大路町28, 28-1	立	12/15	検出できず。	
北白川上池田町古墳群	左、北白川下池田町地先	立	8/2	検出できず。	13- 21
北白川 麩 寺	左、北白川上別当町18	試	6/4・5	GL-0.4m以下平安前期の東西溝4、土壌1、溝は推定北白川麩寺南辺。本文8ページ。	13- 13
+	左、北白川堂ノ前町33	試	7/2	1 T GL-0.45mにて平安中期の土壌1。2 T GL-0.5mにて堆積層、-0.6m以下時期不明の流れ堆積。	13- 18
白河北殿跡	左、東竹屋町60	立	4/24・25	GL-0.33m以下包含層4、江戸1、時期不明3。	13- 8
+	左、東竹屋町60	立	5/1	GL-0.26mにて江戸の包含層。	13- 10
+	左、聖護院川原町11-8	立	7/23・24	GL-0.75m以下時期不明の流れ堆積。	13- 20
+	左、東竹屋町60	立	8/6	GL-0.55mにて江戸の包含層。	13- 22
白河南殿跡	左、杉本町269-3	立	4/2	GL-0.9mにて時期不明の包含層。	13- 2
得長寿院跡	左、岡崎徳成町12-4	立	6/19	GL-0.85mにて時期不明の土壌3。	13- 16
草勝寺跡	左、岡崎西天王町地先	立	10/16	盛土のみ。	13- 28
+	左、岡崎天王町98	立	11/28	GL-0.7mにて時期不明の版築状土層。	13- 29
法勝寺跡	左、岡崎法勝寺町90-8・9	立	5/16	盛土のみ。	13- 11
+	左、岡崎天王町61-12	立	8/21	検出できず。	13- 24
延勝寺跡	左、北門前町478	立	6/13	GL-0.5mにて室町の土壌。	13- 15
白河街区	左、聖護院山王町28-29	立	4/12・16	GL-0.95m以下包含層3、平安後期1、時期不明2、時期不明の土壌。	13- 6
+	左、岡崎徳成町27	立	4/16	GL-1.08m以下時期不明の包含層。土壌名1。	13- 7
+	左、岡崎円勝寺町23-4	立	4/25	GL-1.55mにて江戸の包含層。	13- 9
+	左、岡崎徳成町29	立	6/5	GL-0.25m包含層3、江戸1、時期不明2。	13- 14
+	左、東丸太町1-1	試	6/25, 7/14	GL-1.03m以下江戸の泥炭堆積。	13- 17
+	左、北門前町489-3	試	7/10	GL-0.5mにて平安後期の土壌1、-0.8m以下時期不明の流れ堆積。	13- 19
+	左、聖護院東町20	立	9/22	GL-0.1mにて時期不明の土壌。	13- 25
白河街区隣接地	左、新先斗町125-2	立	5/24	GL-0.58m以下江戸・時期不明の包含層各1。	13- 12
禅林寺境内	左、若王子町33	立	4/1・5	盛土のみ。	
吉田神社旧境内	左、吉田上大路町地先	立	4/18	GL-0.9mにて時期不明の土壌。	

洛東地区 (RT)

遺 跡 名	所 在 地	試・立	調 査 日	概 要	
法興院跡	中、新堀本町通竹屋町上る西草堂町185-1	立	7/11	GL-0.75m以下江戸・時期不明の包含層各1。	
正覚寺跡	伏、深草順成町3	立	4/26	GL-0.85m以下江戸の盛土層、時期不明の包含層。	
中臣造跡	山、東野森野町23-15	立	4/4	盛土のみ。	13- 1
＊	山、柳辻番所ヶ口町36-1	立	4/5	検出できず。	13- 2
＊	山、東野森野町56-2・7	立	4/28	盛土のみ。	13- 5
＊	山、東野森野町56-10	立	4/30	検出できず。	13- 7
＊	山、西野山中臣町27-13	立	6/3	GL-0.33mにて時期不明の包含層。	13- 11
＊	山、西野山中臣町27-5	立	6/4	検出できず。	13- 13
＊	山、西野山中臣町76-4	立	6/25	盛土のみ。	13- 15
＊	山、東福野打越町32-3	立	7/25	盛土のみ。	13- 21
＊	山、西野山中臣町71-46	試	7/26	GL-1.44mにて時期不明の東西溝。	13- 22
＊	山、西野山中臣町26-47	立	9/10	盛土のみ。	13- 32
＊	山、柳辻番所ヶ口町地先	立	9/18	巡回時工事終了。	13- 36
＊	山、東福野打越町31	立	9/27	GL-0.2mにて江戸の包含層、 -0.43mにて時期不明の落ち込み。	13- 39
＊	山、西野山中臣町26-47	立	10/7	盛土のみ。	13- 43
＊	山、西野山中臣町26-47	立	10/7	盛土のみ。	13- 44
＊	山、東野森野町1-1・10他	試	10/20	検出できず。	13- 47
＊	山、東福野打越町5-1他	立	11/4	検出できず。	13- 49
＊	山、西野山中臣町26-19	立	11/17	検出できず。	13- 51
＊	山、西野山中臣町地先	立	11/21	盛土のみ。	13- 54
＊	山、勤修寺西金ヶ崎59-2	立	12/17	盛土のみ。	13- 59
元屋敷殿寺	山、大塚元屋敷町地先	立	8/13	検出できず。	
大宅院寺	山、大宅井井町3	立	12/2	GL-0.8mにて時期不明の包含層。	
山科本願寺跡	山、西野麓宮町地先	立	5/8・9	GL-0.44m以下時期不明の路面3、 -0.9mにて室町後期の包含層。	
＊	山、西野山階町地先	立	7/24	検出できず。	
＊	山、西野山階町地先	立	9/5・6	GL-0.1m以下時期不明の路面3、 0.34mにて室町・時期不明の土壌各1。	
＊	山、西野山階町地先	立	9/13	巡回時工事終了。	
＊	山、西野山大手先地先	立	6/16~20	GL-0.14m以下時期不明の路面3。	
勤修寺旧境内	山、勤修寺仁王堂町27-6	立	4/16・24	GL-0.36mにて時期不明の土壌。	
人康親王山莊跡	山、安永馬場ノ東町地先	立	4/30	検出できず。	
塚本古墳	東、本町十六丁目292	立	8/22	検出できず。	
珍皇寺境内道路	東、小松町11-15、22	立	7/26	検出できず。	
＊	東、新シ町135	立	9/3	検出できず。	
六波羅取庁跡	東、西御門町465-7	立	6/4	GL-0.15m以下江戸の包含層4。	
＊	東、山城町282	立	6/11	検出できず。	
＊	東、本町四丁目131	立	7/24	GL-0.85mにて江戸の包含層。	
＊	東、本町二丁目69	立	10/2	GL-0.42m以下包含層3、鎌倉1、 室町2。	
＊	東、本町新六丁目199	立	10/13	検出できず。	
＊	東、山田町502	立	11/20	GL-0.85m以下包含層3、江戸1、 時期不明2。	
法住寺殿跡	東、今娘野宝蔵町13	立	9/25	検出できず。	
＊	東、今娘野宝蔵町1-7	立	10/2	盛土のみ。	
＊	東、東瓦町677-26	立	11/25	現代の瓦葺5基。	
法性寺跡	東、本町十八丁目368-3	立	4/30	検出できず。	
＊	東、泉涌寺薬ヶ森町5-5	立	6/27	GL-0.1m以下時期不明の包含層4、 落ち込み2、土壌1。	
＊	伏、深草南明町5-10	立	7/17	検出できず。	

法性寺跡	伏、深草願成町18-3・23	立	9 / 1, 12 / 2	検出できず。
＊	東、本池田町地先	立	9 / 9	GL-1.2mにて時期不明の包含層。
＊	東、福稲上高松町地先	立	9 / 22・24 25	GL-0.7mにて時期不明の包含層。
＊	伏、深草願成町30-16, 32-2他	立	9 / 26	盛土のみ。
＊	東、本町十五丁目地先	立	10 / 27	検出できず。
＊	伏、深草願成町40-24地先	立	11 / 15	検出できず。
＊	東、本町十五丁目地先	立	11 / 18	検出できず。
月輪遺跡	東、本町十五丁目地先	立	12 / 5	攪乱のみ。
鳥辺野	東、清閑寺山ノ内町21-5	立	8 / 2	検出できず。
＊	東、妙法院前側町地先	立	8 / 6	GL-0.49mにて江戸の包含層。
＊	東、今熊野南日吉町地先	立	9 / 10	検出できず。
＊	東、今熊野日吉町地先	立	10 / 7	攪乱のみ。
＊	東、今熊野宝蔵町52	立	10 / 13	盛土のみ。

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
おうせんどう裏寺	伏、深草鞍ヶ谷45-1	立	11 / 25	検出できず。	
伏見城跡	伏、桃山水野左近東町9 桃山中学校	立	4 / 4	検出できず。	
＊	伏、腰池町四丁目285	立	4 / 4	GL-0.6mにて桃山の土壌。	
＊	伏、桃山最上町59	立	4 / 12	GL-0.1mにて時期不明の包含層。	
＊	伏、片原町291-2	立	4 / 25	GL-0.85m以下江戸の包含層2、時期不明の整地層。	
＊	伏、桃山羽張長吉中町49	立	4 / 30	GL-0.68mにて桃山の南北溝。	
＊	伏、片原町地先	立	5 / 8	GL-0.7mにて江戸の包含層。	
＊	伏、村上町393	立	5 / 8・12	GL-1.05m以下江戸・時期不明の包含層各1。	
＊	伏、桃山最上町地先	立	5 / 19・23	検出できず。	
＊	伏、深草中ノ島町39-1	立	5 / 22	GL-1.4mにて時期不明の土壌。	
＊	伏、深草大亀谷万帖敷町142-25	立	4 / 23	盛土のみ。	
＊	伏、桃山町鶴島1-1	立	6 / 9	盛土のみ。	
＊	伏、岡替町十四丁目地先	立	6 / 25	No.1 GL-0.9mにて時期不明の包含層、-1.0m以下陥伏堆積。No.2 GL-0.6m以下包含層3、江戸2、時期不明1、-0.86mにて時期不明の路面1。	
＊	伏、深草大亀谷安儀町51-52	立	7 / 8	検出できず。	
＊	伏、師岡町132	立	7 / 2	GL-0.97mにて江戸の包含層。	
＊	伏、桃山町金森出雲地先	立	7 / 21	巡回時工事終了。	
＊	伏、竹中町609	試	7 / 30	1 T GL-0.6mにて江戸前・中期の井戸1、-0.92m以下江戸の整地層2。2 T GL-0.64mにて土壌3、江戸前期1、時期不明2、時期不明の溝1、柱穴1。	
＊	伏、深草中ノ島町地内	立	8 / 1	攪乱のみ。	
＊	伏、桃山町蓮山103-1	立	8 / 4	盛土のみ。	
＊	伏、深草大亀谷万帖敷町296-2	試	8 / 11	GL-1.3mにて時期不明の整地層。	
＊	伏、京町一丁目258	立	8 / 22	検出できず。	
＊	伏、今町666	立	9 / 3	検出できず。	
＊	伏、桃山町本多上野55-3	試	9 / 9	周辺住民の反対により調査中断。	
＊	伏、桃山町三河1-2	立	9 / 11	GL-2.08mにて桃山の包含層。	
＊	伏、桃山水野左近西町36-3	立	9 / 11	盛土のみ。	
＊	伏、桃山筒井伊賀東町63	立	10 / 9	盛土のみ。	

伏見城跡	伏、桃山水野左近町58-3	立	10/24	検出できず。	
＊	伏、周防町331-8	立	11/19	GL-0.3m以下時期不明の流れ堆積。	
＊	伏、南部町41	立	11/18	GL-0.8mにて江戸の土壌。	
＊	伏、丹後町142 伏見南浜小学校	立	11/19	盛土のみ。	
＊	伏、桃山町道山98-4	立	11/22	盛土のみ。	
＊	伏、桃山水野左近町51	立	12/10	盛土のみ。	
＊	伏、京町四丁目155-1, 156-3	立	12/13-15	GL-0.7mにて江戸の土壌5、-1.15mにて平安の包含層。	
富祥寺跡	伏、深草瓦町75-1, 80-1	立	8/26	盛土のみ。	

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
唐橋遺跡	南、吉祥院西成町31	立	10/7	GL-0.65m以下江戸・時期不明の包含層各1。	
深草遺跡	伏、深草西浦町四丁目42-4	立	7/30	GL-0.6mにて時期不明の流路の東岸。	
＊	伏、深草西浦町六丁目68	立	9/1	GL-0.83mにて時期不明の流路の東岸。	
下鳥羽遺跡	伏、毛利町10-1, 2, 11	立	9/1・4	GL-0.99m以下平安後期・室町の包含層各1。	14- 17
＊	伏、下鳥羽越ノ越町34-1・2	試	11/7	GL-0.5mにて平安後期の包含層。-0.8mにて平安後期の整地層、-1.45mにて古墳後期の焼土遺構。発掘調査に切り換える。	14- 25
＊	伏、竹田松林町35	試・立	11/12-15	1 T GL-1.3mにて古墳後期の焼土遺構1、柱穴1。2 T GL-1.5mにて古墳後期の包含層。	14- 27
鳥羽離宮跡	伏、竹田内堀町7, 12, 1-2, 10-2	立	4/8	検出できず。	14- 1
＊	伏、中島宮ノ後町23-1・3・7他	試	4/9	1 T GL-2.2m以下平安～室町の池状堆積。3 T GL-1.3mにて陸部、-1.55m以下池状堆積。	14- 2
＊	伏、中島中道町31-1, 21-7他	試	6/30	GL-2.5m以下時期不明の湿地堆積。	14- 4
＊	伏、竹田橋ノ井町51-3・9	試	4/28	GL-1.35m以下時期不明の池状堆積。	14- 5
＊	伏、竹田内堀町95-6	立	5/6	盛土のみ。	14- 6
＊	伏、中島宮ノ前町23他9筆	立	5/15	盛土のみ。	14- 8
＊	伏、竹田浄菩提院町47-6	試	5/16	GL-0.4mにて平安末期～鎌倉の包含層。	14- 9
＊	伏、中島堀端町地先	立	5/19～26	GL-0.8mにて時期不明の包含層。	14- 10
＊	伏、竹田真幡木町46-19	立	5/19	検出できず。	14- 11
＊	伏、竹田内堀町地先	立	5/22	巡回時工事終了。	14- 12
＊	伏、竹田羅川町4, 4-1	試	6/6	GL-1.2mにて池状堆積。	14- 13
＊	伏、中島前山町5-1・4	試	7/4	GL-1.38m以下池状堆積。	14- 14
＊	伏、竹田橋ノ井町地先	立	9/11	検出できず。	14- 18
＊	伏、中島宮ノ前町15-1	立	9/22	検出できず。	14- 19
＊	伏、中島前山町22-1, 21-1	試	9/24	GL-0.88m以下時期不明の流れ堆積、-1.54mにて古墳後期～平安中期の遺物出土。	14- 20
＊	伏、中島御所ノ内町7-5	立	9/25	検出できず。	14- 21
＊	伏、竹田田中殿町40	試	10/3	GL-1.0mにて平安後期の包含層。	14- 22
＊	伏、中島北ノ口町	試	10/6	GL-2.1m以下時期不明の包含層2。	14- 23
＊	伏、竹田内堀町66A, 67-3	立	11/8	GL-0.38mにて時期不明の包含層・土壌各1。	14- 26
＊	伏、中島前山町8-1	立	12/3	盛土のみ。	14- 28

鳥羽離宮跡	伏、中島所ノ内町16	立	12 / 6	GL-0.86mにて時期不明の包含層・東西溝各1。	14- 29
＊	伏、竹田真綿木町	立	12 / 8	盛土のみ。	14- 30
＊	伏、竹田中殿町54	立	12 / 8	盛土のみ。	14- 31
西飯食町遺跡	伏、深草飯食町801-1	立	4 / 14	検出できず。	
深草寺跡隣接地	伏、深草西飯食町地先	立	5 / 9-28	検出できず。	

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
中久世遺跡	南、久世殿城町456-2・3	立	4 / 30	盛土のみ。	15- 2
＊	南、久世大蔵町177, 178	試	6 / 13	GL-0.42mにて縄文～弥生の流れ堆積。	15- 5
＊	南、久世中久世町四丁目66-5	立	7 / 23	巡回時工事終了。	15- 7
＊	南、久世中久世町一丁目143	試	10 / 16	GL-0.5mにて弥生後期～古墳前期の土壌3、弥生後期～古墳前期の溝1、古墳中期の溝1、発掘調査に切り換える。	15- 13
＊	南、久世中久世町三丁目100	立	10 / 27	GL-0.27m以下土壌14、弥生11、長岡京期～平安2、時期不明1。	15- 14
＊	南、久世中久世町五丁目32-4・5	試	11 / 5	1 T GL-0.92mにて長岡京期の土壌。2 T GL-1.2mにて長岡京期の溝。	15- 16
上久世遺跡	南、久世上久世町148-5	立	7 / 4	検出できず。	
下津林遺跡	西、下津林六反田地先	立	5 / 8～ 9 / 20	GL-0.67mにて江戸の包含層。	
＊	西、下津林六反田地先	立	7 / 30	擾乱のみ。	
＊	西、下津林六反田地先	立	8 / 14	擾乱のみ。	
＊	西、下津林細地先	立	9 / 6	検出できず。	
＊	西、下津林六反田地先	立	9 / 20, 11 / 27	検出できず。	
＊	西、下津林細地先	立	9 / 30	擾乱のみ。	
＊	西、下津林細地先	立	10 / 29	盛土のみ。	
檀原遺跡	西、檀原里ノ垣外町20-5	立	4 / 25, 7 / 1・4	No.1 GL-0.96m以下弥生の流れ堆積。 No.2 GL-0.38mにて壁穴住居址。 No.3 GL-0.22mにて弥生の溝。	
天鼓の森古墳	西、上桂森上町26 桂中学校	立	5 / 15～ 7 / 15	GL-0.85mにて古墳後期の包含層。 -1.24mにて古墳後期の東西溝。発掘調査に切り換える。	

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
長岡京跡	南、久世大蔵町548, 549-1	試	4 / 7	1 T GL-1.98mにて弥生の溝。 60年度NG3の続き。 2 T GL-0.94mにて時期不明の南北溝、推定東三坊大路西側溝。	15- 1
＊	伏、納所町145-30	立	4 / 14	盛土のみ。	
＊	西、大原野石見町507-1	立	4 / 23	盛土のみ。	
＊	伏、久我石原町9-235・236他	試	5 / 19	GL-1.5mにて時期不明の包含層。	15- 4
＊	伏、羽東師古川町320, 321他	試	6 / 9・10	GL-1.75mにて室町の包含層、-2.21mにて平安の水田跡、多数の足跡(人・牛)検出。	
＊	伏、渡本町231-20	立	6 / 18	検出できず。	

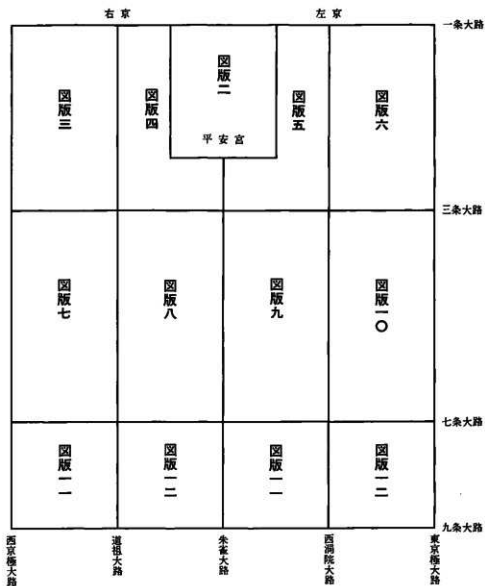
長岡京跡	南、久世大蔵町444-13, 445-1	立	6 / 26	盛土のみ。	15- 7
＊	南、久世新山町212-1	試	7 / 28	GL-2.3m以下湿地堆積。	15- 8
＊	南、久世大蔵町444-13	立	8 / 19	盛土のみ。	15- 9
＊	伏、久我本町11-287	立	8 / 25	GL-0.65m以下時期不明の包含層3。	15- 10
＊	南、久世東土川町253-2・3	立	8 / 28	検出できず。	15- 11
＊	南、久世東土川町10-1	立	8 / 28	盛土のみ。	15- 12
＊	西、大原野上里紅薬町16-6	立	9 / 6	巡回時工を終了。	
＊	伏、淀本町173-105	立	10 / 31	GL-0.97m以下包含層3、江戸1、 時期不明2。	
＊	伏、羽東師慶川町205-2	立	11 / 6	GL-0.92m以下時期不明の包含層2。	
＊	西、大原野上里男鹿町15-7	立	11 / 22	盛土のみ。	
＊	伏、淀池上町90-1	立	12 / 17	盛土のみ。	
＊	西、大原野上里男鹿町19-5	立	12 / 12	盛土のみ。	

圖 版

調査地点位置図

図版一

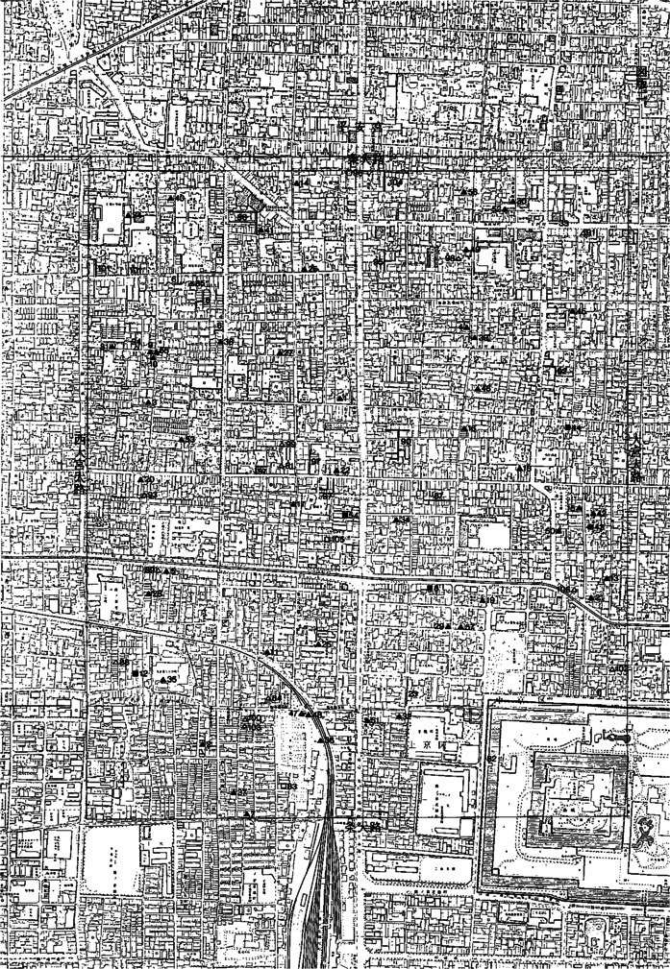
平安京図葉分割図

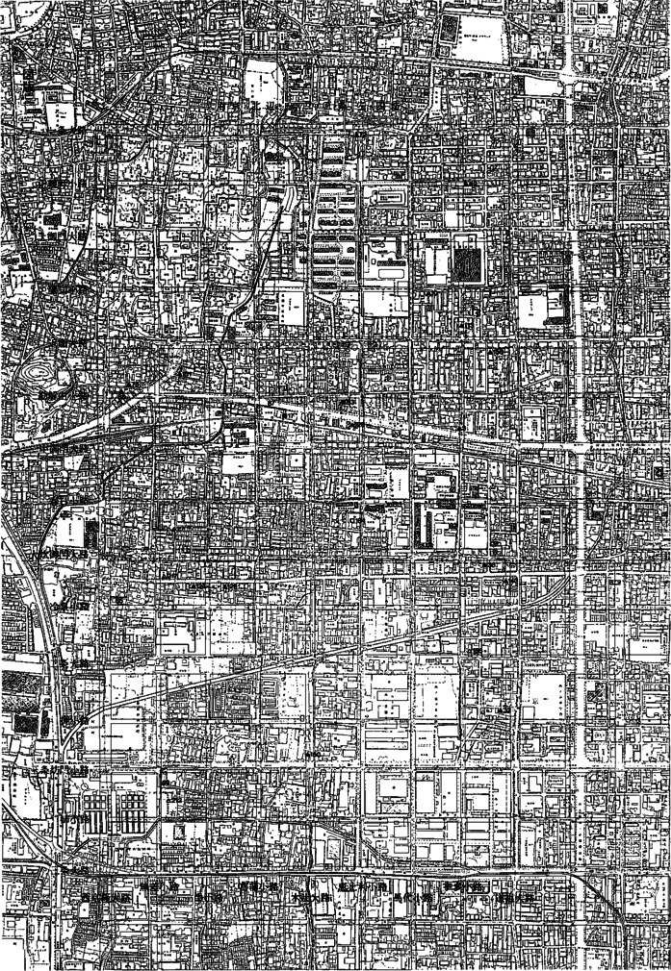


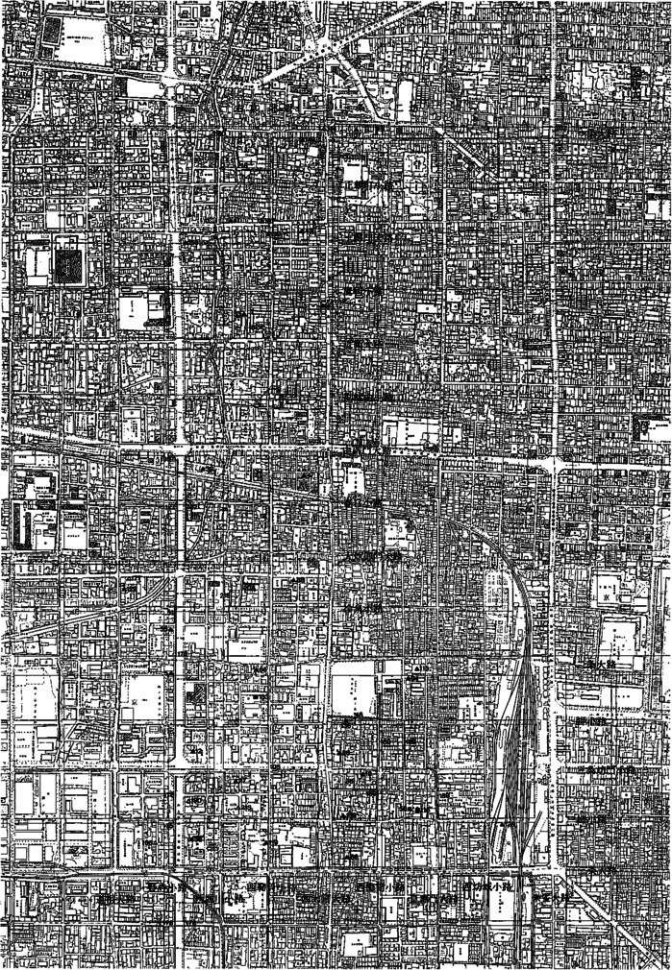
凡 例

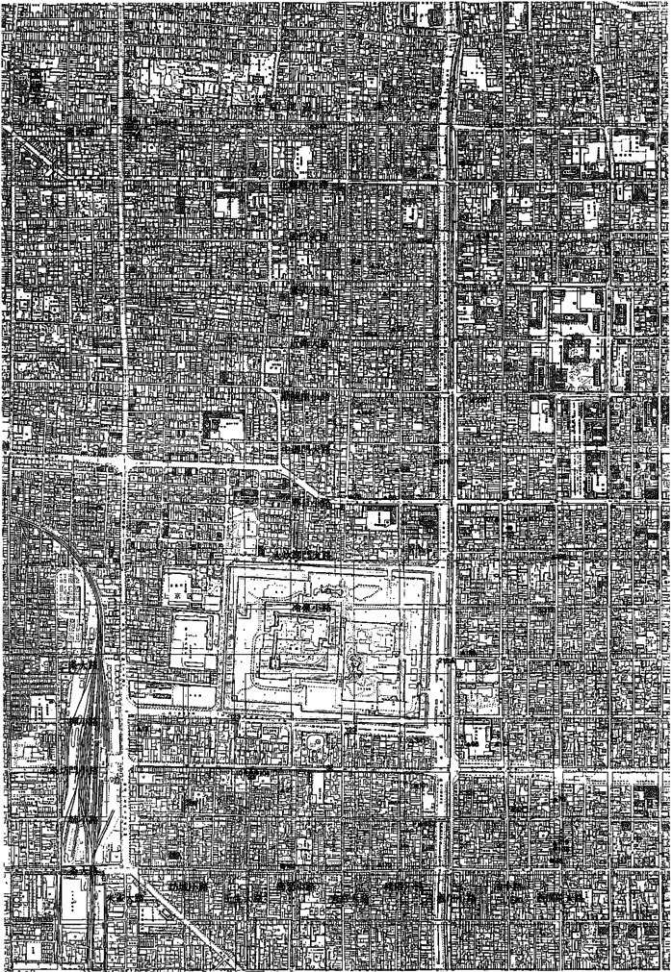
- | | | | |
|---|------------|---|------------|
| □ | 60年度試掘調査地点 | ■ | 61年度試掘調査地点 |
| △ | 60年度立会調査地点 | ▲ | 61年度立会調査地点 |

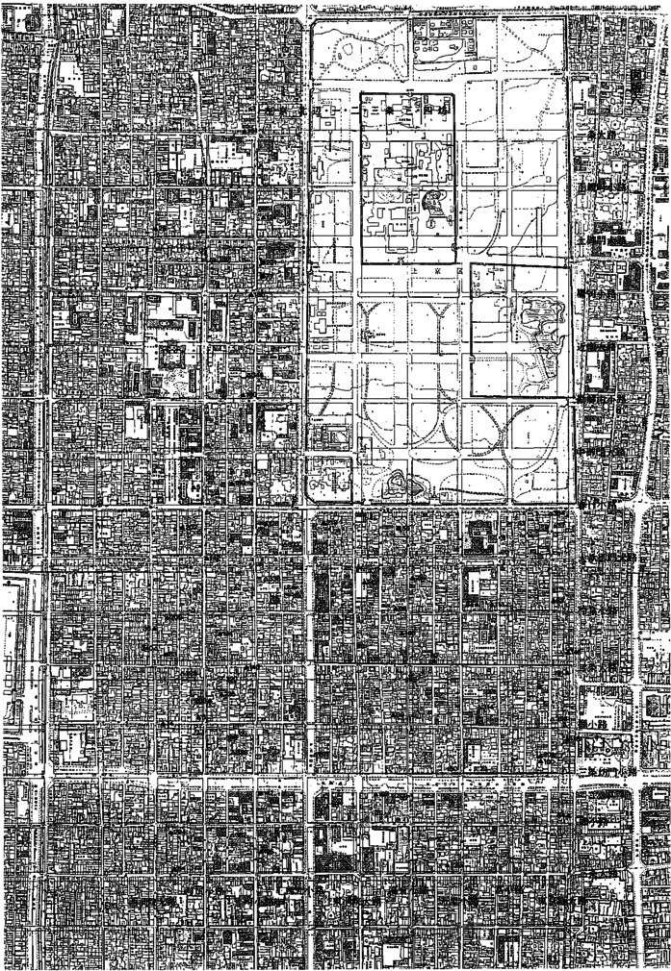
— — — — — 遺跡範囲

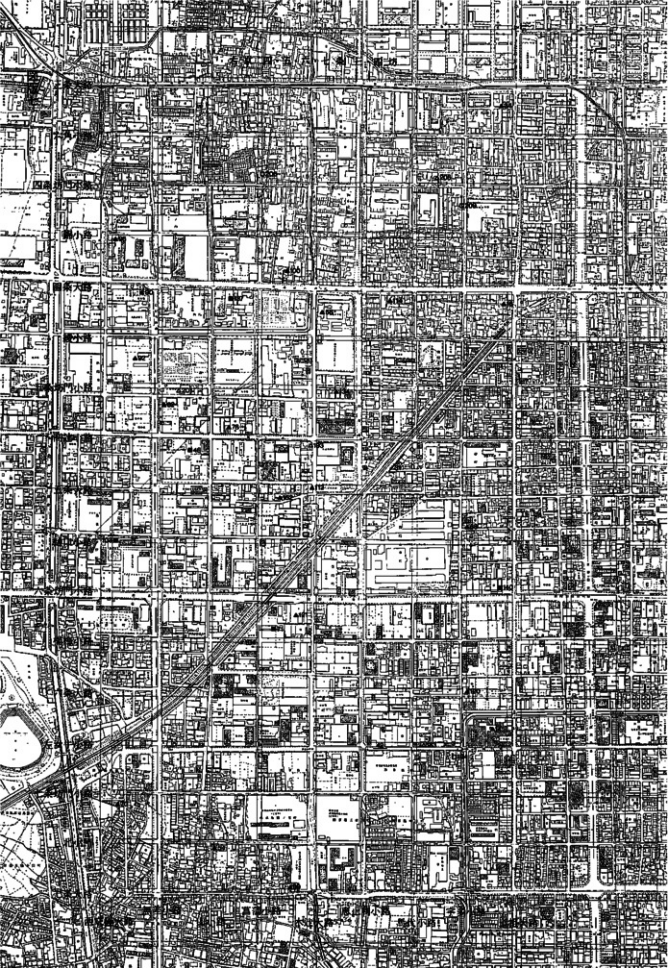




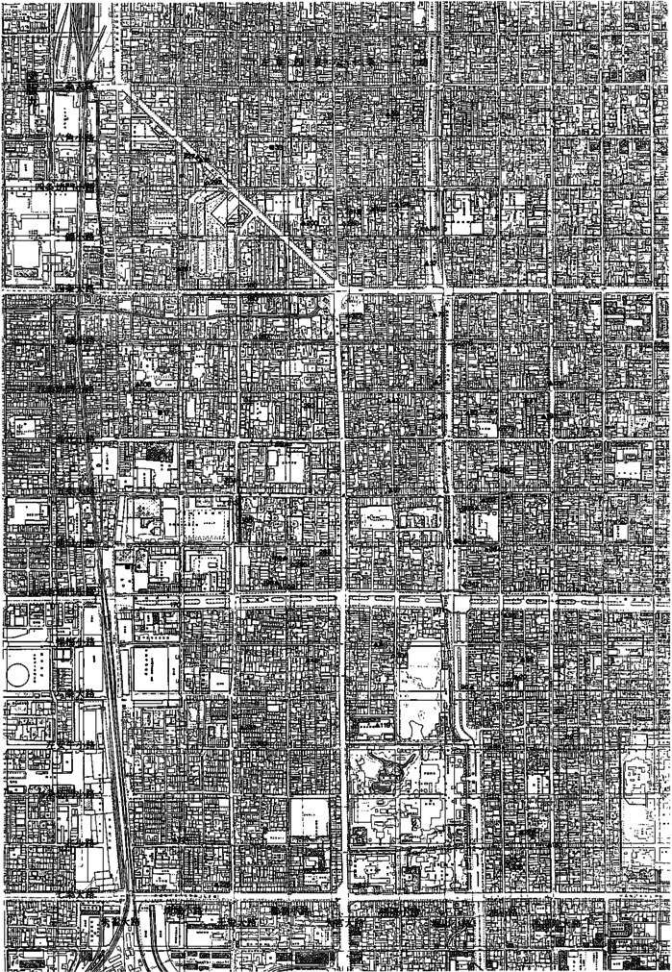








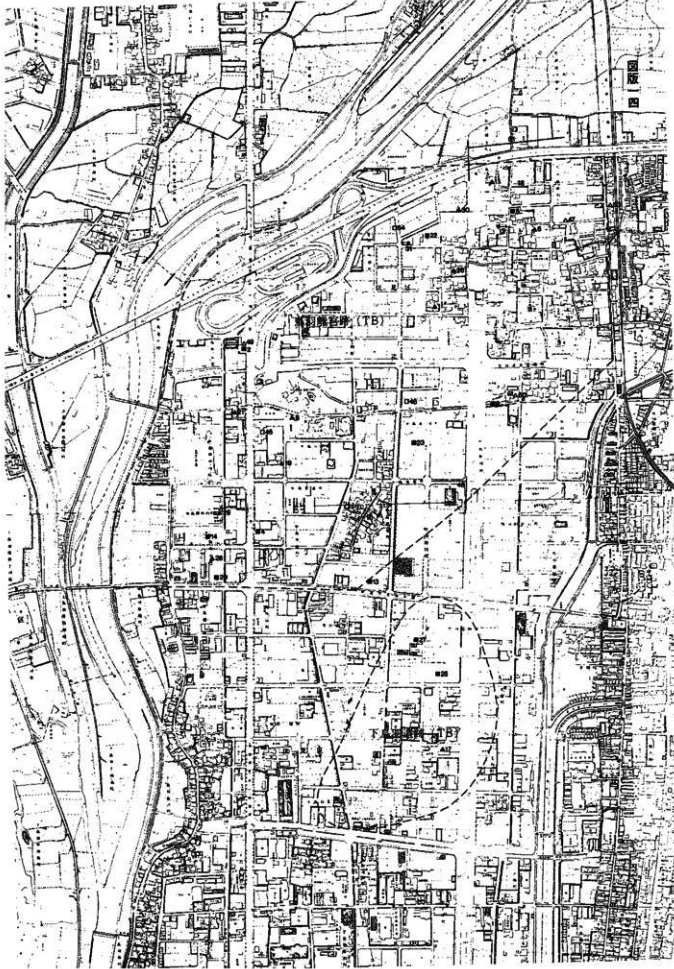










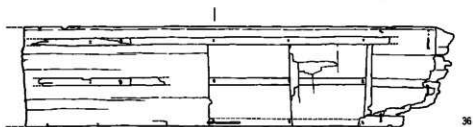
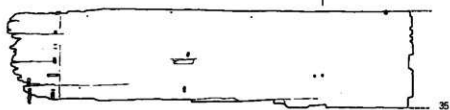
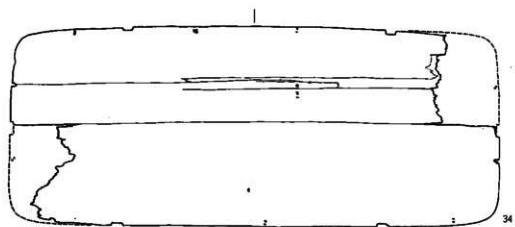
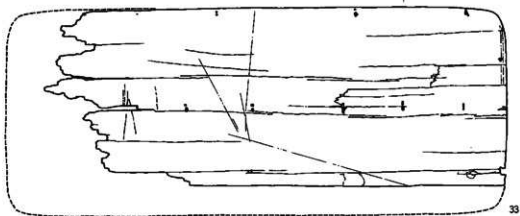




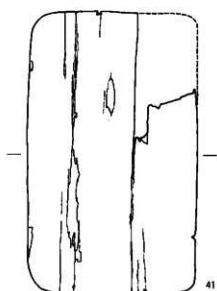
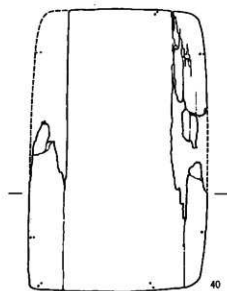
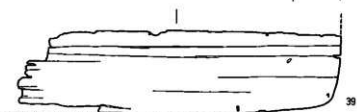
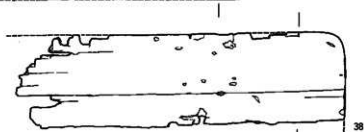
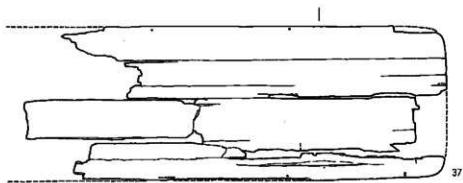
大塚道

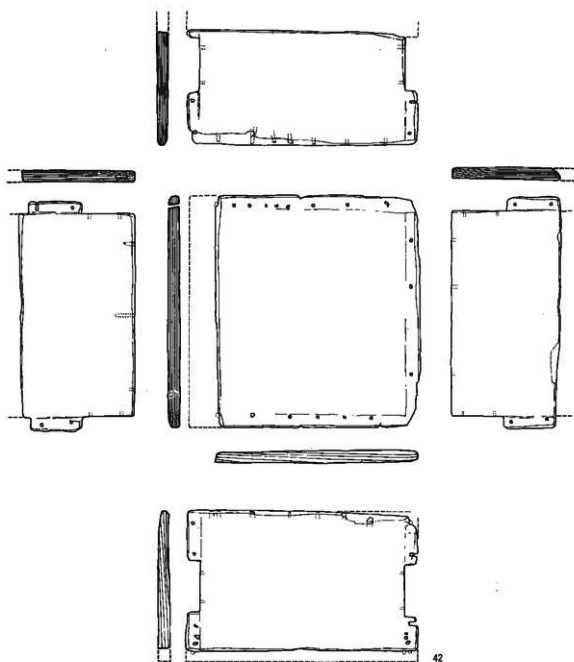
長岡京 (NC)

市



0 50cm





0 15cm



1 遺跡全景 (北東から)



2 1号墳石室 (北東から)



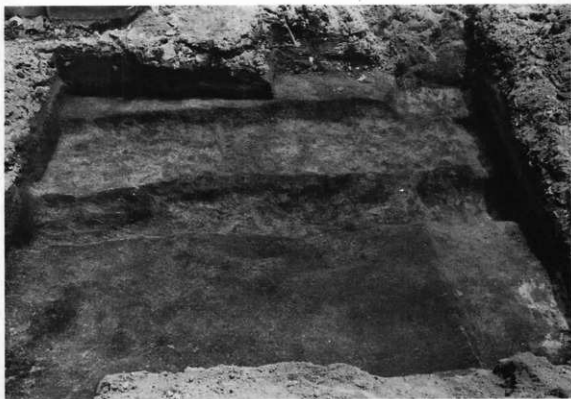
1 巽1号墳玄室西側壁（東から）



2 同 羨道部西側壁（東から）



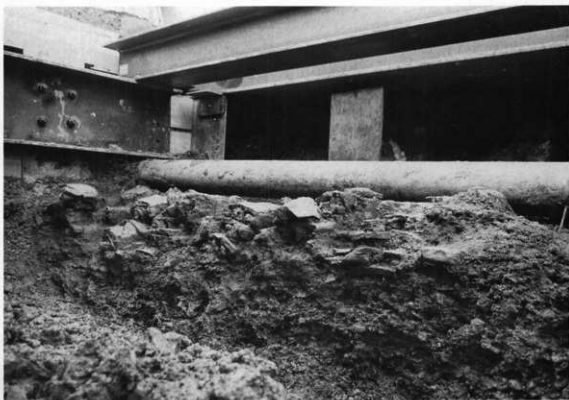
1 SD1・SD2北壁断面(南から)



2 遺跡全景(北から)



1 瓦窯全景（東から）



2 瓦窯断面（東から）



1 SE1全景（南東から）



2 瓦敷き出土状況（北から）



3 SE1断面（南から）



1 遺跡全景（西から）



2 落ち込み2遺物出土状況（南から）



1 北トレンチ全景 (南から)



2 南トレンチ全景 (北から)



1 土器出土状況(北東から)



2 木簡出土状況(南から)

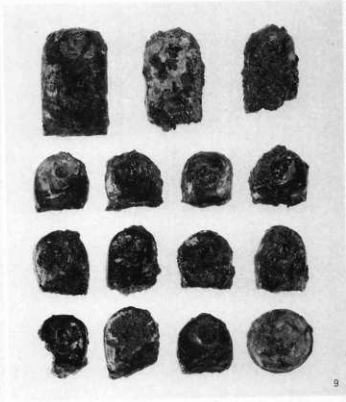


須恵器，雲珠，鉄鏃



8

鉄線、飾り金具



9



1



2



3



4

軒瓦



24



25



26



27



28



29



31



30



32



40



41

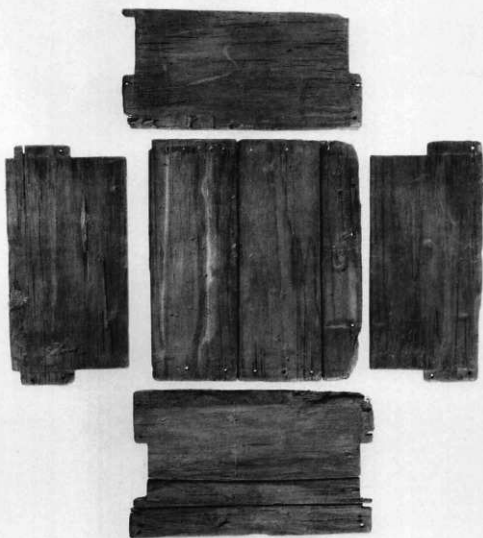


34



33

軒瓦，長方形曲物





5



21



8



22



9



25



14



26



18



32



20



33



38

土師器皿 (5・8・9・14・18・21・22・25・26・32・33)
輸入陶磁器碗 (20) 陶器皿 (38)

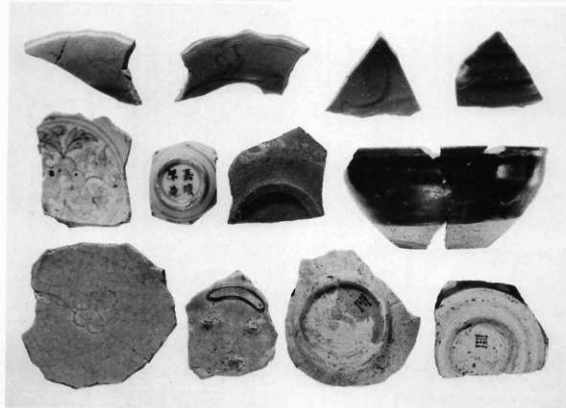


41



39

40





1



2



7



8



11



12



24



25



13



15



16



19



20



26



27



28



34

土師器，須恵器，無釉陶器，緑釉陶器



36



37



38



39



40



41



42



43



44



49



45



48



47



46



50



51



54



52



55



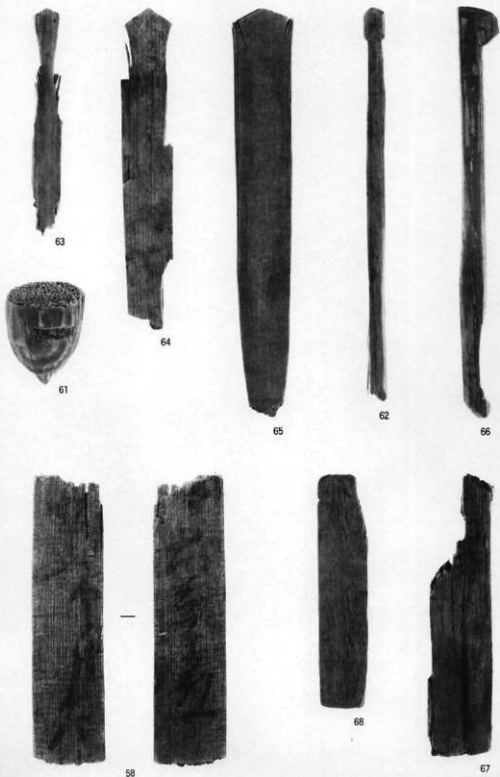
56



57



53



京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和61年度

発行日 昭和62年3月31日

発行 京都市文化観光局

住所 京都市左京区岡崎最勝寺町13京都金館内

編集 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

住所 京都市上京区今出川大宮東入ル元伊佐町
TEL (075) 415-0521

印刷 真 陽 社